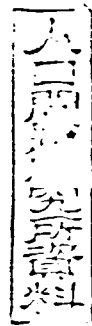


350.61
28
48



第48回人口問題審議会総会 配付資料

63. 7. 15

昭和63年7月13日

1. 議事次第
2. 第48回座席表
3. 資料1 人口と家族に関する特別委員会について
4. 資料2 「人口と家族に関する特別委員会」報告書骨子
5. 資料4 昭和62年度「第9次出産力調査」(結婚と出産に関する全国調査)概要
6. 資料5 昭和62年人口動態統計(概数)の概況
7. 資料6 日本人の平均余命 昭和62年簡易生命表
8. 別添資料 資料3 人口と家族に関する特別委員会報告書(総論~附論)
9. 別添資料 資料7 人口問題審議会要覧

第48回人口問題審議会総会 配付資料

昭和63年7月13日

1. 議事次第
2. 第48回座席表
3. 資料1 人口と家族に関する特別委員会について
4. 資料2 「人口と家族に関する特別委員会」報告書骨子
5. 資料4 昭和62年度「第9次出産力調査」
(結婚と出産に関する全国調査) 概要
6. 資料5 昭和62年人口動態統計(概数)の概況 →B50.01*1G*87-Z
E*4f
7. 資料6 日本人の平均余命 昭和62年簡易生命表 →B50.10*-2*87G-
E*4f
8. 別添資料 資料3 人口と家族に関する特別委員会報告書
(総論～附論) →B50.61* 8*48-2E*4f
9. 別添資料 資料7 人口問題審議会要覧 →B50.61* 1*88-07E*4f

第48回人口問題審議会総会 配布資料

昭和63年7月13日

1. 議事次第
2. 第48回座席表
3. 資料1 人口と家族に関する特別委員会について
4. 資料2 「人口と家族に関する特別委員会」報告書骨子
5. 資料4 昭和62年度「第9次出産力調査」
(結婚と出産に関する全国調査) 概要
6. 資料5 昭和62年人口動態統計(概数)の概況
7. 資料6 日本人の平均余命 昭和62年簡易生命表
8. 別添資料 資料3 人口と家族に関する特別委員会報告書
(総論～附論) →B50.61* 8*48-2をみよ
9. 別添資料 資料7 人口問題審議会要覧 →B50.61* 1*88-7をみよ

第48回人口問題審議会総会議事次第

昭和63年7月13日(水)14時30分～16時

於：中央合同庁舎5号館共用第9会議室(26階)

1. 開 会
2. 厚生大臣挨拶
3. 新任委員紹介
4. 議 題
 - (1) 「人口と家族に関する特別委員会」報告書について
 - (2) その他
5. 閉 会

(配付資料)

資料1. 人口と家族に関する特別委員会について

資料2. 「人口と家族に関する特別委員会」報告書骨子

資料3. 「人口と家族に関する特別委員会」報告書

資料4. 「第9次出産力調査」(結婚と出産に関する全国報告)概要

資料5. 昭和62年人口動態統計(概数)の概況

資料6. 昭和62年簡易生命表

資料7. 人口問題審議会要覧

第48回 人口問題審議会総会座席表

昭和63年 7月13日(水)
於：共用第9会議室14時30分～16時

事務局 事務局 事務局 事務局

| | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|------------------------|
| 岡崎 陽一 委員 井長次郎 専門委員 | 尾崎 美千生 委員 熊山 紀子 委員 | 伊部 英男 委員 伊藤 善吉 委員 | 福山 武長 代理 山本 正淑 会長 | 厚生 大臣 末次 總務審議官 彬 | 政策課 長 調査室 長 | 阿藤 誠 専門委員 内野 澄子 専門委員 | 清水 浩昭 専門委員 廣嶋 清志 専門委員 | 吉澤 晋 専門委員 | 山崎 倫子 委員 安川 正彬 専門委員 |
| 久保 秀史 委員 黒田 俊夫 専門委員 | 速記 | | | | | 清水 浩昭 専門委員 廣嶋 清志 専門委員 | 吉澤 晋 専門委員 | 山崎 倫子 委員 安川 正彬 専門委員 | |
| 小谷 直道 委員 小林 和正 委員 | 高島 隆平 委員 田中 文雄 委員 | 土居 健一郎 委員 中根 千枝 委員 | 橋本 道夫 委員 羽田 春彦 委員 | 菱沼 從一 委員 前川 一 委員 | 松永 英 委員 村松 稔 委員 | 阿藤 誠 専門委員 内野 澄子 専門委員 | 清水 浩昭 専門委員 廣嶋 清志 専門委員 | 吉澤 晋 専門委員 | 山崎 倫子 委員 安川 正彬 専門委員 |
| 河野 綱夫 委員 坂巻 照員 | 高島 隆平 委員 田中 文雄 委員 | 土居 健一郎 委員 中根 千枝 委員 | 橋本 道夫 委員 羽田 春彦 委員 | 菱沼 從一 委員 前川 一 委員 | 松永 英 委員 村松 稔 委員 | 阿藤 誠 専門委員 内野 澄子 専門委員 | 清水 浩昭 専門委員 廣嶋 清志 専門委員 | 吉澤 晋 専門委員 | 山崎 倫子 委員 安川 正彬 専門委員 |

幹事席

受付

傍聴席

人口と家族に関する特別委員会について

1. 趣 旨

高度経済成長に伴う若年人口の急激な都市集中化、扶養意識の変化等により、核家族世帯や高齢者世帯が増加するなど、我が国の家族形態は大きく変容した。また、家族形態の変容及び女性特に主婦の就業の増大は、育児や老人の介護等の家庭機能の面に大きな影響を及ぼしつつある。しかも、生活水準の向上は、個性に応じた多様なライフスタイルを追求できる状況を作り出している。さらに、高齢化や家庭基盤の脆弱化は、地域によって、その進展に差異があり、地域によっては大変深刻な問題となる可能性がある。

このような経済社会の現状を踏まえ、21世紀初頭の日本社会における家族形態を展望し、子供や老親の扶養、個々人や家族と地域社会との係わり等家族をめぐる問題に焦点をあて、長寿社会において家庭が健全に機能し、老若ともども明るく豊かに暮らしていけるための諸方策について論じ、提言を行う。

2. 特別委員会名簿

| | | | | | |
|----|---------|-------------------|------|---------|-----------|
| 委員 | 福 武 直 | 社会保障研究所顧問 | 専門委員 | 大 森 彌 | 東京大学教授 |
| 委員 | 伊 藤 善 市 | 東京女子大学教授 | 専門委員 | 小此木 啓 吾 | 慶応義塾大学助教授 |
| 委員 | 伊 部 英 男 | 年金制度研究開発基金 理事長 | 専門委員 | 高 原 須美子 | 評論家 |
| 委員 | 岡 崎 陽 一 | 日本大学教授 | 専門委員 | 藤 原 房 子 | ジャーナリスト |
| 委員 | 河 野 稔 果 | 人口問題研究所長 | | | |
| 委員 | 人 見 康 子 | 慶応義塾大学教授 | | | |

3. 審議状況

| | | |
|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 第1回（昭和62年 3月16日） | ○我が国の家族の現状について | ○検討スケジュール（案）について |
| 第2回（昭和62年 6月 2日） | ○民法における私的扶養及び相続について ○我が国夫婦出生力の動向 | ○欧米諸国における家族構造の変遷 ○家族形態の地域別多様性について |
| 第3回（昭和62年 9月17日） | ○「離婚問題研究会」の報告について ○女性の目から見た家庭について | ○親子関係について |
| 第4回（昭和62年11月16日） | ○老親扶養について ○「報告（案）骨子」について | ○家族と社会の関係について |
| 第5回（昭和63年 2月 1日） | ○児童家庭行政の現状と課題について ○提言項目（案）について | ○報告書のアウトラインについて |
| 第6回（昭和63年 5月26日） | ○報告書（案）について | |

総論 人口変動と家族

1 明治期から今日までの人口変動、家族変動、両者の関係について分析している。

(1) 人口変動の概観

- 明治以来の人口増加、近年の人口増加の鈍化、将来の人口減退

| | | | |
|-----|-------|-----------|---------|
| 総人口 | 明治初年 | 3,500万人 | |
| | ↓ | | |
| | 昭和62年 | 1億2,200万人 | |
| | ↓ | | |
| | 昭和88年 | 1億3,600万人 | となり以後減少 |

- 死亡率の低下と長寿化、将来の死亡率増加

| | | | |
|------|--------|----------|----------|
| 平均寿命 | 明治20年代 | 男子42.8年 | 女子44.3年 |
| | ↓ | | |
| | 昭和62年 | 男子75.61年 | 女子81.39年 |

- 出生率の低下、多産から少産へ、晩婚化

| | | | |
|---------|-------------|---|--------------|
| 出生率 | 36.2 (大正9年) | → | 11.1 (昭和62年) |
| 合計特殊出生率 | 5.24 (大正9年) | → | 1.69 (昭和62年) |

- 人口の年少化から人口の高齢化、将来の超高齢社会

| | | | |
|------|--------------|---|----------------|
| 平均年齢 | 29.3歳 (明治初年) | → | 26.7歳 (昭和22年) |
| | | → | 36.4歳 (昭和62年) |
| | | → | 43.3歳 (昭和100年) |

- 人口の都市化、東京圏への集中

| | | | | | |
|--------|------|-------|---|-------|-------|
| 市部人口割合 | 大正9年 | 18.0% | → | 昭和60年 | 76.7% |
|--------|------|-------|---|-------|-------|

(2) 家族の変貌

- 戦前の家族 (旧民法、家制度、農村社会、農業・自営業中心の社会)
- 戦後の家族 (新民法、直系家族制から夫婦家族制へ、産業・都市社会、雇用者中心の社会)

| | | | | | |
|--------------|-------|-------|---|-------|-------|
| 全就業者中の雇用者の割合 | 昭和15年 | 41.7% | → | 昭和60年 | 75.4% |
|--------------|-------|-------|---|-------|-------|

(3) 人口変動が家族に及ぼした影響

- 核家族世帯並びに単独世帯割合の増加、平均世帯人員の減少
- 高齢者世帯割合の増加
- 家族のライフサイクルの変化

2 最近の人口と家族の変動傾向からみて、人口を長期的に安定した規模に保ち、人口の急激な高齢化の進行を緩和し、同時に家庭基盤の充実を図るという観点にたって、以下の政策的提言を行っている。

- (家族形成に関して) 若い人々が結婚しやすい環境づくり、住宅事情の改善
- (出産・育児に関して) 住宅事情の改善、児童手当の見直し、教育費の軽減措置、育児休業制度等の普及、保育施設の充実
- (家庭生活に関して) 労働時間の大幅な短縮、週休二日制の実施、産業の地方分散
- (老親扶養に関して) 在宅ケアサービスやデイケア施設の充実
- (児童育成の基盤である家族・社会に関して) 国民的議論の展開
- 大学における人口研究水準の向上と人口学の講座拡充

1 章 結婚パターンの変化と要因

(内容) 戦前から今日までの結婚をめぐる状況の変化について分析している。

- 初婚年齢の上昇 大正9年 男子24.9歳、女子21.1歳
↓
昭和61年 男子28.3歳、女子25.6歳
- 最近の晩婚化の要因 進学率の上昇、ホワイトカラー化、都市化
- 最近の未婚者割合の上昇 男子35歳-39歳の未婚率 昭和30年 3.1%
↓
昭和60年 14.2%
- 男性の結婚難の要因 結婚適齢期人口の性比の不均衡、女子の高学歴化
- 恋愛結婚の増加 昭和20年代3割→最近8割
- 結婚適齢期規範の弱体化
- 配偶者選択の基準の変化 家本位から本人重視へ

2 章 子供数の変化と要因

(内容) 戦前から今日までの出生率の低下による家族における子供数の減少について分析している。

- 出生率の低下 出生率 36.2 (大正9年) → 11.1 (昭和62年)
合計特殊出生率 5.24 (大正9年) → 1.69 (昭和62年)
- 完結出生児数の減少 明治29~33年生 5.03人
↓
昭和18~22年生 2.16人
- 妻の初婚年齢が低い場合、夫が結婚前も結婚後も農山村・漁村にいる場合、親と同居する場合
完結出生児数が多い。妻の学歴、妻の就業形態による完結出生児数の差は少ない。
- 理想子供数が3人の妻のうち、予定子供数が2人となっている割合は37.9%
- 理想と予定の差 教育費を中心とする経済的理由が多いが、都市部においては「家が狭いから」が多くなる。(第8次出産力調査)

3 章 子育て環境の変化と要因

(内容) 子育て環境の変化について少子化の状況及び問題点、居住環境の変化や社会経済変動との関連について分析している。

- 少子化（兄弟数の減少） 昭和25年生以前6～7人→最近2.5人（子供のいない世帯を除く）
- 少子化の影響 子供のいる世帯の減少、兄弟関係の縮小、青少年に関連する産業の需要の縮小
- 居住環境の向上 子供部屋のある割合46.8%（昭和39年）→62.8%（昭和59年）
- 持家世帯の平均有業人員は借家世帯よりも多い 平均有業人員（昭和59年）

持家世帯 1.75人

借家世帯 1.36人

- 子供の近隣環境 遊び場は増加しているが、近隣環境は必ずしも安全とは言えない。
(子供の死因別死亡率のうち「不慮の事故」が最大である。)
- 父親の育児参加が少ない 就業時間の伸長、単身赴任の増加

男子の就業時間
昭和50年 週48.8時間
↓
昭和61年 週50.9時間

- 教育費の上昇 長子が大学生である世帯における教育関係費の消費支出に占める割合

夫婦と子供一人の世帯で
昭和49年 11.3%
↓
昭和59年 18.7%

4 章 夫婦関係の変化と要因

(内容) 戦前と今日の比較により、夫婦のライフサイクルの変化を分析するとともに、社会経済変化との関連、夫婦像についても分析している。

- 夫婦関係の長期化と有配偶率の上昇 死別率が長期的に低下、離婚率は昭和40年代、昭和50年代に上昇するも、最近やや低下
- 出生期間は減ったが教育期間が増加して養育期間はあまり変わっていない。
- 定年後の夫婦だけの生活期間が増加した。
- 夫婦の就業形態の変化 自営業型→性別役割分業型→性別役割分業型と共働き型の共存
- 妻の眼からみた現代の夫婦像 男性は優遇されている。家事は妻に集中、重要な意見決定は夫、ただし夫婦関係に対する「不満」は少ない。
- 就業主婦の間で性別役割分業への批判強い。

5 章 世代間関係の変化と要因

(内容) 明治期から今日までの人口転換にともなう世代特性の変化、三世同居の変化、及び家族による高齢者の扶養機能について分析している。

- 人口転換と社会経済変動にともなう世代特性の変化 多産多死世代→多産少死世代→少産少死世代
- 世代間比率の変化 昭和25年 壮年世代(多産多死世代)1人に対して、親世代(多産多死世代)0.2人、子世代(多産少死世代)2.2人
昭和60年 壮年世代(多産少死世代)1人に対して、親世代(多産多死世代)0.3人、子世代(少産少死世代)0.9人
昭和95年 壮年世代(少産少死世代)1人に対して、親世代(多産少死世代)0.9人、子世代(少産少死世代)0.8人
- 同居率の低下 昭和35年87.4%→昭和60年65.5%
- 同居率の低下の要因 同居の開始年齢の上昇、都市化、雇用者の増大
- 経済的扶養機能の低下 老後を子供に頼る人の割合
昭和20年代5割強→昭和40年代後半以降2割台
米国などと同様「自助努力」の考え方強い
- 身体的介護機能に対する期待は今日でも強固 介護の中心的担い手は妻、嫁
- 今後、高齢者自身の個人主義的意識も強まり社会参加活動も積極的になると予想される。

6 章 地域社会と家族

(内容) 農村における家族をめぐる状況の変化を記述するとともに、地域社会と学校、出稼ぎ、過疎問題に分析を加え、個性あるコミュニティづくりを提言している。

- 農家における家族意識の変化 長男相続意識は弱まる。
- 農家家族において家族の再生産が困難となりつつある。
- 小中学校は地域住民のコミュニティ形成の上で重要である。
- 出稼ぎは減少しているが家族関係に与える影響は大きい。
- 高齢化が進んでいる過疎農山村においては、ニーズに応じた老人福祉対策の充実が望まれる。
- 魅力あるコミュニティ基盤にたって、職住近隣のゆとりある家庭生活を築いていくことが必要である。

附 論 欧米諸国における家族の変化

(内容) 欧米における家族をめぐる変化について、晩婚化、未婚率の動向、同棲の増加、離婚の拡大、出生率の低下、婚外出生の増大について分析するとともに家族政策等についても記述している。

昭和 6 2 年度

「第 9 次 出 産 力 調 査」

(結 婚 と 出 産 に 関 す る 全 国 調 査)

概 要

第9次出産力調査（結婚と出産に関する全国調査）の結果概要

I. 調査の概要

1. 第9次出産力調査の沿革

厚生省人口問題研究所は昭和62年 6月 4日第9次出産力調査（副題：結婚と出産に関する全国調査）を実施した。この調査は政府承認統計のひとつであり、戦前（昭和15年）に第1回、ついで戦後の昭和27年に第2回が行われて以後、5年毎に定期的な実施されてきた全国調査である。今回の調査は、人口動態統計では把握できない夫婦の出産力の動向とその規定要因を明らかにし、近年の急激な晩婚化の進行に鑑みて、結婚動向とその規定要因を明らかにすることを目的とした。

2. 調査手続と調査票回収状況

本調査は、全国の妻の年齢50歳未満の夫婦を対象とした。（回答者を妻に限ったから、調査対象は年齢50歳未満の有配偶女子とも言い換えられる）。調査対象地域は、昭和62年に実施された国民生活基礎調査のために全国から系統抽出法によって選定された940の国勢調査地区のなかから、さらにもう一度系統抽出法によって選ばれた400の国勢調査地区である。調査方法は配票自計、密封回収方式である。

調査票配布数は10,297票、回収された調査票は9,700票、回収率は94.2%であった。ただし、回収票のうち記入状況の極端に悪い票（178票）を除いた有効回収票は9,522票であり、有効回収率は92.5%であった。なお今回の集計は、妻が初婚の夫婦8,881組に限定して行った（妻が初婚の夫婦の全夫婦に対する割合は93.3%）。

II. 夫婦の結婚に関する調査結果

1. 夫妻の結婚年齢——晩婚化の進行——

『人口動態統計』によると、近年我が国の結婚年齢は著しく上昇している。表1によれば、平均初婚年齢は、男女ともベビーブーム世代が適齢期を迎えた昭和40年代半ばに一時低下した後、昭和48年を境にして上昇を始め、昭和61年には夫28.3歳、妻25.6歳に達した。第8次および第9次出産力調査の結果においてもまったく同様の傾向が観察できる。

1-1. 見合い結婚の結婚年齢の上昇著しい

結婚形態（見合い結婚／恋愛結婚）別に初婚年齢の推移をみると、見合い結婚と恋愛結婚の双方において初婚年齢の上昇がみられるものの、見合い結婚の場合が特に顕著であり、そのために両者の格差は拡大傾向にある（表2）。

1-2. 高学歴ほど晩婚

学歴別に平均初婚年齢を見ると、夫妻ともに、いずれの学歴についても初婚年齢が上昇している（表3）。夫・妻共に「大学（四年制）以上」卒業者の初婚年齢は一貫して高く、たとえば「高校」卒業者との差を見ると、昭和45～54の結婚で妻 1.3歳、夫 1.2歳、昭和55年以降でそれぞれ 1.7歳、1.3歳となっている。近年「中学校」卒業者の平均初婚年齢が急激に上昇しており、特に夫では「大学以上」卒業者に匹敵する年齢にまで達している。

1-3. 農林漁業、非農自営で晩婚化顕著

本調査では、夫の結婚時の職業および妻の父親の職業を尋ねており、このそれぞれについて平均初婚年齢を算出した（表4-1、4-2）。全体としては、いずれの職業についても初婚年齢が上昇しているが、夫ではとくに「非農自営」、「農林漁業」における平均初婚年齢の上昇が著しく、他の職業との差が拡大傾向にある。妻では従来初婚年齢の低かった「（父親の職業）農林漁業」で上昇が著しく、昭和55年以降の結婚では、「非農自営」「ホワイトカラー」との間で大きな差が見られない。「ブルーカラー」の初婚年齢の変化は小さい。

2. 夫妻の年齢差——大きな変化なし——

(1) 『人口動態統計』によると初婚夫妻の年齢差は昭和20年代後半から30年代を通して 2.8歳前後に安定していたが、昭和40年代後半に一時縮小が見られ、昭和50年には 2.3歳となった。しかしその後は再び広がる傾向にあり、昭和60年では 2.7歳と以前の水準に戻っている。本調査でもほぼ同様の結果が得られた（表5）。

(2) 夫妻の年齢差の年次的変動はきわめて安定していると言えるが、属性別たとえば表6に示した「夫妻の知り合ったきっかけ」別などでは大きな格差が存在する。すなわち、見合い結婚と恋愛結婚では 1.4歳の格差があり（総数）、見合い結婚で夫妻の年齢差が大きい。

3. 交際期間も婚約期間も長くなる傾向

(1) 今回の調査では、結婚に至る時間的過程を詳しく調べるため、夫妻が知り合った年月および婚約した年月を聞いている。その結果によれば、知り合ってから婚約するまでの期間は不詳を除いた全体の38%が半年未満、56%が一年未満であり、また 3年以上の者も15%いる（表7）。平均は総数で17.2ヶ月だが、年次的に延びる傾向が見られ、初婚年齢の上昇に影響を与えているものと見られる。

(2) 一方、婚約～結婚期間は半年未満が61%、また一年未満が87%と大多数で、平均は 6.3ヶ月である（表8）。こちらも年次的に僅かではあるが長くなっていることが観察される。これらを夫妻の学歴別にみると、「知合い～婚約」「婚約～結婚」期間共に学歴が高いほど長くなる傾向が見られる（表9、10）。また「知合い～婚約」期間はすべての学歴で長くなる傾向がある。

4. 見合い結婚はさらに減少。その内容も恋愛なものに

(1) 見合い結婚の割合の年次的減少は、第7次および第8次調査によって明らかにされているが、今回の調査でも見合い結婚の割合は引続き減少していることがわかった。具体的には、昭和18～22年の結婚では64%であったが、昭和28～32年55%（以上第7次調査）、昭和40～44年43%（第8次調査）、昭和50～54年29%、昭和60年以降23%（以上第9次調査、表11）となっている。

また、今回の調査では結婚形態に関係なく、結婚が恋愛感情に基づいたものだったかどうかを尋ねているが、見合い結婚の中での恋愛に基づくと答えた夫婦の割合は昭和40～44年の32%から昭和60年以降の72%まで急激に増えており、見合いは量的な減少だけでなく、その内容自体も変化してきている様子が窺える。

一方恋愛結婚の中での知り合ったきっかけでは、いぜん「職場で」が多いが、年次的には「幼なじみ・隣人関係」が減り、逆に「友人や兄弟を通じて」「学校で」などが増えてきている。

(2) 夫妻の社会経済的属性別に見合い結婚の割合をみると（表12）、夫の中学卒、夫が農業、非農自営で見合い結婚割合がとくに高く、妻の場合には短大、大学で見合い結婚割合がやや高い。

5. 新婚時の親との同居、近居は増加傾向

(1) 結婚直後の親との同居率は、第7次、第8次調査を通して低下してきているが、第8次調査では、昭和50年代に結婚した夫婦にやや上昇の気配がみられた。今回調査でもほぼ同じような傾向が認められる（表13）。今回調査では親の近くに住む近居についても尋ねているが、親の近くに住むものは急速に増えている。同居と近居を合わせた居住形態は、昭和40年代の5割から昭和60年に入って6割をこえるところまで上昇し、最近の結婚では同居3、近居3、別居4の割合になっている。

(2) 夫妻の社会経済的属性別に「親との同居率」をみると（表14）、夫が長男、夫の職業が農業、非農自営、居住地が農山村・漁村、結婚形態が見合い結婚で親との同居率が高い。

6. 配偶者選択の範囲

結婚相手の選択範囲は結婚の動向に影響を及ぼしていると考えられるが、本調査では社会経済的属性別に配偶者選択の範囲を調べた。

6-1. 夫妻の出身地の都道府県一致率上昇

夫妻の結婚前居住都道府県の一致率は、配偶者選択の際の地理的範囲の広さの指標となる。結婚形態による違いを見ると、見合い結婚の方が一致率は低く、地理的に広範囲から結婚相手を選んでいることになる（表15）。前回調査の結果から見ると、昭和30年代から40年代にかけて見合い結婚、恋愛結婚とも一致率が下がり、この時期に一時配偶者選択の範囲が広がったことが分かる。今回の調査を見ると、その後再び一致率が上昇し、配偶者選択の地理的範囲が縮小している。

6-2. 女子で「上方婚」志向強い

夫妻の学歴の組合せにどの程度の選好性があるかを同類婚指数を用いて観察すると（表16）、一般に夫妻共に自分と同じ学歴の相手との組合せで選好性が強くはたらいており、「大学以上」同志の組合せが最も選好性が強く、次いで「中学校」同志、「専修学校」同志の組合せも強い。ただし妻の側は全体に上方婚の傾向が強く、妻「短大・高専」の場合は、夫が「大学以上」で選好性が強い。

夫妻の父親の職業の組合せでは（表17）、やはり同じ職種の組合せで選好性が強く、中でも「臨時・日雇・無職」を除くと、「ブルーカラー」同志の場合に最も選好性が強い。

Ⅲ. 出産に関する調査結果

1. 夫婦の完結出生児数——平均 2.2人を割る——

これ以上子供を生む可能性がほとんどなくなった時点における夫婦集団の平均出生児数を完結出生児数（又は完結出生力）と呼ぶ。表18はこれまでの出産力調査によって、結婚持続期間15～19年における夫婦の完結出生児数の推移を比較している。表から明らかなように、戦後大きく減少した完結出生児数は、昭和47年に結婚後15～19年の夫婦（ベビーブーム終了後の昭和30年前後に結婚した夫婦）において 2.2人となり、その後の結婚集団においてもほぼ 2.2人で安定していた。しかるに今回の調査によれば、昭和40年代中頃に結婚した夫婦において完結出生児数が若干減少し、2.2人を割るに至っている。

1-1. 高齢における追加出生の減少

妻の年齢別に出生児数の推移を見ると表19のようになる。第7次調査の35～39歳層と第8次調査の40～44歳層を比較してみると2.15人から2.21人へと若干の追加出生がみられる。それに対し第8次調査の35～39歳層と第9次調査の40～44歳層の間には2.16人から2.16人へと全く変化がなく、最近になるほど高齢における追加出生が少なくなっている。この傾向が続けば、第9次調査の35～39歳層の完結出生児数は2.15人を下回ることも考えられる。

1-2. 全体の 8割が 2～ 3人の子供を生む。 4人以上は減少

結婚後15～19年の夫婦の出生児数分布を第7次～第9次で比較すると（表20）、無子夫婦あるいは一人っ子家族が増大している兆しはなく、全体の半数以上の夫婦が 2人の子供を持ち、4分の 1ほどの夫婦が 3人の子供を持つという構図は変化していない。それに対し、4人以上の子供を生む夫婦割合は今回調査において若干減少している。

1-3. 大都市、ホワイトカラーの出生児数低下

戦後子供の数がしだいに 2人ないし 3人に集中してきたが、その過程を通じて完結出生児数の社会経済的格差も縮小してきた。表21-1、21-2は、今回の調査による社会経済的属性別の完結出生児数（結婚持続期間15～19年）を第8次調査の結果とともに示したものである。

(1) 前回同様、妻の初婚年齢が高いほど出生児数は少ない。今回の結果では、初婚年齢23～26歳の完結出生児数が前回に比べて減少している。

(2) 都市・農村別では、大都市地域である人口集中地区 200万以上の出生児数が1.98人と前回に比べてかなり減少したためその格差は若干増大した。

(3) 妻の学歴による出生児数の格差は前回と今回で一貫しない。

(4) 夫が農林漁業に従事している夫婦の出生児数は前回に比べて減少したものの、相変わらず高水準が続いている。しかし、その構成比は小さい。非農自営の場合も相対的に出生児数が多い。今回ホワイトカラーの出生児数が前回と比べて若干減少しているが、これは大都市地域での出生児数の減少と対応するものと考えられる。

(5) 結婚直後に親と同居するか否かによって出生児数の違いをみると、同居は別居に比べて出生児数が一貫して多い。なお、今回の調査では、若夫婦が親の近くに居住する近居というカテゴリーを設けたところ、同居と別居の中間の値を示した。

(6) 表21-2は結婚後第1回の妊娠をする前まで、第1回の妊娠をしてから第2回の妊娠をする前までの各々について、妻の就業状態別に出生児数をみたものである。これによると、出生児数は家族従業で最も多く、パートで最も少ない。両者の中間にある専業主婦と常雇の差は一貫しない。

(7) 今回の調査では、結婚・出産と女性の仕事の関係に関して、理想とする人生コースと予想される人生コースを尋ねた(表21-3)。これによると「子供をもちずに仕事一筋」という妻は理想としても予想としてもごく僅かである。理想としても予想としても多いのは結婚・出産退職・再就職型の人生で、合わせて4割強を占める。結婚・出産退職しその後は仕事を持たない主婦業専念型は理想が予想をやや上回る。結婚・出産し、しかも一生仕事を続ける両立型は理想(15%)が予想(21%)を下回る。仕事一筋型の人生コースを除くと、予想される人生コースの違いによる出生児数の差は小さい。

2. 合計結婚出生率は2.0人から持ち直す

今回の調査では、妻が調査時点までに経験した妊娠の経過が調べられている。これを用いて年次ごとに結婚持続期間別出生率を算出し、その結果を合計したものを合計結婚出生率(total marital fertility rate = TMFR)と呼ぶ。この指標は、ある年次の結婚持続期間別出生率から期待される一夫婦あたりの出生児数であるが、指標の性格上、完結出生児数の変化のみならず、その時々のお生のタイミングの変化にも影響される。

(1) 図 1は毎年の合計結婚出生率の 3年移動平均の推移を、昭和46年から60年まで実線で示している。これによると、合計結婚出生率は昭和40年代の後半から低下を始め50年代の始めには 2.0の水準に近づいたものの、50年代の後半からやや持ち直し、昭和60年には現在の完結出生力に近い水準まで回復している。

(2) 図 1に点線で示した合計特殊出生率の推移と比べると、合計結婚出生率の昭和50年前後の落ち込みは合計特殊出生率ほどではない。また昭和60年前後には、合計結婚出生率の上昇にもかかわらず合計特殊出生率は低下している。両者の乖離は、この時期に結婚・出産適齢期層の有配偶率の低下、すなわち初婚年齢の上昇が著しかったためである。

3. 若い夫婦の平均予定子供数は約 2.3人、9割が 2～3人の子供を志向

前回までと同様今回も夫婦の予定子供数を調べているが、表22に示す通り第7次、第8次、第9次と予定子供数はわずかに増えこそすれ減少の兆しは見られない。表23は今回の調査について20～34歳の予定子供数分布を示している。現在でも無子あるいは一人っ子の家族を予定する夫婦は 8%に満たず 6割が子供 2人を、3割が子供 3人を予定している。

3-1. 子供 2人で35歳なら追加出生の意欲なし

子供がすでに 2人いる場合には、1人しかいない場合に比べて追加出生の意欲は小さく、特に妻の年齢が35歳に達している場合追加出生の意欲はほとんどない(表24)。子供が全くいない場合あるいは1人しかいない場合でも妻が40歳に達すれば追加出生意欲はほとんどない。このことは、現代の二人っ子志向の強さとともに高齢出産忌避の傾向をよく表している。

4. 平均理想子供数は 2.6人ほどで安定

予定子供数は、夫婦の経済的状況などを反映した現実的出生目標であるが、理想子供数は現実的障害をすべて除いたとした場合に望まれる子供数である。表25に見るように理想子供数は第6次から第7次の間で若干低下を示したが、その後下げ止まり、第9次調査においても 2.6人を若干上回っている。

表26は理想子供数の分布を示している。ここでも、無子、一人っ子忌避の傾向は明らかであり、25～29歳以上においては、完結出生児数と予定子供数の場合とは対照的に、子供 3人を理想とする夫婦の割合が子供 2人を理想とする夫婦の割合を上回っている。

4-1. 理想子供数が 3人であるのに第 3子をためらう夫婦が多い

子供 3人を理想としながら予定子供数は 2人以下と答えたものが、子供 3人を理想とする夫婦の40%近くにのぼっている(表27)。このように第 3子を持つことをためらう夫婦の存在が、平均予定子供数が平均理想子供数を下回る大きな原因となっている。

4-2. 女の子を持ちたいという意欲が強まる

前回調査と同様に今回の調査においても、子供として持つならば男の子と女の子何人づつが理想であ

るかを尋ねている。表28は理想子供数別の理想の男女児組み合わせを、前回調査と今回調査について比較している。これによると、理想子供数が2人の場合は前回も今回も男女児同数を理想とするものが圧倒的である。しかるに、子供1人を理想とする妻では、前は男児と女児に対する志向はほぼ同等であったのに対し、今回の調査では女児に対する志向が高まっている。また理想子供数が3人の場合、前回には男児2人女児1人の組み合わせを理想とする妻が男児1人女児2人の組み合わせを理想とする妻を大きく上回っていたのに対し、今回は両者の差が縮小している。今回は女児3人を望む者も男児3人を理想とする者の数を上回っている。これらの事実は、女の子に対する志向が強まってきたことを示している。

5. 30代後半以降で避妊実行率高まる

(1) 今回の調査では調査時点における避妊の実行状況を調べた。それによると全夫婦の64.6%が調査時現在「避妊をしている」と答えた(表29)。これに「以前はしていたが今はしていない」18.7%を加えると、全夫婦の83.3%が避妊を経験したことがあることになる。妻の年齢別にみると、30代後半の避妊現在実行率が74.1%で最も高く、若年齢と高年齢で低くなっている。今回の結果を昭和49年の世界出産力調査、昭和52年の第7次出産力調査の結果と比べると、30代後半以降で避妊実行率の上昇がみられ、全夫婦についても避妊実行率が上昇している。

(2) 避妊実行率を追加予定の子供の有無別にみると(表30)、今後子供を生むつもりのある(追加出生予定のある)夫婦では45.1%、これ以上子供を生むつもりのない(追加出生予定のない)夫婦では75.8%である。追加出生予定のない夫婦では30代前半の避妊実行率が最も高く、87.3%に達する。これらの夫婦には現在妊娠中の夫婦、閉経などで子供を生めない夫婦が含まれていることを考慮すると、これ以上子供を生むつもりのない妊娠可能な夫婦の大部分が避妊を実行していることになる。

5-1. 高学歴、ホワイトカラー、専業主婦で避妊実行率高い

これ以上子供を生むつもりのない夫婦の避妊現在実行率を夫妻の社会経済的属性別にみると(表31)、夫妻が低学歴、夫が無職・臨時・日雇いで実行率がとくに低く、夫妻が高学歴、夫がホワイトカラー、妻が無職(専業主婦)で実行率が高い。

6. 避妊の方法はコンドームが圧倒的

(1) 避妊実行者の総数を現在用いている避妊の方法別に分けると、コンドームが74.7%で第1位、性交中絶法が15.6%、オギノ式が14.1%でこれに続く(表32)。欧米諸国では不妊手術、IUD、経口避妊薬(ピル)を含めたいわゆる近代的避妊法(modern contraceptive methods)の利用率が増えているが、これは今回の調査では全夫婦の13.1%にとどまった。ただし年齢別にみると、高年齢ほど不妊手術、IUDの利用率が増え、他の避妊法の利用率が減る。

(2) 現在用いている避妊方法割合を夫妻の社会経済的属性別にみると、夫妻が高学歴、夫の職業がホワイトカラー、妻が専業主婦が他に比べてオギノ式、コンドームがやや多く、不妊手術が少ない。

7. 中絶率は低下。中絶経験者は 2割強、経験者の平均中絶回数は 1.5回

(1) 今回調査の妊娠歴に基づく延妊娠総数のうち、出生は80.9%、自然死流産は 8.7%、人工妊娠中絶は10.4%であった(表33-1)。人工妊娠中絶の割合は妊娠順位が上がるほど高まり、第5妊娠では45.6%に達する。中絶割合を結婚コーホート別に比較すると(表33-2)、すべての妊娠順位で中絶割合の低下がみられる。

(2) 人工妊娠中絶の経験者は全夫婦の22.6%であり、経験者の平均中絶回数は1.51回である(表34)。ほぼ妊娠活動を終えたと考えられる妻の年齢45~49歳の夫婦についてみると、中絶の経験者は32.8%、経験者の平均中絶回数は1.62回である。

(3) 人工妊娠中絶の経験率ならびに平均回数を夫妻の社会経済的属性別にみると(表35)、夫妻が低学歴、夫が農業、非農自営で経験率高く、平均回数も多い一方、夫妻が高学歴、夫がホワイトカラー、妻が無職で経験率低く、平均回数も少なかった。

8. 妊娠歴に基づく調査結果——若い世代ほど早く避妊を始め、失敗妊娠率も低い

今回の調査では、調査対象者が調査時点までに経験した 5回までの妊娠について、各回の妊娠前の避妊実行状況、避妊目的、避妊の成果、妊娠結果について調べた。このデータをもとにして、各回の妊娠毎に「もうこれ以上子供を生むつもりはなかった」夫婦の避妊実行率、避妊失敗率を結婚コーホート別に計測した。

(1) 表36は「もうこれ以上子供を生むつもりはなかった」夫婦の妊娠段階毎の避妊実行率を、結婚コーホート別に示している。これによると、いずれの結婚コーホートにおいても第 2回の妊娠以降に避妊実行率が大きく上昇する。また新しい結婚コーホートほど低い妊娠段階から避妊を始める傾向があり、全体としても避妊実行率が高い。

(2) 表37は「もうこれ以上子供を生むつもりはなかった」夫婦の妊娠段階毎の避妊失敗率(失敗妊娠率)を結婚コーホート別に示している。これによると、第 2妊娠以降の避妊失敗率は全体として20%ほどであることが分かる。またすべての妊娠段階において、新しい結婚コーホートほど避妊失敗率が低い(言い換えれば避妊の効率が高い)。

Ⅱ. 夫婦の結婚に関する調査結果

1. 夫妻の結婚年齢

表 1. 人口動態統計および第8次、9次出産力調査による平均初婚年齢の推移

| 結 婚 年 | 夫 | | | 妻 | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| | 動態統計 | 第8次 | 第9次 | 動態統計 | 第8次 | 第9次 |
| 昭和40年 | 27.2 | 27.1 | 26.9 | 24.5 | 24.0 | 23.8 |
| 41 | 27.3 | | | | | |
| 42 | 27.2 | | | | | |
| 43 | 27.2 | | | | | |
| 44 | 27.1 | | | | | |
| 45 | 26.9 | 26.8 | 26.9 | 24.2 | 24.0 | 24.0 |
| 46 | 26.8 | | | | | |
| 47 | 26.7 | | | | | |
| 48 | 26.7 | | | | | |
| 49 | 26.8 | | | | | |
| 50 | 27.0 | 27.3 | 27.3 | 24.7 | 24.7 | 24.7 |
| 51 | 27.2 | | | | | |
| 52 | 27.4 | | | | | |
| 53 | 27.6 | | | | | |
| 54 | 27.7 | | | | | |
| 55 | 27.8 | 27.7 | 28.1 | 25.2 | 24.9 | 25.2 |
| 56 | 27.9 | | | | | |
| 57 | 28.0 | | | | | |
| 58 | 28.0 | | | | | |
| 59 | 28.1 | | | | | |
| 60 | 28.2 | 28.3 | 28.3 | 25.5 | 25.7 | 25.7 |
| 61 | 28.3 | | | | | |
| 62 | 28.3 | | | | | |

表 2. 結婚年・結婚形態別平均初婚年齢

(夫)

| 結 婚 年 | 総 数 | 見 合 い | 恋 愛 |
|----------|---------------|-------|-------|
| 昭和40～44年 | 26.92 (1,542) | 27.99 | 26.16 |
| 昭和45～49年 | 26.86 (1,951) | 28.73 | 26.01 |
| 昭和50～54年 | 27.33 (1,877) | 29.26 | 26.52 |
| 昭和55～59年 | 28.07 (1,562) | 30.57 | 27.24 |
| 昭和60年以降 | 28.31 (681) | 31.18 | 27.50 |
| 総 数 | 27.21 (8,797) | 28.72 | 26.49 |

(妻)

| 結 婚 年 | 総 数 | 見 合 い | 恋 愛 |
|----------|---------------|-------|-------|
| 昭和40～44年 | 23.80 (1,547) | 24.19 | 23.53 |
| 昭和45～49年 | 23.97 (1,949) | 24.73 | 23.62 |
| 昭和50～54年 | 24.71 (1,899) | 25.68 | 24.31 |
| 昭和55～59年 | 25.21 (1,572) | 26.56 | 24.82 |
| 昭和60年以降 | 25.67 (672) | 27.63 | 25.07 |
| 総 数 | 24.24 (8,825) | 24.83 | 23.98 |

注 1) 総数は昭和30年以前に結婚した者を含む。

注 2) () 内は標本規模。

表 3. 結婚年・学歴別平均初婚年齢

(夫)

| 結婚年 | 中学校 | 高 校 | 専 修 学 校 | 短 大 ・ 高 専 | 大 学 以 上 |
|---------|-------|-------|---------|-----------|---------|
| 昭和40～44 | 26.76 | 26.67 | 26.54 | 26.89 | 27.91 |
| 昭和45～49 | 27.19 | 26.50 | 26.10 | 26.24 | 27.52 |
| 昭和50～54 | 27.81 | 26.84 | 26.98 | 27.17 | 28.14 |
| 昭和55～59 | 28.85 | 27.50 | 27.45 | 27.15 | 28.93 |
| 昭和60～ | 28.26 | 28.01 | 26.68 | 28.85 | 29.01 |
| 総 数 | 26.95 | 26.86 | 26.73 | 27.10 | 28.23 |

(妻)

| 結婚年 | 中学校 | 高 校 | 専 修 学 校 | 短 大 ・ 高 専 | 大 学 以 上 |
|---------|-------|-------|---------|-----------|---------|
| 昭和40～44 | 23.44 | 23.94 | 23.70 | 23.87 | 25.11 |
| 昭和45～49 | 23.68 | 23.94 | 23.85 | 24.34 | 25.29 |
| 昭和50～54 | 24.37 | 24.59 | 24.92 | 24.83 | 25.72 |
| 昭和55～59 | 25.45 | 24.75 | 25.24 | 25.69 | 26.43 |
| 昭和60～ | 24.14 | 25.25 | 26.07 | 26.06 | 27.10 |
| 総 数 | 23.32 | 24.17 | 24.66 | 25.07 | 25.92 |

表 4-1. 結婚年・結婚時の職業別夫の平均初婚年齢

| 結婚年 | 農林漁業 | 非農自営 | ブルー カラー | ホワイト カラー | 臨時・日雇 ・無職 |
|---------|-------|-------|------------|-------------|--------------|
| 昭和40～44 | 26.63 | 26.90 | 26.53 | 27.19 | 26.31 |
| 昭和45～49 | 26.53 | 27.21 | 26.78 | 26.88 | 26.57 |
| 昭和50～54 | 26.85 | 28.15 | 26.83 | 27.49 | 26.92 |
| 昭和55～59 | 27.82 | 29.20 | 27.86 | 28.08 | 27.12 |
| 昭和60～ | 29.43 | 30.82 | 27.72 | 28.27 | 27.94 |
| 総 数 | 26.49 | 27.55 | 26.89 | 27.40 | 26.61 |

表 4-2. 結婚年・父親の職業別妻の平均初婚年齢

| 結婚年 | 農林漁業 | 非農自営 | ブルー カラー | ホワイト カラー | 臨時・日雇 ・無職 |
|---------|-------|-------|------------|-------------|--------------|
| 昭和40～44 | 23.64 | 24.05 | 23.40 | 24.17 | 22.63 |
| 昭和45～49 | 23.66 | 24.40 | 23.59 | 24.31 | 22.95 |
| 昭和50～54 | 24.50 | 25.24 | 24.24 | 25.14 | 23.46 |
| 昭和55～59 | 25.32 | 25.38 | 24.33 | 25.63 | 24.83 |
| 昭和60～ | 26.62 | 26.23 | 24.21 | 25.82 | 25.66 |
| 総 数 | 23.99 | 24.54 | 23.78 | 24.73 | 23.50 |

2. 夫妻の結婚年齢差

表 5. 人口動態統計および第8次、第9次出産力調査による
夫妻平均年齢差の推移

| 結 婚 年 | 動態統計 | 第 8 次 | 第 9 次 |
|-------|------|-------|-------|
| 昭和40年 | 2.7 | 3.07 | 3.12 |
| 41 | 2.8 | | |
| 42 | 2.7 | | |
| 43 | 2.8 | | |
| 44 | 2.8 | | |
| 45 | 2.7 | 2.81 | 2.89 |
| 46 | 2.6 | | |
| 47 | 2.5 | | |
| 48 | 2.4 | | |
| 49 | 2.3 | | |
| 50 | 2.3 | 2.61 | 2.62 |
| 51 | 2.3 | | |
| 52 | 2.4 | | |
| 53 | 2.5 | | |
| 54 | 2.5 | | |
| 55 | 2.6 | 2.78 | 2.86 |
| 56 | 2.6 | | |
| 57 | 2.7 | | |
| 58 | 2.7 | | |
| 59 | 2.7 | | |
| 60 | 2.7 | 2.64 | |
| 61 | 2.7 | | |
| 62 | 2.7 | | |

表 6. 結婚年・結婚形態別夫妻の平均年齢差

| 結婚年 | 見合い | 恋愛 |
|----------|------|------|
| 昭和40～44年 | 3.80 | 2.63 |
| 昭和45～49年 | 4.00 | 2.39 |
| 昭和50～54年 | 3.58 | 2.21 |
| 昭和55～59年 | 4.01 | 2.42 |
| 昭和60年以降 | 3.55 | 2.43 |
| 総数 | 3.89 | 2.51 |

3. 交際期間、婚約期間

表 7. 結婚年・「知合い～婚約」平均期間別夫婦割合

(%)

| 結婚年 | 総数(平均)月 | 0～5ヶ月 | 6～11ヶ月 | 12～17ヶ月 | 18～23ヶ月 | 24～35ヶ月 | 36ヶ月以上 |
|---------|--------------|-------|--------|---------|---------|---------|--------|
| 昭和40～44 | 100.0 (13.6) | 44.3 | 17.9 | 13.1 | 7.3 | 7.9 | 9.6 |
| 昭和45～49 | 100.0 (15.9) | 38.6 | 19.1 | 12.5 | 8.1 | 8.1 | 13.6 |
| 昭和50～54 | 100.0 (17.9) | 36.2 | 17.5 | 11.4 | 8.5 | 10.6 | 15.7 |
| 昭和55～59 | 100.0 (21.1) | 33.6 | 15.6 | 12.5 | 6.9 | 10.5 | 20.9 |
| 昭和60～ | 100.0 (22.6) | 30.4 | 15.0 | 11.1 | 7.8 | 13.7 | 21.9 |
| 総数 | 100.0 (17.2) | 38.2 | 17.6 | 12.0 | 7.7 | 9.7 | 14.9 |

注) 期間不詳を除いた割合。

表 8. 結婚年・「婚約～結婚」平均期間別夫婦割合

(%)

| 結婚年 | 総数(平均)月 | 0～5ヶ月 | 6～11ヶ月 | 12～17ヶ月 | 18～23ヶ月 | 24～35ヶ月 |
|---------|-------------|-------|--------|---------|---------|---------|
| 昭和40～44 | 100.0 (5.8) | 63.9 | 23.3 | 7.6 | 2.4 | 2.8 |
| 昭和45～49 | 100.0 (6.2) | 62.2 | 24.9 | 7.5 | 2.1 | 3.3 |
| 昭和50～54 | 100.0 (6.3) | 59.6 | 26.7 | 8.9 | 2.4 | 2.4 |
| 昭和55～59 | 100.0 (6.8) | 57.8 | 29.3 | 7.2 | 2.0 | 3.7 |
| 昭和60～ | 100.0 (7.4) | 57.3 | 26.0 | 9.4 | 2.5 | 4.8 |
| 総数 | 100.0 (6.3) | 60.9 | 25.7 | 8.0 | 2.3 | 3.2 |

注) 期間不詳を除いた割合。

表 9. 結婚年・夫妻の学歴別「知合い～婚約」平均期間(月)

(夫の学歴別)

(妻の学歴別)

| 結婚年 | 中学校 | 高校 | 専修学校 | 短大・高専 | 大学以上 |
|---------|------|------|------|-------|------|
| 昭和40～44 | 11.4 | 15.3 | 13.1 | 13.1 | 14.0 |
| 昭和45～49 | 13.1 | 15.5 | 15.6 | 22.0 | 18.4 |
| 昭和50～54 | 11.9 | 18.8 | 19.1 | 19.0 | 19.3 |
| 昭和55～59 | 20.1 | 20.0 | 22.7 | 24.4 | 21.9 |
| 昭和60～ | 19.5 | 22.1 | 26.0 | 24.5 | 22.4 |
| 総数 | 13.4 | 17.4 | 18.2 | 20.6 | 19.2 |

| 結婚年 | 中学校 | 高校 | 専修学校 | 短大・高専 | 大学以上 |
|---------|------|------|------|-------|------|
| 昭和40～44 | 13.2 | 13.8 | 13.3 | 12.9 | 15.3 |
| 昭和45～49 | 13.5 | 16.4 | 15.0 | 17.1 | 19.5 |
| 昭和50～54 | 15.2 | 18.4 | 18.5 | 17.6 | 19.1 |
| 昭和55～59 | 18.6 | 21.0 | 21.9 | 19.9 | 25.0 |
| 昭和60～ | 17.7 | 22.9 | 24.0 | 21.3 | 25.7 |
| 総数 | 13.5 | 17.5 | 18.9 | 18.3 | 21.4 |

表10. 結婚年・夫妻の学歴別「婚約～結婚」平均期間（月）

| （夫の学歴別） | | | | | | （妻の学歴別） | | | | | |
|---------|-----|-----|------|-------|------|---------|-----|-----|------|-------|------|
| 結婚年 | 中学校 | 高校 | 専修学校 | 短大・高専 | 大学以上 | 結婚年 | 中学校 | 高校 | 専修学校 | 短大・高専 | 大学以上 |
| 昭和40～44 | 5.1 | 5.8 | 5.5 | 5.7 | 7.4 | 昭和40～44 | 5.5 | 5.7 | 6.8 | 7.3 | 8.8 |
| 昭和45～49 | 5.7 | 6.1 | 5.5 | 5.6 | 7.3 | 昭和45～49 | 5.6 | 6.4 | 6.2 | 5.8 | 7.2 |
| 昭和50～54 | 4.5 | 6.2 | 5.5 | 6.4 | 7.5 | 昭和50～54 | 5.3 | 6.2 | 5.7 | 7.0 | 8.1 |
| 昭和55～59 | 5.0 | 6.9 | 6.2 | 6.5 | 7.4 | 昭和55～59 | 4.9 | 6.7 | 6.8 | 7.1 | 7.5 |
| 昭和60～ | 4.2 | 7.9 | 5.6 | 5.4 | 8.2 | 昭和60～ | 4.3 | 7.4 | 6.7 | 7.5 | 9.2 |
| 総数 | 5.1 | 6.4 | 5.6 | 6.2 | 7.5 | 総数 | 5.3 | 6.4 | 6.4 | 6.9 | 8.0 |

4. 夫妻が知り合ったきっかけ

表11. 結婚年・夫妻が知り合ったきっかけ別夫婦割合

(%)

| 結婚年 | 見合い (見合いにおける 恋愛性の割合) | 恋愛 | | | | | | | その他 および 不詳 |
|----------|----------------------------|------|-----|------|---------|----------|----------|---------|------------------|
| | | 総数 | 学校 | 職場 | 幼なじみ・隣人 | サークル・クラブ | 友人・兄弟の紹介 | 街中・旅先など | |
| 昭和40～44年 | 40.7 (32.2) | 57.0 | 1.7 | 28.5 | 4.3 | 3.7 | 14.5 | 4.3 | 2.2 |
| 昭和45～49年 | 31.1 (37.9) | 66.5 | 4.0 | 35.7 | 3.0 | 4.6 | 14.6 | 4.6 | 2.4 |
| 昭和50～54年 | 29.3 (44.6) | 68.6 | 5.3 | 31.8 | 2.8 | 4.8 | 18.7 | 5.2 | 2.1 |
| 昭和55～59年 | 24.4 (56.0) | 73.2 | 6.6 | 31.5 | 2.5 | 4.1 | 21.6 | 6.9 | 2.3 |
| 昭和60年以降 | 22.6 (71.7) | 75.2 | 6.7 | 33.5 | 1.2 | 6.5 | 20.8 | 6.5 | 2.0 |
| 総数 | 32.0 (39.2) | 65.6 | 4.3 | 31.4 | 3.4 | 4.4 | 17.0 | 5.1 | 2.2 |

表12. 夫婦の社会経済的属性別にみた見合い結婚割合

(%)

| (1) 妻の学歴 | | (2) 夫の学歴 | | (3) 夫結婚時の職業 | |
|----------|------|----------|------|-------------|------|
| 中学校 | 28.1 | 中学校 | 40.3 | 農業 | 59.8 |
| 高校 | 29.7 | 高校 | 30.1 | 非農自営 | 42.1 |
| 専修学校 | 28.8 | 専修学校 | 25.5 | フルカー | 31.5 |
| 短大・高専 | 32.3 | 短大・高専 | 22.6 | パートカー | 28.4 |
| 大学以上 | 33.3 | 大学以上 | 31.8 | 臨時、日雇、無職 | 27.9 |

注) 総数についての集計。

5. 新婚時の親との同別居

表13. 結婚年次別、結婚直後の親との居住形態別割合

(%)

| 結婚年 | 総数 | 同居 | 近居 | 別居 | 不詳 |
|----------|------------------|------|------|------|------|
| 昭和30～34年 | 100.0 (151) | 47.0 | 13.9 | 25.2 | 13.9 |
| 昭和35～39年 | 100.0 (937) | 34.8 | 14.4 | 40.6 | 10.2 |
| 昭和40～44年 | 100.0 (1,547) | 30.5 | 18.7 | 40.9 | 9.9 |
| 昭和45～49年 | 100.0 (1,949) | 29.4 | 20.4 | 43.2 | 7.0 |
| 昭和50～54年 | 100.0 (1,899) | 30.2 | 22.1 | 42.0 | 5.7 |
| 昭和55～59年 | 100.0 (1,572) | 31.4 | 24.9 | 40.9 | 2.8 |
| 昭和60年以後 | 100.0 (672) | 30.7 | 30.4 | 37.5 | 1.5 |
| 総数 | 100.0 (8,825) | 31.0 | 21.3 | 41.0 | 6.7 |

注 1) 総数には結婚年次不詳を含む。

注 2) () 内は標本規模。

表14. 夫婦の社会経済的属性別の「両親との同居割合」

(%)

| (1) 夫の続柄 | | (2) 夫の職業 | | (3) 結婚直後の居住地 | | (4) 結婚形態 | |
|----------|------|--------------|------|--------------|------|----------|------|
| 長男 | 43.3 | 農業 | 75.3 | 市街地 | 22.8 | 見合い | 41.7 |
| 長男以外 | 18.4 | 非農自営 | 43.5 | 農山村・漁村 | 63.6 | 恋愛 | 26.1 |
| | | フルタイム | 30.6 | | | | |
| | | パートタイム | 25.5 | | | | |
| | | 臨時、日雇、 無職 | 32.8 | | | | |

注) 総数についての集計。

6. 配偶者選択の範囲

表15. 結婚年・結婚形態別都道府県一致率

(%)

| 結婚年 | 総数 | 見合い | 恋愛 |
|----------|------|------|------|
| 昭和40～44年 | 71.3 | 66.1 | 74.8 |
| 45～49 | 69.3 | 66.0 | 71.1 |
| 50～54 | 72.4 | 65.8 | 74.8 |
| 55～59 | 76.6 | 68.5 | 79.2 |
| 60～ | 76.6 | 68.0 | 79.4 |
| 総数 | 72.7 | 67.3 | 75.3 |

表16. 夫妻の学歴別同類婚指数

| 学歴 \ 夫 妻 \ | 中学校 | 高 校 | 専 修 学 校 | 短大 ・高専 | 大 学 以 上 |
|---------------|-------|------|------------|-----------|------------|
| 中 学 校 | 2.78 | 0.69 | 0.83 | 0.40 | 0.09 |
| 高 校 | 0.66 | 1.32 | 1.02 | 1.10 | 0.78 |
| 専 修 学 校 | 0.53 | 1.00 | 2.03 | 1.11 | 1.09 |
| 短大・高専 | 0.14 | 0.54 | 0.96 | 1.92 | 2.39 |
| 大 学 以 上 | 0.04* | 0.22 | 0.20* | 0.27* | 3.49 |

注) *印は該当標本数20未満のもの。

表17. 夫妻の父親の職業別同類婚指数

| 父親の職業 \ 夫 妻 \ | 農林漁業 | 非農自営 | ブルー カラー | ホワイト カラー | 臨時・日雇 無職 |
|------------------|------|------|------------|-------------|-------------|
| 農 林 漁 業 | 1.79 | 0.77 | 0.83 | 0.71 | 0.84 |
| 非 農 自 営 | 0.74 | 1.61 | 0.87 | 1.06 | 0.70 |
| ブルーカラー | 0.88 | 0.91 | 2.10 | 0.69 | 0.98 |
| ホワイトカラー | 0.75 | 1.02 | 0.76 | 1.62 | 0.70 |
| 臨時・日雇・無職 | 0.89 | 0.53 | 0.91 | 0.53 | 5.20 |

Ⅲ. 出産に関する調査結果

1. 夫婦の完結出生児数

表18. 各次調査における結婚持続期間15～19年の妻の平均出生児数

| 調 査 年 次 | 平均出生児数 |
|-------------|--------|
| 第1次 (昭和15年) | 4.27 |
| 第2次 (昭和27年) | 3.50 |
| 第3次 (昭和32年) | 3.60 |
| 第4次 (昭和37年) | 2.83 |
| 第5次 (昭和42年) | 2.65 |
| 第6次 (昭和47年) | 2.20 |
| 第7次 (昭和52年) | 2.19 |
| 第8次 (昭和57年) | 2.23 |
| 第9次 (昭和62年) | 2.17 |

表19. 35歳以上の妻の年齢別平均出生児数

| 妻の年齢 | 第6次調査 (昭和47年) | 第7次調査 (昭和52年) | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 35～39歳 | 2.15 | 2.15 | 2.16 | 2.13 |
| 40～44歳 | 2.26 | 2.19 | 2.21 | 2.16 |
| 45～49歳 | 2.59 | 2.33 | 2.21 | 2.20 |

表20. 完結出生力分布の推移（結婚持続期間15～19年の妻について）

(%)

| 調査 | 0人 | 1人 | 2人 | 3人 | 4人以上 | 平均 |
|------------------|-----|------|------|------|------|------------------|
| 第7次調査 (昭和52年) | 3.0 | 10.8 | 56.9 | 24.1 | 5.2 | 2.19人 (1,426) |
| 第8次調査 (昭和57年) | 3.2 | 9.2 | 55.5 | 27.3 | 4.9 | 2.23 (1,421) |
| 第9次調査 (昭和62年) | 3.0 | 10.0 | 57.8 | 25.4 | 3.7 | 2.17 (1,800) |

注) ()内は標本規模。

表21-1. 社会経済的属性別完結出生力（結婚持続期間15～19年の妻について）

1) 妻の結婚年齢別

| 結婚持続期間 | 妻の結婚年齢(歳) | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 19歳未満 | 19～20 | 21～22 | 23～24 | 25～26 | 27～28 | 29～30 | 31～32 | 33～34 | 35歳以上 |
| 第8次調査 (昭和57年) | 2.23人 (1,421) | 2.50人 | 2.34人 | 2.27人 | 2.24人 | 2.21人 | 2.09人 | 1.81人 | * | * | — |
| 第9次調査 (昭和62年) | 2.17人 (1,800) | 2.45 | 2.37 | 2.28 | 2.13 | 2.13 | 2.01 | 1.85 | * | * | — |

注 1) *印は該当標本数が20未満のもの。

注 2) ()内は標本規模。

2) 都市・農村別

| 夫婦の現住地 | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|-----------------------|------------------|------------------|
| 非人口集中地区 (Non-DID) | 2.31人 (39.8%) | 2.28人 (40.4%) |
| 人口集中地区(DID) 200万未満 | 2.17 (49.1%) | 2.14 (46.0%) |
| 人口集中地区(DID) 200万以上 | 2.17 (11.1%) | 1.98 (13.6%) |

注) ()内夫婦割合。

3) 妻の学歴

| 妻の学歴 | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|-------|------------------|------------------|
| 中学校 | 2.24人 (39.5%) | 2.22人 (27.2%) |
| 高校 | 2.23 (50.1%) | 2.15 (60.6%) |
| 短大・高専 | 2.26 (6.3%) | 2.16 (7.3%) |
| 大学以上 | 1.93 (2.9%) | 2.32 (3.8%) |

注) ()内夫婦割合。

4) 夫の職業別

| 夫の職業 | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|---------|------------------|------------------|
| 農林漁業 | 2.60人 (4.2%) | 2.46人 (4.1%) |
| 非農自営 | 2.31 (19.8%) | 2.34 (11.9%) |
| ブルーカラー | 2.18 (26.8%) | 2.22 (27.4%) |
| ホワイトカラー | 2.17 (45.8%) | 2.09 (52.2%) |

注) () 内夫婦割合。

5) 結婚直後親との同居・近居・別居

| 結婚直後親との同居・近居・別居 | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|-----------------|------------------|------------------|
| 同居 | 2.35人 (38.3%) | 2.32人 (29.3%) |
| 近居 | 2.09 (58.8%) | 2.18 (19.3%) |
| 別居 | | 2.08 (43.1%) |

注) () 内夫婦割合。

表21-2. 妊娠間隔ごとの妻の就業状態別平均出生児数
(結婚持続期間15~19年)

| 妻の就業状態 | 結婚から第1回の妊娠まで | 第1回の妊娠から第2回の妊娠まで |
|--------|--------------|------------------|
| 常雇 | 2.18 (439) | 2.15 (226) |
| パート | 2.09 (214) | 2.03 (181) |
| 家族従業 | 2.29 (289) | 2.33 (327) |
| 無職 | 2.14 (628) | 2.24 (739) |
| 総数 | 2.17 (1,804) | 2.23 (1,728) |

注1) ただし第1回の妊娠から第2回の妊娠までの段階については、一度も妊娠したことのない妻は除く。

注2) () 内は標本規模。

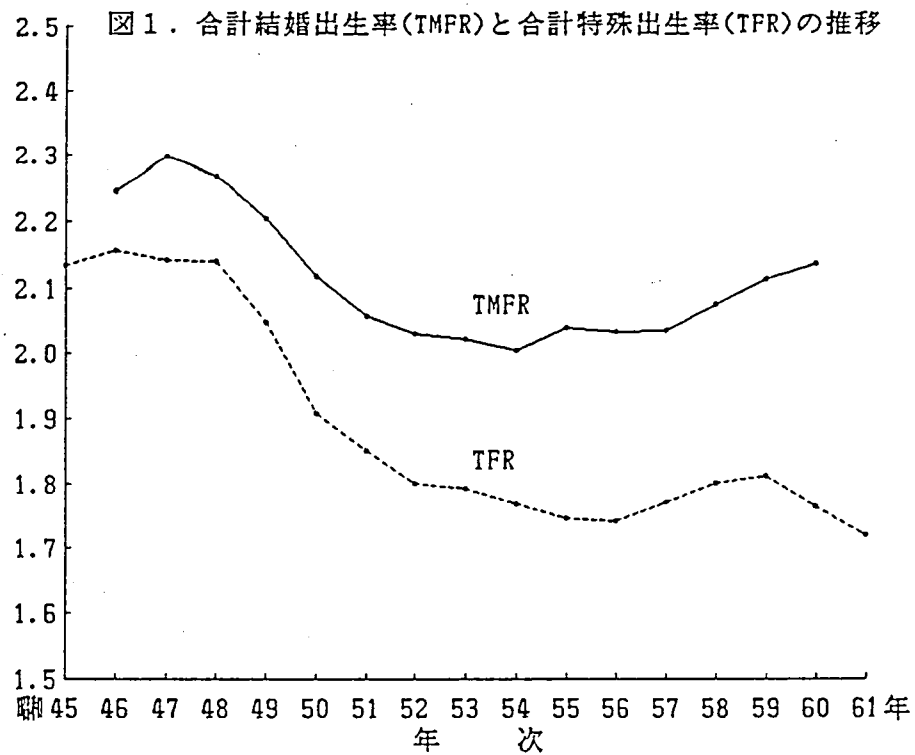
表21-3. 結婚・出産と妻の就業——予想される人生と理想とする人生
(結婚持続期間15～19年)

(%)

| 人生コースのタイプ | 理想とする人生 | 予想される人生 | 予想の人生タイプ別の出生児数 |
|----------------------|---------------|---------------|----------------|
| 1 結婚し、子供はもたず、一生仕事を継続 | 2.1 | 1.0 | 0.11 人 |
| 2 結婚・出産し、一生仕事を継続 | 14.6 | 21.0 | 2.28 |
| 3 出産退職し、子育て後に再就職 | 17.7 | 19.6 | 2.18 |
| 4 結婚退職し、子育て後に再就職 | 22.6 | 21.7 | 2.28 |
| 5 出産退職し、その後仕事をもたない | 8.3 | 7.8 | 2.19 |
| 6 結婚退職し、その後は仕事をもたない | 19.0 | 16.0 | 2.15 |
| 7 その他 | 4.0 | 2.3 | 2.05 |
| 8 不詳 | 11.7 | 10.6 | 1.99 |
| 総数 | 100.0 (1,804) | 100.0 (1,804) | 2.17 |

注) () 内は標本規模。

2. 合計結婚出生率



3. 予定子供数

表22. 妻の年齢別平均予定子供数の推移

| 妻の年齢 | 第7次調査 (昭和52年) | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|--------|------------------|------------------|------------------|
| 20～24歳 | 2.19 | 2.25 | 2.26 |
| 25～29歳 | 2.15 | 2.29 | 2.35 |
| 30～34歳 | 2.21 | 2.23 | 2.28 |

表23. 第9次調査における20～34歳の予定子供数別夫婦割合ならびに平均予定子供数

(%)

| 妻の年齢 | 予 定 子 供 数 | | | | | | | 平均予定 子供数 |
|--------|------------------|-----|-----|------|------|-----|------|-------------|
| | 総 数 | 0 人 | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5人以上 | |
| 20～24歳 | 100.0 (305) | — | 7.6 | 60.5 | 30.2 | 1.4 | 0.3 | 2.26 人 |
| 25～29歳 | 100.0 (1,202) | 1.1 | 4.3 | 56.0 | 35.8 | 2.4 | 0.3 | 2.35 |
| 30～34歳 | 100.0 (1,732) | 0.8 | 6.5 | 59.6 | 30.6 | 2.4 | 0.1 | 2.28 |

注) ()内は標本規模。総数には不詳を含む。

表24. 妻の年齢別、生存子供数別平均追加予定子供数

| 妻の年齢 | 生 存 子 供 数 | | | | | | |
|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 総 数 | 0 人 | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5人以上 |
| ～19歳 | * (18) | * | * | — | — | — | — |
| 20～24歳 | 1.53 (305) | 2.27人 | 1.17人 | 0.47人 | * | * | — |
| 25～29歳 | 1.07 (1,202) | 2.16 | 1.26 | 0.40 | 0.09人 | * | — |
| 30～34歳 | 0.35 (1,732) | 1.68 | 0.82 | 0.19 | 0.03 | 0.00人 | * |
| 35～39歳 | 0.08 (2,246) | 0.71 | 0.25 | 0.03 | 0.02 | 0.02 | * |
| 40～44歳 | 0.01 (1,676) | 0.13 | 0.03 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | * |
| 45～49歳 | 0.01 (1,523) | 0.03 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | * |

注 1) *印は該当標本数が20未満のもの。

注 2) ()内は標本規模。

4. 理想子供数

表25. 妻の年齢別平均理想子供数の推移

| 妻の年齢 | 第6次調査 (昭和47年) | 第7次調査 (昭和52年) | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 20～24歳 | 2.71 | 2.48 | 2.45 | 2.39 |
| 25～29歳 | 2.81 | 2.49 | 2.57 | 2.57 |
| 30～34歳 | | 2.57 | 2.64 | 2.67 |
| 35～39歳 | 2.86 | 2.64 | 2.68 | 2.70 |
| 40～44歳 | | 2.69 | 2.63 | 2.71 |
| 45～49歳 | | 2.78 | 2.61 | 2.68 |
| 総数 | 2.82 | 2.61 | 2.62 | 2.66 |

表26. 妻の年齢別、理想子供数別夫婦割合および年齢別平均理想子供数

(%)

| 妻の年齢 | 理想子供数 | | | | | | | 平均理想子供数 |
|--------|------------------|-----|-----|------|------|------|------|---------|
| | 総数 | 0人 | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人以上 | |
| ～19歳 | 100.0 (17) | — | 5.9 | 52.9 | 23.5 | 17.6 | — | 2.53人 |
| 20～24歳 | 100.0 (304) | 0.3 | 4.3 | 54.3 | 38.5 | 2.6 | — | 2.39 |
| 25～29歳 | 100.0 (1,194) | 1.2 | 1.8 | 44.0 | 45.7 | 6.7 | 0.6 | 2.57 |
| 30～34歳 | 100.0 (1,716) | 1.2 | 2.3 | 36.2 | 49.5 | 10.4 | 0.5 | 2.67 |
| 35～39歳 | 100.0 (2,195) | 1.3 | 2.0 | 35.1 | 49.6 | 11.2 | 0.9 | 2.70 |
| 40～44歳 | 100.0 (1,608) | 1.6 | 1.5 | 35.9 | 47.0 | 13.2 | 0.9 | 2.71 |
| 45～49歳 | 100.0 (1,452) | 1.9 | 2.3 | 36.2 | 46.1 | 12.7 | 1.0 | 2.68 |
| 総数 | 100.0 (8,486) | 1.4 | 2.1 | 37.6 | 47.5 | 10.7 | 0.8 | 2.66 |

注) () 内は標本規模。

表27. 理想子供数別、予定子供数別夫婦割合

(%)

| 理想子供数 | 予定子供数 | | | | | | | 平均予定子供数 |
|-------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | 総数 | 0人 | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人以上 | |
| 0人 | 100.0 (34) | <u>57.1</u> | 8.6 | 28.6 | 2.9 | — | — | 0.76人 |
| 1人 | 100.0 (74) | 4.0 | <u>84.0</u> | 10.7 | — | — | — | 1.07 |
| 2人 | 100.0 (1,290) | 0.2 | 6.2 | <u>88.1</u> | 2.9 | 0.3 | 0.1 | 1.97 |
| 3人 | 100.0 (1,483) | 0.1 | 2.1 | 37.9 | <u>56.9</u> | 0.7 | 0.1 | 2.58 |
| 4人 | 100.0 (264) | — | 1.5 | 30.1 | 44.6 | <u>21.9</u> | — | 2.89 |
| 5人以上 | 100.0 (13) | — | 6.3 | 18.8 | 31.3 | 6.3 | <u>18.8</u> | 3.15 |

注 1) 下線を引いた数字は、理想子供数と予定子供数が一致する夫婦の割合。

注 2) () 内は標本規模。

表28. 理想子供数別、理想男女児組合せ別夫婦割合

(%)

| 理想子供数 | 理想男女組合せ | 第8次調査 (昭和57年) | 第9次調査 (昭和62年) |
|-------|---------|------------------|------------------|
| 1人 | 男1人、女0人 | 51.5 (17) | 37.1 (20) |
| | 男0人、女1人 | 48.5 (16) | 62.9 (34) |
| 2人 | 男2人、女0人 | 8.8 (121) | 4.1 (72) |
| | 男1人、女1人 | 82.4 (1,134) | 85.5 (1,515) |
| | 男0人、女2人 | 8.9 (122) | 10.4 (183) |
| 3人 | 男3人、女0人 | 0.7 (11) | 0.5 (14) |
| | 男2人、女1人 | 62.4 (1,025) | 52.3 (1,372) |
| | 男1人、女2人 | 36.2 (594) | 46.2 (1,211) |
| | 男0人、女3人 | 0.7 (12) | 1.0 (27) |

注) () 内は標本規模。

5. 避妊

表29. 妻の年齢別避妊の実行状況

(%)

| 妻の年齢 | 避妊の実行状況 | | | | | 参考(現在実行率) | |
|--------|------------------|-------------------|-------|------|-----|-------------------|-------------------|
| | 総数 | 現在実行中 | 現在不実行 | | 不詳 | WFS (昭和49年) | 第7次調査 (昭和52年) |
| | | | 経験あり | 経験なし | | | |
| ～19歳 | 100.0 (18) | 38.9 [*] | 33.3 | 22.2 | 5.6 | 50.0 [*] | 43.8 [*] |
| 20～24歳 | 100.0 (305) | 51.1 | 26.2 | 18.7 | 3.9 | 51.0 | 50.0 |
| 25～29歳 | 100.0 (1,202) | 60.3 | 25.0 | 10.6 | 4.1 | 60.5 | 60.2 |
| 30～34歳 | 100.0 (1,732) | 71.6 | 14.1 | 10.8 | 3.5 | 68.2 | 72.0 |
| 35～39歳 | 100.0 (2,246) | 74.1 | 11.1 | 9.6 | 5.2 | 71.5 | 69.4 |
| 40～44歳 | 100.0 (1,676) | 68.1 | 15.4 | 10.4 | 6.0 | 59.9 | 53.1 |
| 45～49歳 | 100.0 (1,523) | 45.2 | 32.2 | 13.2 | 9.3 | 34.0 | 22.9 |
| 総数 | 100.0 (8,702) | 64.6 | 18.7 | 11.1 | 5.6 | 58.9 | 57.3 |

注 1) WFS (世界出産力調査) は既婚女子、第7次、第9次は有配偶女子が対象。

注 2) *印は該当標本数が20未満のもの。

表30. 妻の年齢別、追加出生予定別避妊実行率

(%)

| 妻の年齢 | 総数 | 予定あり | 予定なし |
|--------|------|------|------|
| ～19歳 | * | * | * |
| 20～24歳 | 51.1 | 48.6 | 83.3 |
| 25～29歳 | 60.3 | 51.4 | 86.7 |
| 30～34歳 | 71.6 | 41.6 | 87.3 |
| 35～39歳 | 74.1 | 21.2 | 83.3 |
| 40～44歳 | 68.1 | 6.7 | 74.7 |
| 45～49歳 | 45.2 | 0.0 | 51.0 |
| 総数 | 64.6 | 45.1 | 75.8 |

注) *印は該当標本数が20未満のもの。

表31. 夫妻の社会経済的属性別避妊実行率

(%)

| (1) 妻の学歴 | | (2) 夫の学歴 | | (3) 夫の職業 | | (4) 妻の就業 | |
|----------|------|----------|------|--------------|------|----------|------|
| 中学校 | 62.5 | 中学校 | 64.4 | 農業 | 70.2 | 常雇 | 69.2 |
| 高校 | 73.4 | 高校 | 73.8 | 非農自営 | 71.1 | パート | 70.7 |
| 専修学校 | 79.7 | 専修学校 | 71.9 | カーカー | 71.9 | 家族従業 | 71.1 |
| 短大・高専 | 80.2 | 短大・高専 | 78.0 | 初任カー | 74.7 | 無職 | 76.0 |
| 大学以上 | 80.2 | 大学以上 | 77.2 | 臨時、日雇、 無職 | 58.0 | | |

注) これ以上子供を生むつもりのない夫婦総数についての集計。

6. 避妊方法

表32. 妻の年齢別、現在実行中の避妊方法別割合

(%)

| 妻の年齢 | 総数 | ①夫の不妊手術 | ②妻の不妊手術 | ①～② 小計 | ③ IUD リング | ④経口避妊薬 (ピル) | ①～④ 小計 | ⑤ コンドーム | ⑥ オギノ式 | ⑦性交中絶法 | ⑧ タバコ ポッサ ンリ他 | ⑨ その他 |
|--------|----------|---------|---------|-----------|-----------------|----------------|-----------|------------|-----------|--------|------------------------|----------|
| ～19歳 | (7人) | — | — | — | — | — | — | 100.0 | — | 14.3 | 14.3 | — |
| 20～24歳 | (156人) | — | 0.6 | 0.6 | 1.3 | 1.3 | 3.2 | 79.5 | 14.7 | 29.5 | 1.3 | 1.3 |
| 25～29歳 | (725人) | — | 1.2 | 1.2 | 1.9 | 1.1 | 4.2 | 81.7 | 15.6 | 21.9 | 0.1 | 1.0 |
| 30～34歳 | (1,240人) | 0.8 | 4.1 | 4.9 | 4.6 | 1.6 | 11.1 | 77.3 | 15.2 | 17.7 | 0.2 | 0.3 |
| 35～39歳 | (1,664人) | 1.3 | 5.6 | 6.9 | 5.5 | 1.7 | 14.1 | 74.0 | 14.2 | 14.6 | 0.3 | 0.8 |
| 40～44歳 | (1,142人) | 2.4 | 6.4 | 8.8 | 5.1 | 1.1 | 15.0 | 73.6 | 13.0 | 11.7 | 0.4 | 1.2 |
| 45～49歳 | (689人) | 4.5 | 11.6 | 16.1 | 5.7 | 1.0 | 22.8 | 64.9 | 12.0 | 11.0 | 0.9 | 2.0 |
| 総数 | (5,623人) | 1.6 | 5.5 | 7.1 | 4.6 | 1.4 | 13.1 | 74.7 | 14.1 | 15.6 | 0.4 | 1.0 |

注) 避妊方法についての質問は複数回答ゆえ、合計は 100%を超えることもある。

表33-1. 妊娠順位別妊娠結果

(%)

| 妊娠順位 | 延妊娠数 | 妊 娠 結 果 | | | |
|------|--------------------|---------|------|------|------|
| | | 出生 | 死・流産 | | |
| | | | 小計 | 自然 | 人工 |
| 第1妊娠 | 100.0 (7,535) | 88.9 | 11.1 | 8.1 | 3.0 |
| 第2妊娠 | 100.0 (6,217) | 85.4 | 14.6 | 8.1 | 6.5 |
| 第3妊娠 | 100.0 (3,186) | 71.4 | 28.6 | 10.3 | 18.3 |
| 第4妊娠 | 100.0 (1,322) | 51.8 | 48.2 | 11.5 | 36.7 |
| 第5妊娠 | 100.0 (550) | 45.3 | 54.7 | 9.1 | 45.6 |
| 総数 | 100.0 (18,719) | 80.9 | 19.1 | 8.7 | 10.4 |

注 1) 総数は妊娠 5回目までの合計。

注 2) 延妊娠数は、たとえば第 1妊娠については 1回以上の妊娠を経験した妻のすべての第 1妊娠を含む。

表33-2. 結婚コーホート別、妊娠順位別中絶割合

(%)

| 妊娠順位 | 結 婚 期 間 | | |
|------|---------|--------|--------|
| | 30~39年 | 40~49年 | 50~59年 |
| 第1妊娠 | 4.8 | 2.9 | 2.9 |
| 第2妊娠 | 10.2 | 6.8 | 4.8 |
| 第3妊娠 | 22.9 | 19.4 | 14.3 |
| 第4妊娠 | 39.4 | 38.0 | 31.8 |
| 第5妊娠 | 48.9 | 45.5 | 41.7 |
| 総数 | 15.9 | 11.8 | 6.9 |

表34. 妻の年齢別人工妊娠中絶経験

(%)

| 妻の年齢 | 総数 | 経験なし | 経験あり | | | | | | 不詳 | 経験者平均(回) |
|--------|--------------------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| | | | 小計 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5～ | | |
| ～19歳 | 100.0 (18) | 88.9 | 5.6 | — | — | 5.6 | — | — | 5.6 | 3.00 |
| 20～24歳 | 100.0 (305) | 90.2 | 8.2 | 5.6 | 2.6 | — | — | — | 1.6 | 1.32 |
| 25～29歳 | 100.0 (1,202) | 90.9 | 7.5 | 6.5 | 0.7 | 0.2 | — | — | 1.6 | 1.17 |
| 30～34歳 | 100.0 (1,732) | 85.5 | 13.3 | 8.8 | 3.4 | 1.0 | 0.1 | 0.1 | 1.2 | 1.23 |
| 35～39歳 | 100.0 (2,246) | 76.7 | 22.0 | 14.1 | 6.2 | 1.6 | — | — | 1.3 | 1.45 |
| 40～44歳 | 100.0 (1,676) | 70.0 | 27.3 | 15.8 | 8.9 | 2.0 | 0.2 | 0.2 | 2.7 | 1.55 |
| 45～49歳 | 100.0 (1,523) | 64.0 | 32.8 | 18.6 | 9.5 | 3.4 | 0.4 | 0.4 | 3.3 | 1.62 |
| 総数 | 100.0 (8,702) | 77.4 | 22.6 | 12.8 | 5.8 | 1.6 | 0.3 | 0.1 | 1.9 | 1.51 |

表35. 夫婦の社会経済的属性別、中絶経験割合ならびに平均中絶回数

| (1) 妻の学歴 | | (2) 夫の学歴 | | (3) 夫の職業 | | (4) 妻の就業 | |
|------------|---------|------------|---------|---------------|---------|-----------|---------|
| 経験割合 | 経験者平均回数 | 経験割合 | 経験者平均回数 | 経験割合 | 経験者平均回数 | 経験割合 | 経験者平均回数 |
| 中学校 27.4 | 1.63 | 中学校 27.8 | 1.62 | 農業 26.9 | 1.62 | 常雇 25.2 | 1.50 |
| 高校 21.3 | 1.47 | 高校 20.7 | 1.48 | 非農自営 27.2 | 1.66 | パート 25.5 | 1.53 |
| 専修 17.5 | 1.44 | 専修 18.9 | 1.45 | カーカー 21.8 | 1.47 | 家族従業 25.4 | 1.60 |
| 短大・高専 12.5 | 1.46 | 短大・高専 17.4 | 1.40 | 和什カー 17.7 | 1.42 | 無職 14.8 | 1.41 |
| 大学以上 12.0 | 1.37 | 大学以上 15.8 | 1.40 | 臨時、日雇、無職 21.8 | 1.71 | | |

注) 総数についての集計。

8. 妊娠歴からみた避妊と中絶

表36. 結婚コホート別、妊娠段階別避妊実行率
(これ以上子供を生むつもりがなかった夫婦について)
(%)

| 妊娠段階 | 総数 | 昭和30年代 | 昭和40年代 | 昭和50年代 |
|------------------|------|--------|--------|--------|
| 結婚から第1回の妊娠まで | 32.2 | 21.2 | 29.2 | 39.0 |
| 第1回の妊娠から第2回の妊娠まで | 47.6 | 31.9 | 42.1 | 56.4 |
| 第2回の妊娠から第3回の妊娠まで | 78.1 | 53.9 | 76.8 | 87.0 |
| 第3回の妊娠から第4回の妊娠まで | 80.1 | 61.9 | 80.9 | 88.0 |
| 第4回の妊娠から第5回の妊娠まで | 78.2 | 59.4 | 80.1 | 90.6 |
| 総数 | 74.0 | 54.3 | 74.1 | 82.5 |

表37. 結婚コホート別、妊娠段階別避妊失敗率
 (これ以上子供を生むつもりがなかった夫婦について)

(%)

| 妊娠段階 | 総数 | 昭和30年代 | 昭和40年代 | 昭和50年代 |
|----------------------|------|--------|--------|--------|
| 結婚から 第1回の妊娠まで | 50.0 | * | 44.4 | 52.1 |
| 第1回の妊娠から 第2回の妊娠まで | 25.5 | 50.0 | 27.0 | 21.4 |
| 第2回の妊娠から 第3回の妊娠まで | 19.6 | 42.8 | 21.6 | 13.5 |
| 第3回の妊娠から 第4回の妊娠まで | 21.8 | 37.9 | 23.7 | 13.9 |
| 第4回の妊娠から 第5回の妊娠まで | 27.0 | 37.4 | 27.7 | 20.3 |
| 総数 | 22.5 | 40.4 | 24.1 | 15.8 |

注) *印は該当標本数が20未満のもの。

昭和62年人口動態統計（概数）の概況

目 次

| | | 頁 |
|-------|---|----|
| 調査の概要 | | 1 |
| 結果の概要 | | 2 |
| 第 1 表 | 人口動態総覧 ， 対前年比較 | 2 |
| 第 2 表 | 人口動態率の年次推移 | 3 |
| 第 3 表 | 人口動態率の国際比較 | 3 |
| 第 4 表 | 出生数・出生率（女子人口千対）の年次推移，母の年齢（5歳階級）別 | 4 |
| 第 5 表 | 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位，性別 | 5 |
| 第 6 表 | 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別 | 6 |
| 第 7 表 | 死亡数・死亡率（人口10万対）死因（简单分類）別，対前年比較 | 7 |
| 第 8 表 | 人口動態総覧 ， 都道府県（11大都市再掲）別 | 9 |
| 第 9 表 | 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対）， 都道府県（11大都市再掲）別 | 11 |
| 付 表 | 分母に用いた人口 | 12 |

調査の概要

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の「人口動態事象」について、その実態を明らかにするために、各届書によって作成された人口動態調査票をとりまとめたものである。

届書は、出生・死亡・婚姻及び離婚については「戸籍法」により、死産については「死産の届出に関する規程」により、市区町村に届け出られるものである。

調査票は、市区町村で作成され、保健所・都道府県を經由して厚生省に提出される。厚生省では、これらの調査票を集計して人口動態統計を作成している。

印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

| | | |
|--|---|---|
| <p>人口動態統計速報</p> <p>数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人 日本における外国人 外国における日本人 (前年以前発生のものを含む)</p> <p>公表：毎月 (調査月の約2か月後)</p> | <p>人口動態統計月報</p> <p>数値：概数 (速報に修正を加えたもの)</p> <p>集計客体：日本における日本人</p> <p>公表：月報 (調査月の約5か月後) ：年計 (調査年の翌年6月)</p> | <p>人口動態統計</p> <p>数値：確定数 (概数に修正を加えたもの)</p> <p>集計客体：日本における日本人 付録 { 前年以前発生 of 出生・死亡 日本における外国人 外国における日本人</p> <p>公表：年報 (調査年の翌年9月)</p> |
|--|---|---|

用語の説明

自然増加：出生数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

結果の概要

第 1 表 人口動態概況， 対前年比較

| | 実 数 | | | 率 2) | | 平均発生間隔 | |
|-------------|--------------|-----------------|--------------|-------|-------|----------|----------|
| | (A) 昭和62年 | (B) 1) 昭和61年 | 差 (A)-(B) | 昭和62年 | 昭和61年 | 昭和62年 | 昭和61年 |
| 出生数 | 1 346 666 | 1 382 946 | -36 280 | 11.1 | 11.4 | 分 秒 | 分 秒 |
| 死亡数 | 751 181 | 750 620 | 561 | 6.2 | 6.2 | 23" | 23" |
| 自然増加数 | 595 485 | 632 326 | -36 841 | 4.9 | 5.2 | 42" | 42" |
| 乳児死亡率 | 6 709 | 7 251 | - 542 | 5.0 | 5.2 | ... | ... |
| 新生児死亡率 | 3 930 | 4 296 | - 366 | 2.9 | 3.1 | 78' 21" | 72' 29" |
| 死産数 | 63 831 | 65 678 | -1 847 | 45.3 | 45.3 | 133' 44" | 122' 21" |
| 自然死産 | 29 918 | 31 050 | -1 132 | 21.2 | 21.4 | 8' 14" | 8' 00" |
| 人工死産 | 33 913 | 34 628 | - 715 | 24.0 | 23.9 | 17' 34" | 16' 56" |
| 周産期死亡 | 9 329 | 10 148 | - 819 | 6.9 | 7.3 | 15' 30" | 15' 11" |
| 妊娠満28週以後の死産 | 6 267 | 6 902 | - 635 | 4.7 | 5.0 | 56' 20" | 51' 48" |
| 早期新生児死亡 | 3 062 | 3 246 | - 184 | 2.3 | 2.3 | 83' 52" | 76' 09" |
| 婚姻数 | 696 239 | 710 962 | -14 723 | 5.7 | 5.9 | 171' 39" | 161' 55" |
| 離婚数 | 158 243 | 166 054 | -7 811 | 1.30 | 1.37 | 45" | 44" |
| | | | | | | 3' 19" | 3' 10" |

注：1) 昭和61年は確定数である。

2) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・周産期死亡率は出生千対、死産率は出産（出生+死産）千対である。

1 出生数は減少

出生数は134万7000人で、61年より3万6000人減少し、出生率は人口千対11.1で、61年の11.4を下回った。出生数、出生率ともに49年以降低下を続けている。

2 死亡数は前年とほぼ同じ

死亡数は75万1000人で、61年より600人増加し、死亡率は人口千対6.2で、61年の6.2と同率である。

死因順位をみると、第1位 悪性新生物（19万9000人、人口10万対164.1）、第2位 心疾患（14万4000人、同118.3）、第3位 脳血管疾患（12万4000人、同101.7）である。

また、乳児死亡数は6700人で、61年より500人減少し、乳児死亡率は出生千対5.0で、61年の5.2を下回った。

3 自然増加数は前年を下回る

自然増加数は59万5000人で、61年より3万7000人減少し、自然増加率は人口千対4.9で、61年の5.2を下回った。

4 死産数は前年を下回る

死産数は6万4000胎で、61年より1800胎減少し、死産率は出産（出生+死産）千対45.3で、61年の45.3と同率である。

5 婚姻件数、離婚件数は共に減少

婚姻件数は69万6000組で、61年より1万5000組減少し、婚姻率は人口千対5.7で、61年の5.9を下回った。

離婚件数は15万8000組、離婚率は人口千対1.30で、61年の1.37を下回った。

離婚率は39年以降上昇し続け、58年には1.51まで至ったが、59年以降は低下を続けている。

第2表 人口動態率の年次推移

| 1) 年次 | 出生 (人口千対) | 死亡 (人口千対) | 自然増加 | 乳児死亡 (出生千対) | 新生児 死亡 (出生千対) | 死産(出産千対) | | | 周産期 死亡 | 婚姻 (人口千対) | 離婚 (人口千対) | 合計特殊 出生率2) |
|-------|--------------|--------------|------|----------------|---------------------|----------|------|------|-----------|--------------|--------------|---------------|
| | | | | | | 総数 | 自然 | 人工 | | | | |
| 昭和22年 | 34.3 | 14.6 | 19.7 | 76.7 | 31.4 | 44.2 | ... | ... | ... | 12.0 | 1.02 | 4.54 |
| 23 | 33.5 | 11.9 | 21.6 | 61.7 | 27.5 | 50.9 | 36.9 | 10.9 | ... | 11.9 | 0.99 | 4.40 |
| 24 | 33.0 | 11.6 | 21.4 | 62.5 | 26.9 | 66.7 | 39.1 | 25.9 | ... | 10.3 | 1.01 | 4.32 |
| 25 | 28.1 | 10.9 | 17.2 | 60.1 | 27.4 | 84.9 | 41.7 | 43.2 | 46.6 | 8.6 | 1.01 | 3.65 |
| 26 | 25.3 | 9.9 | 15.4 | 57.5 | 27.5 | 92.2 | 43.0 | 49.3 | 46.7 | 7.9 | 0.97 | 3.26 |
| 27 | 23.4 | 8.9 | 14.4 | 49.4 | 25.4 | 92.3 | 42.8 | 49.5 | 45.6 | 7.9 | 0.92 | 2.98 |
| 28 | 21.5 | 8.9 | 12.6 | 48.9 | 25.5 | 93.8 | 43.5 | 50.2 | 46.0 | 7.8 | 0.86 | 2.69 |
| 29 | 20.0 | 8.2 | 11.9 | 44.6 | 24.1 | 95.6 | 44.6 | 51.1 | 45.1 | 7.9 | 0.87 | 2.48 |
| 30 | 19.4 | 7.8 | 11.6 | 39.8 | 22.3 | 95.8 | 44.5 | 51.3 | 43.9 | 8.0 | 0.84 | 2.37 |
| 31 | 18.4 | 8.0 | 10.4 | 40.6 | 23.0 | 97.1 | 46.9 | 50.1 | 45.5 | 7.9 | 0.80 | 2.22 |
| 32 | 17.2 | 8.3 | 8.9 | 40.0 | 21.6 | 101.2 | 49.9 | 51.3 | 45.0 | 8.5 | 0.79 | 2.04 |
| 33 | 18.0 | 7.4 | 10.5 | 34.5 | 19.5 | 100.7 | 50.2 | 50.5 | 43.9 | 9.0 | 0.80 | 2.11 |
| 34 | 17.5 | 7.4 | 10.1 | 33.7 | 18.6 | 100.6 | 51.3 | 49.3 | 43.0 | 9.1 | 0.78 | 2.04 |
| 35 | 17.2 | 7.6 | 9.6 | 30.7 | 17.0 | 100.4 | 52.3 | 48.1 | 41.4 | 9.3 | 0.74 | 2.00 |
| 36 | 16.9 | 7.4 | 9.5 | 28.6 | 16.5 | 101.7 | 54.3 | 47.4 | 40.9 | 9.4 | 0.74 | 1.96 |
| 37 | 17.0 | 7.5 | 9.5 | 26.4 | 15.3 | 98.8 | 54.2 | 44.6 | 38.7 | 9.8 | 0.75 | 1.98 |
| 38 | 17.3 | 7.0 | 10.3 | 23.2 | 13.8 | 95.6 | 53.3 | 42.4 | 36.2 | 9.7 | 0.73 | 2.00 |
| 39 | 17.7 | 6.9 | 10.7 | 20.4 | 12.4 | 89.2 | 51.7 | 37.5 | 33.1 | 9.9 | 0.74 | 2.05 |
| 40 | 18.6 | 7.1 | 11.4 | 18.5 | 11.7 | 81.4 | 47.6 | 33.8 | 30.1 | 9.7 | 0.79 | 2.14 |
| 41 | 13.7 | 6.8 | 7.0 | 19.3 | 12.0 | 98.2 | 55.2 | 43.1 | 31.3 | 9.5 | 0.80 | 1.58 |
| 42 | 19.4 | 6.8 | 12.7 | 14.9 | 9.9 | 71.6 | 43.6 | 28.0 | 26.3 | 9.6 | 0.84 | 2.23 |
| 43 | 18.6 | 6.8 | 11.8 | 15.3 | 9.8 | 71.1 | 43.4 | 27.7 | 24.5 | 9.5 | 0.87 | 2.13 |
| 44 | 18.5 | 6.8 | 11.7 | 14.2 | 9.1 | 68.6 | 42.3 | 26.3 | 23.0 | 9.6 | 0.89 | 2.13 |
| 45 | 18.8 | 6.9 | 11.8 | 13.1 | 8.7 | 65.3 | 40.6 | 24.7 | 21.7 | 10.0 | 0.93 | 2.13 |
| 46 | 19.2 | 6.6 | 12.6 | 12.4 | 8.2 | 61.4 | 39.3 | 22.1 | 20.4 | 10.5 | 0.99 | 2.16 |
| 47 | 19.3 | 6.5 | 12.8 | 11.7 | 7.8 | 57.8 | 37.8 | 20.1 | 19.0 | 10.4 | 1.02 | 2.14 |
| 48 | 19.4 | 6.6 | 12.8 | 11.3 | 7.4 | 52.6 | 35.6 | 17.0 | 18.0 | 9.9 | 1.04 | 2.14 |
| 49 | 18.6 | 6.5 | 12.1 | 10.8 | 7.1 | 51.3 | 34.9 | 16.4 | 16.9 | 9.1 | 1.04 | 2.05 |
| 50 | 17.1 | 6.3 | 10.8 | 10.0 | 6.8 | 50.8 | 33.8 | 17.1 | 16.0 | 8.5 | 1.07 | 1.91 |
| 51 | 16.3 | 6.3 | 10.0 | 9.3 | 6.4 | 52.7 | 33.1 | 19.6 | 14.8 | 7.8 | 1.11 | 1.85 |
| 52 | 15.5 | 6.1 | 9.4 | 8.9 | 6.1 | 51.5 | 32.6 | 18.9 | 14.1 | 7.2 | 1.14 | 1.80 |
| 53 | 14.9 | 6.1 | 8.8 | 8.4 | 5.6 | 48.7 | 31.1 | 17.6 | 13.0 | 6.9 | 1.15 | 1.79 |
| 54 | 14.2 | 6.0 | 8.3 | 7.9 | 5.2 | 47.7 | 29.6 | 18.1 | 12.5 | 6.8 | 1.17 | 1.77 |
| 55 | 13.6 | 6.2 | 7.3 | 7.5 | 4.9 | 46.8 | 28.8 | 18.0 | 11.7 | 6.7 | 1.22 | 1.75 |
| 56 | 13.0 | 6.1 | 6.9 | 7.1 | 4.7 | 49.2 | 28.8 | 20.5 | 10.8 | 6.6 | 1.32 | 1.74 |
| 57 | 12.8 | 6.0 | 6.8 | 6.6 | 4.2 | 49.0 | 27.7 | 21.3 | 10.1 | 6.6 | 1.39 | 1.77 |
| 58 | 12.7 | 6.2 | 6.5 | 6.2 | 3.9 | 45.5 | 25.4 | 20.1 | 9.3 | 6.4 | 1.51 | 1.80 |
| 59 | 12.5 | 6.2 | 6.3 | 6.0 | 3.7 | 46.3 | 24.3 | 22.0 | 8.7 | 6.2 | 1.50 | 1.81 |
| 60 | 11.9 | 6.3 | 5.6 | 5.5 | 3.4 | 46.0 | 22.1 | 23.9 | 8.0 | 6.1 | 1.39 | 1.76 |
| 61 | 11.4 | 6.2 | 5.2 | 5.2 | 3.1 | 45.3 | 21.4 | 23.9 | 7.3 | 5.9 | 1.37 | 1.72 |
| 62 | 11.1 | 6.2 | 4.9 | 5.0 | 2.9 | 45.3 | 21.2 | 24.0 | 6.9 | 5.7 | 1.30 | 1.69 |

注：1) 昭和48年以降は沖縄県を含む。昭和61年までは確定値である。
 2) 1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生む平均子ども数を表す。
 資料：「人口問題研究」(人口問題研究所)による。ただし、昭和62年については人口動態統計課で試算した。

第3表 人口動態率の国際比較

| 国名 | 年次 | 出生率 | | 死亡率 | | 乳児死亡率 | | 新生児死亡率 | | 周産期死亡率 | | 婚姻率 | | 離婚率 | |
|--------------|-------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|-----|--------|--|--------|--|
| | | (人口千対) | | (出生千対) | | (出生千対) | | (出生千対) | | (出生千対) | | (人口千対) | | (人口千対) | |
| 日本 | 1987* | 11.1 | 6.2 | 5.0 | 2.9 | 5.0 | 2.9 | 6.9 | 5.7 | 1.3 | | | | | |
| アメリカ合衆国 | 1986* | 15.5 | 8.7 | 10.4 | '82) | 7.7 | '81) | 15.7 | 10.0 | 4.8 | | | | | |
| フランス | 1986* | 14.1 | 9.9 | 7.9 | '84) | 4.7 | '84) | 11.3 | 4.8 | '85) | 1.9 | | | | |
| ドイツ連邦共和国 | 1986* | 10.2 | 11.5 | 8.5 | '84) | 5.1 | '84) | 8.7 | 6.1 | '85) | 2.1 | | | | |
| オランダ | 1986* | 12.7 | 8.6 | 8.1 | '84) | 5.1 | '84) | 10.1 | 6.0 | | | | | | |
| スウェーデン | 1986* | 12.2 | 11.1 | 5.9 | '84) | 4.1 | '84) | 7.4 | 4.7 | | | | | | |
| イングランド・ウェールズ | 1985 | 13.3 | 11.6 | 9.4 | '84) | 5.6 | '84) | 10.1 | 6.9 | | | | | | |

注：*印は概数を、また、)内は調査年次を示す。新生児死亡率、周産期死亡率は、人口動態統計課で算出した値である。
 資料：日本 厚生省「昭和62年人口動態統計」
 各国 出生・死亡・乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡率については、World Health Statistics Annual 1987
 婚姻・離婚率については、UN, Demographic Yearbook 1986

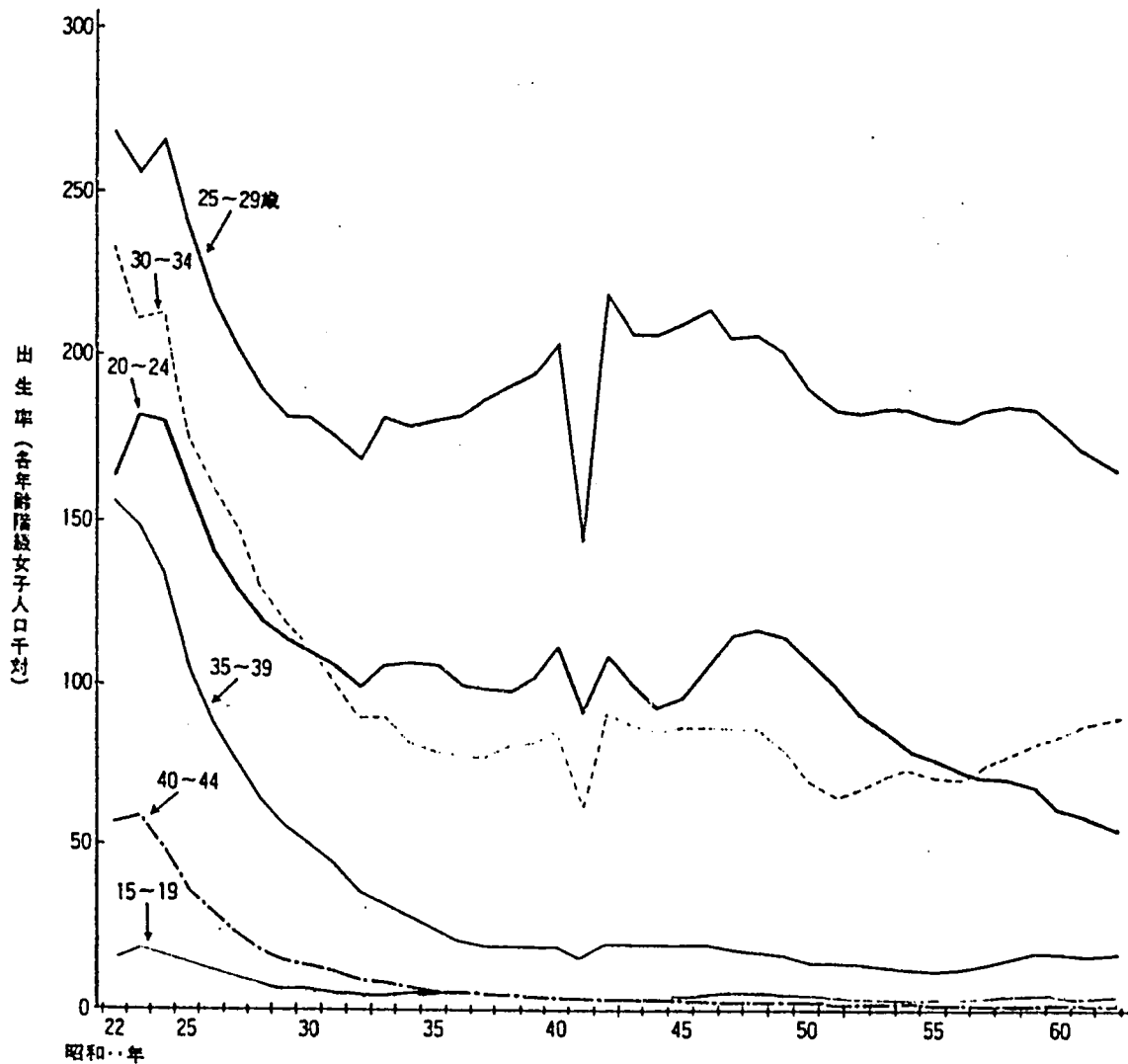
第4表 出生数・出生率(女子人口千対)の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別

| | 昭和53年 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
|------------------|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 出生数 ¹⁾ | | | | | | | | | |
| 総数 | 1708 643 | 1642 580 | 1576 889 | 1529 455 | 1515 392 | 1508 687 | 1489 780 | 1431 577 | 1382 946 | 1346 666 |
| 15~19 | 13 562 | 13 657 | 14 576 | 15 439 | 16 694 | 18 242 | 19 180 | 17 854 | 17 687 | 17 530 |
| 20~24 | 341 013 | 316 509 | 296 854 | 281 127 | 276 168 | 274 911 | 264 205 | 247 341 | 237 159 | 225 095 |
| 25~29 | 941 255 | 870 962 | 810 204 | 766 659 | 745 229 | 727 006 | 715 754 | 682 885 | 652 221 | 634 446 |
| 30~34 | 343 830 | 372 782 | 388 935 | 401 957 | 404 110 | 402 440 | 393 182 | 381 466 | 371 306 | 364 845 |
| 35~39 | 61 243 | 61 599 | 59 127 | 56 840 | 65 131 | 77 704 | 88 558 | 93 501 | 96 731 | 95 774 |
| 40~44 | 7 427 | 6 798 | 6 911 | 7 184 | 7 772 | 8 109 | 8 605 | 8 224 | 7 527 | 8 682 |
| 45~49 | 288 | 257 | 257 | 228 | 267 | 246 | 239 | 244 | 260 | 229 |
| | 出生率(女子人口千対) | | | | | | | | | |
| 総数 ²⁾ | 56.4 | 54.1 | 51.8 | 50.4 | 49.8 | 49.5 | 48.8 | 46.7 | 45.0 | 43.7 |
| 15~19 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | 3.9 | 4.1 | 4.4 | 4.5 | 4.1 | 3.8 | 3.7 |
| 20~24 | 86.3 | 80.8 | 77.1 | 73.4 | 71.6 | 70.8 | 67.6 | 61.7 | 60.1 | 55.3 |
| 25~29 | 184.7 | 184.6 | 181.5 | 180.6 | 184.1 | 185.0 | 184.1 | 178.4 | 171.3 | 165.8 |
| 30~34 | 71.9 | 74.3 | 73.1 | 71.7 | 74.8 | 79.0 | 83.4 | 84.9 | 87.5 | 90.1 |
| 35~39 | 13.7 | 13.2 | 12.9 | 13.1 | 14.4 | 16.3 | 17.7 | 17.7 | 17.3 | 17.8 |
| 40~44 | 1.8 | 1.6 | 1.7 | 1.7 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.7 | 1.9 |
| 45~49 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |

注:1) 出生数総数には母の年齢14歳以下、50歳以上及び年齢不詳が含まれている。

2) 15~49歳女子人口千対の出生率である。

母の年齢階級別にみた出生率の年次推移



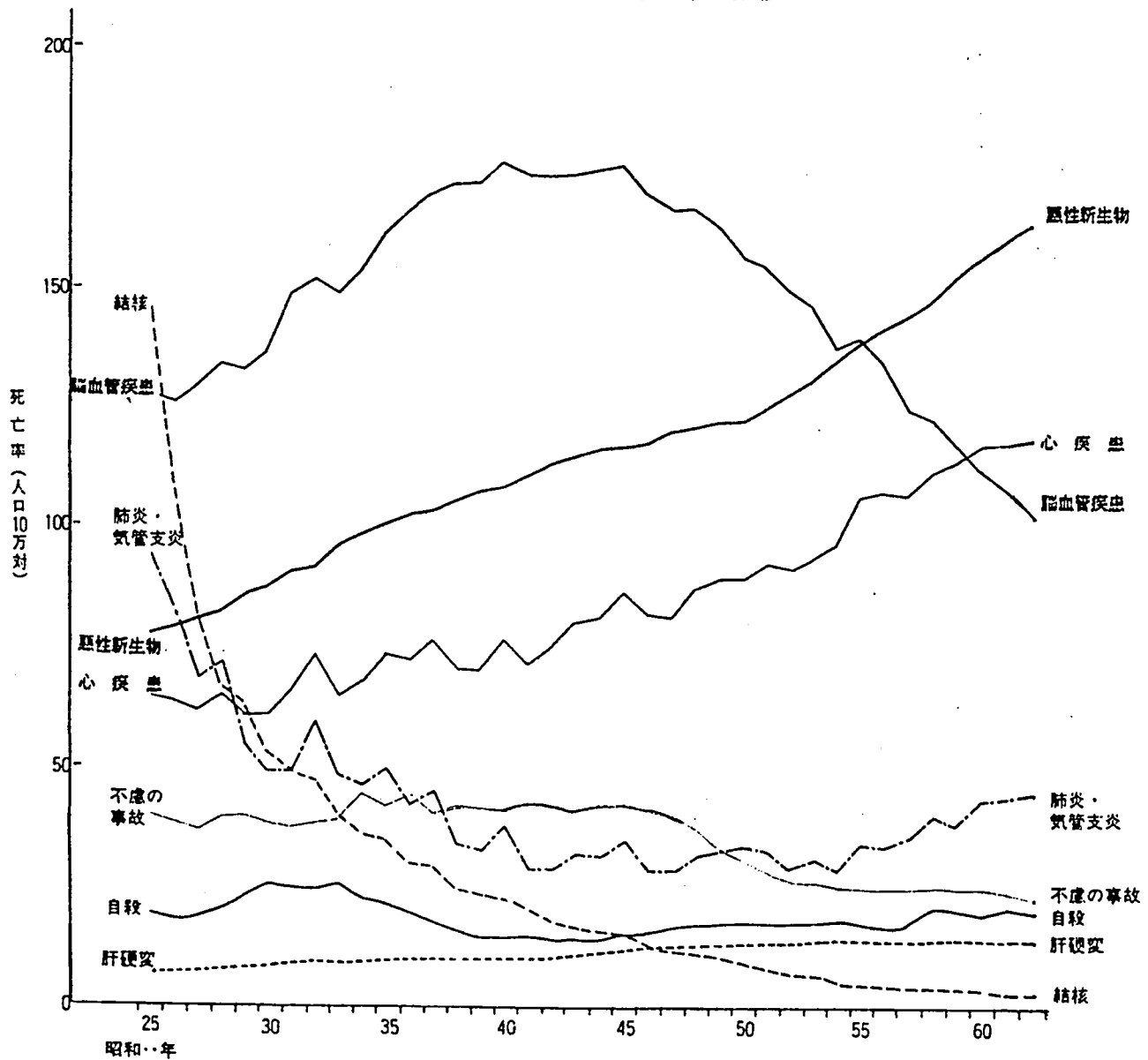
第5表

死亡数・死亡率(人口10万対)・死因川順位, 性別

| 死 因 | 昭和62年 | | | | | | 昭和61年 ¹⁾ | |
|-------------------------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------|---------------------|-------|
| | 総 数 | | 男 | | 女 | | 総 数 | |
| | 死 亡 数 | 死亡率 | 死 亡 数 | 死亡率 | 死 亡 数 | 死亡率 | 死 亡 数 | 死亡率 |
| 悪 性 新 生 物 | (1) 199 471 | 164.1 | (1) 119 126 | 199.5 | (1) 80 345 | 130.0 | (1) 191 654 | 158.5 |
| 心 疾 患 | (2) 143 808 | 118.3 | (2) 72 501 | 121.4 | (2) 71 307 | 115.4 | (2) 142 581 | 117.9 |
| 脳 血 管 疾 患 | (3) 123 594 | 101.7 | (3) 58 732 | 98.3 | (3) 64 862 | 104.9 | (3) 129 289 | 106.9 |
| 肺 炎 及 び 気 管 支 炎 | (4) 54 514 | 44.9 | (4) 31 121 | 52.1 | (4) 23 393 | 37.8 | (4) 53 065 | 43.9 |
| 不慮の事故及び有害作用 | (5) 27 971 | 23.0 | (5) 19 907 | 33.3 | (7) 8 064 | 13.0 | (5) 28 610 | 23.7 |
| 精神病の記載のない老衰 | (6) 25 253 | 20.8 | (8) 8 652 | 14.5 | (5) 16 601 | 26.9 | (6) 26 810 | 22.2 |
| 自殺 | (7) 23 817 | 19.6 | (6) 15 269 | 25.6 | (6) 8 548 | 13.8 | (7) 25 667 | 21.2 |
| 慢性肝疾患及び肝硬変 | (8) 16 657 | 13.7 | (7) 11 499 | 19.3 | (10) 5 158 | 8.3 | (8) 16 943 | 14.0 |
| 腎炎, ネフローゼ症候群 及びネフローゼ | (9) 14 323 | 11.8 | (9) 7 033 | 11.8 | (8) 7 290 | 11.8 | (9) 13 984 | 11.6 |
| 高 血 圧 性 疾 患 | (10) 10 731 | 8.8 | (10) 4 088 | 6.8 | (9) 6 643 | 10.7 | (10) 11 689 | 9.7 |

注:1) 昭和61年は確定数である。
2) ()内の数字は死因順位を示す。

主要死因別にみた死亡率の年次推移



第6表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別

| | 昭和53年 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | 総 | | | | | | |
| 総数 | 607.6 | 597.3 | 621.4 | 614.5 | 603.2 | 623.0 | 619.3 | 625.5 | 620.6 | 618.1 |
| 0~4 | 213.5 | 200.1 | 192.7 | 183.2 | 171.9 | 164.6 | 159.5 | 145.3 | 138.7 | 131.7 |
| 5~9 | 30.4 | 27.9 | 27.8 | 26.0 | 24.4 | 24.4 | 21.4 | 21.1 | 19.0 | 19.4 |
| 10~14 | 20.7 | 19.2 | 18.3 | 18.5 | 17.9 | 17.1 | 16.6 | 16.5 | 16.2 | 15.1 |
| 15~19 | 55.4 | 52.8 | 49.2 | 50.6 | 49.1 | 50.1 | 46.8 | 47.2 | 45.0 | 43.7 |
| 20~24 | 67.5 | 64.4 | 62.3 | 59.8 | 59.1 | 61.8 | 59.4 | 57.1 | 57.9 | 54.5 |
| 25~29 | 74.6 | 71.9 | 69.9 | 66.2 | 64.6 | 66.3 | 63.4 | 60.9 | 59.8 | 59.3 |
| 30~34 | 90.2 | 84.6 | 81.9 | 80.4 | 81.6 | 82.1 | 78.9 | 74.5 | 71.5 | 70.0 |
| 35~39 | 129.5 | 123.9 | 125.3 | 122.2 | 113.0 | 114.2 | 110.1 | 104.2 | 104.0 | 101.9 |
| 40~44 | 212.3 | 202.0 | 194.4 | 184.7 | 177.9 | 179.8 | 178.8 | 175.6 | 172.6 | 157.0 |
| 45~49 | 330.0 | 331.8 | 324.2 | 309.9 | 303.2 | 298.4 | 288.4 | 277.1 | 266.2 | 249.7 |
| 50~54 | 473.8 | 469.6 | 476.6 | 471.5 | 462.4 | 474.0 | 463.9 | 455.6 | 440.2 | 416.6 |
| 55~59 | 707.3 | 681.3 | 680.7 | 664.9 | 654.4 | 668.4 | 658.9 | 654.3 | 640.5 | 637.6 |
| 60~64 | 1 151.8 | 1 112.7 | 1 100.4 | 1 055.3 | 1 005.7 | 990.6 | 959.5 | 948.7 | 912.3 | 912.5 |
| 65~69 | 1 965.4 | 1 853.4 | 1 865.8 | 1 781.9 | 1 701.2 | 1 670.4 | 1 628.3 | 1 554.0 | 1 483.7 | 1 410.6 |
| 70~74 | 3 481.5 | 3 292.4 | 3 297.9 | 3 145.2 | 2 971.8 | 2 926.8 | 2 778.3 | 2 717.5 | 2 573.5 | 2 460.0 |
| 75~79 | 6 083.1 | 5 809.5 | 5 911.1 | 5 705.7 | 5 339.1 | 5 271.7 | 5 010.8 | 4 980.5 | 4 609.5 | 4 421.6 |
| 80~ | 12 940.4 | 12 383.4 | 12 968.6 | 12 438.1 | 11 715.0 | 11 960.5 | 11 631.1 | 11 415.1 | 11 159.0 | 10 689.9 |
| | | | | 男 | | | | | | |
| 総数 | 666.5 | 656.6 | 682.9 | 674.0 | 664.0 | 686.6 | 684.1 | 690.6 | 684.6 | 683.4 |
| 0~4 | 239.2 | 223.4 | 215.6 | 202.3 | 191.5 | 180.3 | 175.7 | 158.8 | 152.8 | 145.5 |
| 5~9 | 38.3 | 34.8 | 34.2 | 32.6 | 30.1 | 29.7 | 25.9 | 26.6 | 23.4 | 23.4 |
| 10~14 | 24.8 | 23.3 | 22.6 | 23.2 | 21.5 | 20.9 | 20.8 | 19.9 | 19.8 | 18.5 |
| 15~19 | 80.7 | 77.1 | 70.7 | 73.2 | 71.8 | 72.5 | 68.4 | 69.8 | 65.5 | 64.0 |
| 20~24 | 92.1 | 87.5 | 87.0 | 83.6 | 83.3 | 86.0 | 83.3 | 81.4 | 80.7 | 75.2 |
| 25~29 | 93.8 | 92.9 | 90.7 | 85.6 | 85.0 | 87.7 | 83.0 | 80.7 | 77.6 | 79.4 |
| 30~34 | 112.6 | 105.8 | 102.9 | 100.5 | 101.8 | 105.0 | 99.8 | 93.3 | 91.5 | 90.0 |
| 35~39 | 163.7 | 156.6 | 159.8 | 155.4 | 142.0 | 145.4 | 140.2 | 131.9 | 132.1 | 129.8 |
| 40~44 | 281.2 | 263.3 | 254.0 | 240.4 | 231.4 | 237.4 | 234.1 | 227.7 | 223.5 | 201.5 |
| 45~49 | 438.7 | 443.9 | 438.2 | 416.6 | 407.9 | 404.1 | 384.1 | 371.7 | 353.9 | 328.1 |
| 50~54 | 619.4 | 618.5 | 632.7 | 633.1 | 625.6 | 651.2 | 644.7 | 624.6 | 608.7 | 569.2 |
| 55~59 | 961.2 | 924.5 | 921.4 | 903.8 | 886.4 | 918.7 | 909.4 | 906.7 | 895.1 | 893.6 |
| 60~64 | 1 553.2 | 1 511.9 | 1 511.3 | 1 452.4 | 1 391.4 | 1 374.8 | 1 346.1 | 1 314.9 | 1 265.9 | 1 270.3 |
| 65~69 | 2 634.1 | 2 503.2 | 2 531.1 | 2 414.7 | 2 324.5 | 2 282.6 | 2 234.2 | 2 159.4 | 2 095.0 | 2 003.5 |
| 70~74 | 4 505.8 | 4 318.8 | 4 356.8 | 4 184.8 | 3 973.5 | 3 940.2 | 3 751.8 | 3 707.7 | 3 518.5 | 3 397.3 |
| 75~79 | 7 626.8 | 7 325.0 | 7 553.8 | 7 255.4 | 6 872.9 | 6 837.2 | 6 569.3 | 6 581.0 | 6 122.0 | 5 946.3 |
| 80~ | 14 611.5 | 14 021.8 | 14 838.9 | 14 289.2 | 13 573.7 | 13 922.8 | 13 691.5 | 13 585.7 | 13 252.4 | 12 815.6 |
| | | | | 女 | | | | | | |
| 総数 | 550.6 | 539.8 | 561.8 | 557.0 | 544.4 | 561.4 | 556.6 | 562.7 | 558.8 | 555.0 |
| 0~4 | 186.3 | 175.5 | 168.5 | 163.0 | 151.3 | 148.0 | 142.4 | 131.2 | 123.9 | 117.2 |
| 5~9 | 22.1 | 20.7 | 21.1 | 19.1 | 18.3 | 18.9 | 16.7 | 15.3 | 14.4 | 15.1 |
| 10~14 | 16.3 | 14.8 | 13.8 | 13.4 | 14.1 | 13.2 | 12.2 | 13.1 | 12.3 | 11.6 |
| 15~19 | 29.0 | 27.3 | 26.8 | 27.0 | 25.3 | 26.5 | 24.1 | 23.7 | 23.4 | 22.3 |
| 20~24 | 42.3 | 40.8 | 37.1 | 35.4 | 34.3 | 36.7 | 34.5 | 31.8 | 34.4 | 32.9 |
| 25~29 | 55.3 | 50.8 | 48.8 | 46.6 | 43.8 | 44.6 | 43.5 | 40.7 | 41.5 | 38.7 |
| 30~34 | 67.7 | 63.3 | 60.6 | 60.0 | 61.1 | 59.0 | 57.8 | 55.6 | 51.3 | 49.5 |
| 35~39 | 95.3 | 91.2 | 90.8 | 89.1 | 83.9 | 82.7 | 79.8 | 76.0 | 75.6 | 73.6 |
| 40~44 | 143.4 | 140.8 | 135.0 | 129.2 | 124.6 | 122.5 | 123.9 | 124.1 | 122.1 | 112.5 |
| 45~49 | 221.4 | 219.5 | 211.0 | 203.9 | 199.3 | 193.6 | 193.7 | 184.6 | 179.5 | 172.1 |
| 50~54 | 336.6 | 326.1 | 325.1 | 313.7 | 302.0 | 299.8 | 286.3 | 289.7 | 275.0 | 267.2 |
| 55~59 | 513.4 | 491.6 | 486.3 | 462.5 | 448.7 | 437.9 | 423.7 | 414.9 | 397.1 | 391.8 |
| 60~64 | 831.3 | 797.8 | 783.9 | 755.9 | 719.5 | 706.2 | 667.0 | 663.0 | 621.1 | 605.0 |
| 65~69 | 1 430.6 | 1 339.5 | 1 344.4 | 1 289.1 | 1 220.0 | 1 203.1 | 1 171.3 | 1 106.4 | 1 043.0 | 988.8 |
| 70~74 | 2 666.5 | 2 488.7 | 2 480.6 | 2 356.0 | 2 220.5 | 2 176.1 | 2 062.9 | 1 998.4 | 1 888.4 | 1 784.8 |
| 75~79 | 4 970.1 | 4 717.6 | 4 738.6 | 4 600.0 | 4 248.7 | 4 165.1 | 3 923.3 | 3 871.3 | 3 586.4 | 3 396.9 |
| 80~ | 12 001.2 | 11 458.0 | 11 901.6 | 11 380.9 | 10 656.0 | 10 833.0 | 10 463.7 | 10 204.1 | 9 992.2 | 9 510.7 |

注: 昭和61年までは確定値である。

第7表 (2-1) 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因(简单分類)別、対前年比較

| 1) 2) 簡 単 分 類 番 号 | 死 因 | 実 数 | | 率 | | 昭和62年 死亡総数に 占める割合 (%) |
|-------------------------------------|--------------------|---------|---------------------|-------|---------------------|--------------------------------|
| | | 昭和62年 | 昭和61年 ³⁾ | 昭和62年 | 昭和61年 ³⁾ | |
| | 総 数 | 751,181 | 750,620 | 618.1 | 620.6 | 100.0 |
| 1 | コレラ | — | — | — | — | — |
| 2 | 腸チフス | — | — | — | — | — |
| 3 | 細菌性赤痢及びアモニバ症 | 3 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 4 | 腸炎及びその他の下痢性疾患 | 790 | 915 | 0.7 | 0.8 | 0.1 |
| 5 | 呼吸系の結核 | 3,830 | 4,001 | 3.2 | 3.3 | 0.5 |
| 6 | その他の結核 | 186 | 169 | 0.2 | 0.1 | 0.0 |
| 7 | らい | — | — | — | — | — |
| 8 | ジフテリア | 1 | — | 0.0 | — | 0.0 |
| 9 | 百日咳 | 9 | 5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 10 | 猩紅熱 | — | — | — | — | — |
| 11 | 髄膜炎菌感染 | 1 | 4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 12 | 破傷風(新生児破傷風を除く) | 19 | 22 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 13 | 敗血症(新生児敗血症を除く) | 2,783 | 2,550 | 2.3 | 2.1 | 0.4 |
| 14 | 急性灰白髄炎 | — | — | — | — | — |
| 15 | 痘 瘡 | — | — | — | — | — |
| 16 | 麻 疹 | 96 | 68 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 17 | 日本脳炎 | 7 | 6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 18 | ウイルス肝炎B | 293 | 237 | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| 19 | その他のウイルス肝炎 | 928 | 978 | 0.8 | 0.8 | 0.1 |
| 20 | 発疹チフス及びその他のリケッチア症 | — | 5 | 0 | 0.0 | — |
| 21 | マラリア | 1 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 22 | 梅毒 | 68 | 66 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 23 | カンジダ症(新生児カンジダ症を除く) | 50 | 51 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 24 | 日本住血吸虫症 | 5 | 5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 25 | フィラリア症 | 1 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 26 | その他の感染症及び寄生虫症 | 2,010 | 1,875 | 1.7 | 1.6 | 0.3 |
| 28~37 | 悪性新生物 | 199,471 | 191,654 | 164.1 | 158.5 | 26.6 |
| 28 | 食 道 | 6,694 | 6,385 | 5.5 | 5.3 | 0.9 |
| 29 | 胃 | 48,332 | 48,266 | 39.8 | 39.9 | 6.4 |
| 30 | 直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門 | 8,357 | 8,152 | 6.9 | 6.7 | 1.1 |
| 31 | 肝 | 22,123 | 20,746 | 18.2 | 17.2 | 2.9 |
| 32 | 脾 | 12,015 | 11,166 | 9.9 | 9.2 | 1.6 |
| 33 | 気管、気管支及び肺 | 31,720 | 29,535 | 26.1 | 24.4 | 4.2 |
| 34 | 乳 房 | 5,275 | 5,164 | 4.3 | 4.3 | 0.7 |
| 35 | 子宮 | 4,609 | 4,744 | 4) | 4) | 0.6 |
| 36 | 白 血 病 | 5,637 | 5,406 | 4.6 | 4.5 | 0.8 |
| 37 | そ の 他 | 54,699 | 52,090 | 45.0 | 43.1 | 7.3 |
| 38 | 良性及び性質不詳の新生物 | 6,564 | 6,101 | 5.4 | 5.0 | 0.9 |
| 39 | 糖 尿 病 | 9,130 | 9,144 | 7.5 | 7.6 | 1.2 |
| 40 | 栄養欠乏症 | 432 | 491 | 0.4 | 0.4 | 0.1 |
| 41 | 貧 血 | 1,514 | 1,529 | 1.2 | 1.3 | 0.2 |
| 42 | 精 神 障 害 | 2,852 | 3,061 | 2.3 | 2.5 | 0.4 |
| 43 | 髄 膜 炎 | 534 | 550 | 0.4 | 0.5 | 0.1 |
| 44 | 中枢神経系の非炎症性疾患 | 4,742 | 4,725 | 3.9 | 3.9 | 0.6 |
| 45 | 急性リウマチ熱 | 37 | 49 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 46 | 慢性リウマチ性心疾患 | 1,486 | 1,529 | 1.2 | 1.3 | 0.2 |
| 48~49 | 高血圧性疾患 | 10,731 | 11,689 | 8.8 | 9.7 | 1.4 |
| 48 | 高血圧性心疾患 | 8,074 | 8,761 | 6.6 | 7.2 | 1.1 |
| 49 | その他の高血圧性疾患 | 2,657 | 2,928 | 2.2 | 2.4 | 0.4 |
| 51~52 | 虚血性心疾患 | 48,010 | 48,473 | 39.5 | 40.1 | 6.4 |
| 51 | 急性心筋梗塞 | 29,782 | 29,876 | 24.5 | 24.7 | 4.0 |
| 52 | その他の虚血性心疾患 | 18,228 | 18,597 | 15.0 | 15.4 | 2.4 |
| 54~56 | 肺循環疾患及びその他の型の心疾患 | 94,312 | 92,579 | 77.6 | 76.5 | 12.6 |
| 54 | 心内臓の慢性疾患 | 3,562 | 3,550 | 2.9 | 2.9 | 0.5 |
| 55 | 心 不 全 | 79,861 | 77,896 | 65.7 | 64.4 | 10.6 |
| 56 | その他の心疾患 | 10,889 | 11,133 | 9.0 | 9.2 | 1.4 |
| 58~60 | 脳血管疾患 | 123,594 | 129,289 | 101.7 | 106.9 | 16.5 |
| 58 | 脳 出 血 | 32,825 | 35,379 | 27.0 | 29.3 | 4.4 |
| 59 | 脳 梗 塞 | 62,456 | 64,579 | 51.4 | 53.4 | 8.3 |
| 60 | その他の脳血管疾患 | 28,313 | 29,331 | 23.3 | 24.3 | 3.8 |

- 注: 1) 「E104~E117損傷及び中毒の外因」は、「91~101損傷及び中毒」を外因で分類したものである。
 2) 简单分類番号は通し番号になっており、欠番は小計をあらわしている。
 3) 昭和61年は確定数である。
 4) 女子人口10万対の死亡率である。
 5) 男子人口10万対の死亡率である。

第7表 (2-2) 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因(简单分類)別、対前年比較

| 1) 2) 简单 分類 番号 | 死 因 | 実 数 | | 率 | | 昭和62年 死亡総数に 占める割合 (%) |
|-------------------------|----------------------------|--------|---------------------|-------|---------------------|--------------------------------|
| | | 昭和62年 | 昭和61年 ³⁾ | 昭和62年 | 昭和61年 ³⁾ | |
| 61 | 循環系のその他の疾患 | 7 324 | 7 419 | 6.0 | 6.1 | 1.0 |
| 62 | 急性気管支炎 | 1 152 | 1 369 | 0.9 | 1.1 | 0.2 |
| 63 | 肺炎 | 49 007 | 47 256 | 40.3 | 39.1 | 6.5 |
| 64 | インフルエンザ | 121 | 280 | 0.1 | 0.2 | 0.0 |
| 66~68 | 気管支炎、肺気腫及び喘息 | 13 620 | 14 099 | 11.2 | 11.7 | 1.8 |
| 66 | 気管支炎 | 4 355 | 4 440 | 3.6 | 3.7 | 0.6 |
| 67 | 肺気腫 | 3 228 | 3 301 | 2.7 | 2.7 | 0.4 |
| 68 | 喘 息 | 6 037 | 6 358 | 5.0 | 5.3 | 0.8 |
| 69 | 胃及び十二指腸潰瘍 | 3 856 | 4 227 | 3.2 | 3.5 | 0.5 |
| 70 | 虫 垂 炎 | 100 | 104 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 71 | 腹腔ヘルニア及び腸閉塞 | 2 737 | 2 687 | 2.3 | 2.2 | 0.4 |
| 72 | 胃炎、十二指腸炎及び慢性胃腸炎 | 970 | 1 053 | 0.8 | 0.9 | 0.1 |
| 73 | 慢性肝疾患及び肝硬変 | 16 657 | 16 943 | 13.7 | 14.0 | 2.2 |
| 74 | 肝疾患(肝硬変を除く) | 2 607 | 2 589 | 2.1 | 2.1 | 0.3 |
| 76~77 | 腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ | 14 323 | 13 984 | 11.8 | 11.6 | 1.9 |
| 76 | 急性糸球体腎炎及びネフローゼ症候群 | 3 362 | 3 262 | 2.8 | 2.7 | 0.4 |
| 77 | そ の 他 | 10 961 | 10 722 | 9.0 | 8.9 | 1.5 |
| 78 | 前立腺肥大症 | 244 | 277 | 0.4 | 0.5 | 0.0 |
| 79 | 直接産科的死亡 | 140 | 163 | 0.2 | 0.3 | 0.0 |
| 80 | 間接産科的死亡 | 22 | 24 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 81 | 先天異常 | 3 681 | 3 902 | 3.0 | 3.2 | 0.5 |
| 82 | 出産時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態 | 1 803 | 2 029 | 1.5 | 1.7 | 0.2 |
| 84~87 | その他の周産期の死因 | 765 | 831 | 0.6 | 0.7 | 0.1 |
| 84 | 新生児破傷風 | — | — | — | — | — |
| 85 | 新生児カンジダ感染 | — | — | — | — | — |
| 86 | 新生児敗血症 | 139 | 135 | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 87 | そ の 他 | 626 | 696 | 0.5 | 0.6 | 0.1 |
| 88 | 精神病の記載のない老衰 | 25 253 | 26 810 | 20.8 | 22.2 | 3.4 |
| 89 | その他のすべての疾患 | 36 939 | 34 923 | 30.4 | 28.9 | 4.9 |
| 91~101 | 損傷及び中毒 | 55 370 | 57 825 | 45.6 | 47.8 | 7.4 |
| 91 | 頭蓋骨折 | 5 986 | 6 063 | 4.9 | 5.0 | 0.8 |
| 92 | その他の骨の骨折 | 2 914 | 2 963 | 2.4 | 2.4 | 0.4 |
| 93 | 頭蓋内損傷(頭蓋骨折を伴うものを除く) | 6 994 | 7 311 | 5.8 | 6.0 | 0.9 |
| 94 | 胸、腹及び骨盤の内部損傷 | 4 131 | 4 281 | 3.4 | 3.5 | 0.5 |
| 95 | 開 放 創 | 956 | 942 | 0.8 | 0.8 | 0.1 |
| 96 | 熱 傷 | 2 307 | 2 541 | 1.9 | 2.1 | 0.3 |
| 97 | 神経及び脊髄の損傷 | 365 | 381 | 0.3 | 0.3 | 0.0 |
| 98 | 中毒及び毒作用 | 5 075 | 5 734 | 4.2 | 4.7 | 0.7 |
| 99 | 溺 死 | 5 963 | 6 024 | 4.9 | 5.0 | 0.8 |
| 100 | 窒息及び絞首 | 14 092 | 15 443 | 11.6 | 12.8 | 1.9 |
| 101 | その他の損傷 | 6 587 | 6 142 | 5.4 | 5.1 | 0.9 |
| | (再 掲) | | | | | |
| E104~E117 | 損傷及び中毒の外因 | 55 370 | 57 825 | 45.6 | 47.8 | 7.4 |
| E104~E114 | 不慮の事故及び有害作用 | 27 971 | 28 610 | 23.0 | 23.7 | 3.7 |
| E104 | 自動車事故 | 12 456 | 12 458 | 10.2 | 10.3 | 1.7 |
| E105 | 自動車事故以外の交通事故 | 1 203 | 1 130 | 1.0 | 0.9 | 0.2 |
| E106 | 不慮の中毒 | 736 | 787 | 0.6 | 0.7 | 0.1 |
| E107 | 不慮の墜落 | 3 734 | 3 951 | 3.1 | 3.3 | 0.5 |
| E108 | 火災及び火焔による不慮の事故 | 1 062 | 1 327 | 0.9 | 1.1 | 0.1 |
| E109 | 天 災 | 13 | 32 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| E110 | 不慮の溺死 | 2 857 | 3 001 | 2.4 | 2.5 | 0.4 |
| E111 | 不慮の機械的窒息 | 2 757 | 2 795 | 2.3 | 2.3 | 0.4 |
| E112 | 不慮の打撲 | 459 | 451 | 0.4 | 0.4 | 0.1 |
| E113 | 工業性を主とする不慮の事故 | 1 155 | 1 177 | 1.0 | 1.0 | 0.2 |
| E114 | その他の不慮の事故及び有害作用 | 1 539 | 1 501 | 1.3 | 1.2 | 0.2 |
| E115 | 自 殺 | 23 817 | 25 667 | 19.6 | 21.2 | 3.2 |
| E116 | 他 殺 | 917 | 1 029 | 0.8 | 0.9 | 0.1 |
| E117 | その他の外因 | 2 665 | 2 519 | 2.2 | 2.1 | 0.4 |

第8表 (2-2) 人口動態総覧，都道府県(11大都市再掲)別

昭和62年

| 都道府県 | 出生率 (人口千対) | 死亡率 (人口千対) | 自然増加率 | 乳児死亡率 (出生千対) | 新生児死亡率 (出生千対) | 死亡率 | | 死亡率 (出生千対) | 特異率 (人口千対) | 残存率 | | |
|------|---------------|---------------|-------|-----------------|------------------|------|----------------|---------------|---------------|-----|------|----|
| | | | | | | 総数 | 自然死産 (出産千対) | | | | | |
| 全 | 11.1 | 6.2 | 4.9 | 5.0 | 2.9 | 45.3 | 21.2 | 24.0 | 6.9 | 5.7 | 1.30 | |
| 海 | 10.8 | 5.9 | 4.9 | 5.2 | 3.0 | 63.9 | 22.3 | 41.6 | 6.1 | 5.9 | 1.87 | 01 |
| | 11.3 | 6.7 | 4.1 | 6.2 | 3.9 | 47.0 | 24.3 | 22.7 | 8.9 | 5.4 | 1.37 | 02 |
| | 10.9 | 5.9 | 3.8 | 4.8 | 2.9 | 32.8 | 22.1 | 30.7 | 7.4 | 3.0 | 1.37 | 03 |
| | 10.3 | 7.7 | 6.0 | 5.0 | 3.1 | 52.0 | 18.8 | 33.2 | 6.4 | 5.5 | 1.01 | 04 |
| | | | 2.6 | 5.4 | 3.5 | 46.3 | 16.4 | 30.0 | 8.0 | 4.9 | 1.06 | 05 |
| 田 | 11.1 | 7.5 | 3.6 | 5.1 | 3.1 | 45.1 | 15.2 | 29.9 | 6.6 | 5.3 | 0.86 | 06 |
| | 12.1 | 7.1 | 3.0 | 6.2 | 3.0 | 46.8 | 20.8 | 26.0 | 6.5 | 5.3 | 1.05 | 07 |
| | 11.5 | 6.3 | 5.2 | 4.8 | 2.9 | 42.9 | 20.8 | 22.0 | 8.6 | 5.4 | 1.04 | 08 |
| | 12.0 | 6.3 | 3.1 | 5.0 | 3.1 | 43.2 | 20.4 | 22.8 | 6.6 | 5.6 | 1.05 | 09 |
| | 11.1 | 6.6 | 4.5 | 4.5 | 2.6 | 35.9 | 18.3 | 17.6 | 6.4 | 5.5 | 1.10 | 10 |
| 京 | 10.7 | 4.6 | 6.1 | 5.7 | 3.3 | 37.8 | 20.1 | 17.7 | 7.3 | 5.7 | 1.19 | 11 |
| | 10.8 | 4.8 | 6.0 | 4.0 | 2.5 | 44.1 | 23.3 | 16.3 | 6.5 | 5.7 | 1.22 | 12 |
| | 10.1 | 5.1 | 4.6 | 4.5 | 2.5 | 44.1 | 23.3 | 20.8 | 6.4 | 6.7 | 1.45 | 13 |
| | 10.9 | 4.6 | 6.1 | 4.5 | 2.8 | 38.2 | 21.3 | 17.0 | 7.5 | 6.5 | 1.35 | 14 |
| | 10.9 | 7.1 | 3.8 | 4.4 | 2.8 | 35.5 | 17.1 | 13.4 | 6.7 | 5.0 | 0.84 | 15 |
| | 9.8 | 6.1 | 2.7 | 5.6 | 3.5 | 42.1 | 23.4 | 18.7 | 6.8 | 4.9 | 0.93 | 16 |
| | 10.7 | 7.0 | 4.0 | 3.7 | 3.5 | 46.6 | 26.6 | 20.0 | 6.9 | 5.3 | 1.18 | 17 |
| | 11.8 | 7.0 | 4.3 | 4.8 | 3.5 | 45.7 | 30.3 | 25.4 | 7.3 | 5.4 | 1.02 | 18 |
| | 11.6 | 7.1 | 4.3 | 4.4 | 3.3 | 36.1 | 19.6 | 13.2 | 7.2 | 5.3 | 1.07 | 19 |
| | 10.7 | 7.3 | 3.4 | 5.1 | 3.3 | 36.1 | 19.6 | 16.4 | 7.2 | 5.3 | 0.98 | 20 |
| | 11.0 | 6.4 | 2.7 | 4.2 | 2.6 | 38.1 | 18.1 | 20.0 | 6.4 | 5.2 | 1.03 | 21 |
| | 11.7 | 6.0 | 1.5 | 4.1 | 2.3 | 37.2 | 17.2 | 20.0 | 5.8 | 5.2 | 1.23 | 22 |
| | 12.0 | 5.8 | 6.7 | 5.0 | 2.8 | 39.7 | 17.0 | 22.7 | 6.5 | 5.2 | 1.16 | 23 |
| | 10.9 | 5.3 | 3.3 | 4.8 | 3.4 | 40.5 | 18.3 | 22.2 | 6.6 | 5.1 | 1.08 | 24 |
| | 12.2 | 6.2 | 6.0 | 6.9 | 4.5 | 35.1 | 18.6 | 16.5 | 8.9 | 5.5 | 0.90 | 25 |
| 歌 | 10.4 | 6.6 | 3.8 | 4.5 | 2.6 | 41.9 | 21.9 | 23.0 | 6.3 | 5.3 | 1.24 | 26 |
| | 11.1 | 5.7 | 3.4 | 4.9 | 3.1 | 51.8 | 23.4 | 23.4 | 7.1 | 5.3 | 1.62 | 27 |
| | 11.0 | 6.4 | 4.6 | 4.6 | 2.9 | 41.3 | 21.0 | 20.3 | 6.7 | 5.6 | 1.28 | 28 |
| | 10.5 | 8.3 | 2.1 | 5.9 | 3.0 | 38.5 | 19.8 | 18.7 | 6.9 | 5.3 | 1.06 | 29 |
| | | | 2.1 | 5.9 | 3.7 | 40.1 | 21.8 | 18.3 | 8.6 | 5.3 | 1.33 | 30 |
| | 11.4 | 7.8 | 3.5 | 4.0 | 1.7 | 46.0 | 19.7 | 26.4 | 4.9 | 5.1 | 1.14 | 31 |
| | 10.8 | 8.3 | 2.5 | 6.0 | 4.2 | 35.9 | 16.5 | 19.3 | 8.2 | 4.6 | 0.92 | 32 |
| | 11.1 | 7.3 | 3.8 | 4.3 | 2.5 | 43.9 | 17.6 | 26.3 | 6.9 | 5.2 | 1.13 | 33 |
| | 11.1 | 6.6 | 4.5 | 4.5 | 3.1 | 42.7 | 20.8 | 22.0 | 6.7 | 5.2 | 1.17 | 34 |
| | 10.1 | 7.7 | 2.4 | 5.7 | 3.3 | 46.4 | 21.0 | 23.5 | 6.7 | 4.7 | 1.26 | 35 |
| | 10.4 | 7.9 | 2.6 | 6.4 | 3.6 | 49.2 | 20.0 | 29.2 | 6.9 | 5.1 | 1.09 | 36 |
| | 10.5 | 7.3 | 3.2 | 5.5 | 2.9 | 39.6 | 20.6 | 19.1 | 6.7 | 5.1 | 1.20 | 37 |
| | 10.7 | 7.3 | 3.2 | 5.2 | 3.1 | 47.4 | 23.7 | 23.7 | 8.7 | 5.2 | 1.39 | 38 |
| | 11.3 | 8.4 | 4.8 | 5.1 | 4.8 | 52.2 | 17.9 | 34.3 | 8.9 | 5.0 | 1.66 | 39 |
| | 11.3 | 6.5 | 4.3 | 5.1 | 2.7 | 57.9 | 22.7 | 35.2 | 6.5 | 5.6 | 1.74 | 40 |
| | 12.0 | 7.6 | 4.3 | 4.9 | 2.9 | 49.1 | 21.1 | 28.0 | 7.8 | 5.2 | 1.12 | 41 |
| | 12.0 | 7.2 | 4.3 | 4.3 | 2.3 | 62.7 | 23.3 | 39.4 | 7.1 | 5.3 | 1.33 | 42 |
| | 11.7 | 7.3 | 4.4 | 5.2 | 2.8 | 62.3 | 24.6 | 37.9 | 6.6 | 5.2 | 1.26 | 43 |
| | 10.7 | 7.7 | 3.9 | 5.1 | 3.3 | 56.5 | 21.3 | 35.1 | 7.4 | 5.4 | 1.42 | 44 |
| | 12.0 | 7.1 | 4.9 | 7.0 | 4.3 | 56.7 | 19.9 | 36.8 | 8.6 | 5.4 | 1.54 | 45 |
| 児 | 12.4 | 8.2 | 4.2 | 6.0 | 3.0 | 55.4 | 29.7 | 25.7 | 7.4 | 5.3 | 1.35 | 46 |
| | 16.3 | 4.7 | 11.6 | 5.0 | 3.2 | 31.6 | 21.5 | 10.1 | 7.1 | 6.7 | 2.00 | 47 |
| 九 | 9.6 | 5.7 | 3.9 | 4.5 | 2.3 | 47.3 | 24.0 | 23.3 | 6.2 | 6.8 | 1.50 | |
| | 11.6 | 4.4 | 7.2 | 4.7 | 2.8 | 68.5 | 22.6 | 45.9 | 7.2 | 7.2 | 2.17 | |
| | 11.2 | 4.5 | 6.8 | 4.1 | 2.5 | 37.9 | 21.7 | 16.2 | 6.8 | 6.8 | 1.38 | |
| | 12.3 | 8.1 | 4.2 | 5.3 | 3.7 | 37.0 | 21.4 | 15.6 | 6.9 | 6.9 | 1.44 | |
| | 11.9 | 5.5 | 6.1 | 4.1 | 2.5 | 43.0 | 18.4 | 24.5 | 6.0 | 6.7 | 1.44 | |
| | 10.0 | 6.6 | 3.3 | 3.0 | 1.9 | 47.4 | 21.3 | 26.1 | 5.8 | 5.7 | 1.37 | |
| | 10.4 | 6.9 | 3.6 | 3.3 | 3.1 | 63.3 | 25.6 | 38.3 | 6.9 | 7.0 | 1.88 | |
| | 10.3 | 6.3 | 4.1 | 5.5 | 2.0 | 45.1 | 22.0 | 23.7 | 6.9 | 5.6 | 1.54 | |
| | 12.1 | 5.1 | 7.0 | 5.1 | 3.0 | 42.5 | 18.5 | 24.0 | 6.1 | 6.3 | 1.32 | |
| | 10.2 | 6.5 | 3.7 | 5.0 | 2.7 | 60.3 | 21.4 | 48.4 | 6.4 | 5.5 | 1.97 | |
| | 12.8 | 4.9 | 7.9 | 5.0 | 3.0 | 52.3 | 21.1 | 31.2 | 6.7 | 6.7 | 1.95 | |

付表 分母に用いた人口

年齢5歳階級・男女別人口（日本人人口）

| 年齢階級 | 総数 | 男 | 女 |
|---------|-------------|------------|------------|
| 総数 | 121 535 000 | 59 723 000 | 61 811 000 |
| 0 ~ 4歳 | 7 119 000 | 3 649 000 | 3 470 000 |
| 5 ~ 9 | 7 918 000 | 4 057 000 | 3 860 000 |
| 10 ~ 14 | 9 565 000 | 4 902 000 | 4 663 000 |
| 15 ~ 19 | 9 616 000 | 4 933 000 | 4 683 000 |
| 20 ~ 24 | 8 308 000 | 4 234 000 | 4 074 000 |
| 25 ~ 29 | 7 738 000 | 3 912 000 | 3 826 000 |
| 30 ~ 34 | 8 167 000 | 4 119 000 | 4 048 000 |
| 35 ~ 39 | 10 834 000 | 5 444 000 | 5 390 000 |
| 40 ~ 44 | 8 997 000 | 4 498 000 | 4 499 000 |
| 45 ~ 49 | 8 577 000 | 4 263 000 | 4 314 000 |
| 50 ~ 54 | 8 111 000 | 4 013 000 | 4 098 000 |
| 55 ~ 59 | 7 307 000 | 3 580 000 | 3 727 000 |
| 60 ~ 64 | 6 010 000 | 2 778 000 | 3 232 000 |
| 65 ~ 69 | 4 403 000 | 1 830 000 | 2 573 000 |
| 70 ~ 74 | 3 654 000 | 1 530 000 | 2 124 000 |
| 75 ~ 79 | 2 740 000 | 1 100 000 | 1 641 000 |
| 80 ~ 84 | 1 541 000 | 581 000 | 960 000 |
| 85 ~ 89 | 708 000 | 237 000 | 471 000 |
| 90歳以上 | 223 000 | 64 000 | 159 000 |

都道府県・男女別人口（日本人人口）

| 都道府県 | 総数 | 男 | 女 |
|-------|-------------|------------|------------|
| 全 国 | 121 535 000 | 59 723 000 | 61 811 000 |
| 北海道 | 5 662 000 | 2 747 000 | 2 915 000 |
| 青森県 | 1 513 000 | 724 000 | 789 000 |
| 岩手県 | 1 425 000 | 685 000 | 739 000 |
| 宮城県 | 2 202 000 | 1 084 000 | 1 118 000 |
| 秋田県 | 1 243 000 | 593 000 | 650 000 |
| 山形県 | 1 261 000 | 608 000 | 653 000 |
| 福島県 | 2 088 000 | 1 016 000 | 1 072 000 |
| 茨城県 | 2 763 000 | 1 378 000 | 1 385 000 |
| 栃木県 | 1 889 000 | 937 000 | 953 000 |
| 群馬県 | 1 935 000 | 955 000 | 981 000 |
| 埼玉県 | 6 049 000 | 3 058 000 | 2 991 000 |
| 千葉県 | 5 285 000 | 2 660 000 | 2 625 000 |
| 東京都 | 11 764 000 | 5 929 000 | 5 835 000 |
| 神奈川県 | 7 627 000 | 3 911 000 | 3 717 000 |
| 新潟県 | 2 476 000 | 1 203 000 | 1 273 000 |
| 富山県 | 1 119 000 | 539 000 | 580 000 |
| 石川県 | 1 154 000 | 558 000 | 596 000 |
| 福井県 | 817 000 | 397 000 | 420 000 |
| 山梨県 | 840 000 | 412 000 | 428 000 |
| 長野県 | 2 144 000 | 1 042 000 | 1 102 000 |
| 岐阜県 | 2 035 000 | 989 000 | 1 046 000 |
| 静岡県 | 3 609 000 | 1 777 000 | 1 832 000 |
| 愛知県 | 6 503 000 | 3 256 000 | 3 247 000 |
| 三重県 | 1 758 000 | 853 000 | 906 000 |
| 滋賀県 | 1 172 000 | 577 000 | 595 000 |
| 京都府 | 2 558 000 | 1 249 000 | 1 309 000 |
| 大阪府 | 8 569 000 | 4 237 000 | 4 332 000 |
| 兵庫県 | 5 250 000 | 2 550 000 | 2 700 000 |
| 奈良県 | 1 330 000 | 645 000 | 685 000 |
| 和歌山県 | 1 078 000 | 514 000 | 563 000 |
| 鳥取県 | 615 000 | 295 000 | 320 000 |
| 島根県 | 792 000 | 381 000 | 411 000 |
| 岡山県 | 1 920 000 | 927 000 | 993 000 |
| 広島県 | 2 822 000 | 1 374 000 | 1 447 000 |
| 山口県 | 1 581 000 | 752 000 | 829 000 |
| 徳島県 | 835 000 | 399 000 | 436 000 |
| 香川県 | 1 025 000 | 494 000 | 531 000 |
| 愛媛県 | 1 526 000 | 725 000 | 801 000 |
| 高知県 | 836 000 | 396 000 | 440 000 |
| 福岡県 | 4 728 000 | 2 269 000 | 2 459 000 |
| 佐賀県 | 879 000 | 416 000 | 463 000 |
| 長崎県 | 1 584 000 | 751 000 | 833 000 |
| 熊本県 | 1 843 000 | 874 000 | 969 000 |
| 大分県 | 1 246 000 | 589 000 | 656 000 |
| 宮崎県 | 1 175 000 | 557 000 | 618 000 |
| 鹿児島県 | 1 816 000 | 854 000 | 962 000 |
| 沖縄県 | 1 198 000 | 591 000 | 607 000 |
| (再掲) | | | |
| 東京都区部 | 8 354 000 | 4 185 000 | 4 169 000 |
| 札幌市 | 1 595 000 | 776 000 | 819 000 |
| 横浜市 | 3 110 000 | 1 595 000 | 1 515 000 |
| 川崎市 | 1 126 000 | 591 000 | 536 000 |
| 名古屋市 | 2 143 000 | 1 071 000 | 1 072 000 |
| 京都市 | 1 479 000 | 721 000 | 759 000 |
| 大阪市 | 2 649 000 | 1 303 000 | 1 345 000 |
| 神戸市 | 1 432 000 | 691 000 | 741 000 |
| 広島市 | 1 065 000 | 525 000 | 540 000 |
| 北九州市 | 1 046 000 | 500 000 | 546 000 |
| 福岡市 | 1 191 000 | 582 000 | 609 000 |

年次別人口

| 昭和22年 | * | 78 101 473 |
|-------|---|-------------|
| 23 | | 80 002 500 |
| 24 | | 81 772 600 |
| 25 | * | 83 199 637 |
| 26 | | 84 573 000 |
| 27 | | 85 852 000 |
| 28 | | 87 033 000 |
| 29 | | 88 293 000 |
| 30 | * | 89 275 529 |
| 31 | | 90 259 000 |
| 32 | | 91 088 000 |
| 33 | | 92 010 000 |
| 34 | | 92 971 000 |
| 35 | * | 93 418 501 |
| 36 | | 94 285 000 |
| 37 | | 95 178 000 |
| 38 | | 96 156 000 |
| 39 | | 97 186 000 |
| 40 | * | 98 274 961 |
| 41 | | 99 056 000 |
| 42 | | 99 637 000 |
| 43 | | 100 794 000 |
| 44 | | 102 022 000 |
| 45 | * | 103 119 447 |
| 46 | | 104 345 000 |
| 47 | | 105 742 000 |
| 48 | | 108 079 000 |
| 49 | | 109 410 000 |
| 50 | * | 111 251 507 |
| 51 | | 112 420 000 |
| 52 | | 113 499 000 |
| 53 | | 114 511 000 |
| 54 | | 115 465 000 |
| 55 | * | 116 320 358 |
| 56 | | 117 204 000 |
| 57 | | 118 008 000 |
| 58 | | 118 786 000 |
| 59 | | 119 523 000 |
| 60 | * | 120 265 700 |
| 61 | | 120 946 000 |
| 62 | | 121 535 000 |

注：11大都市については総人口。
資料：「昭和62年10月1日現在推計人口」（昭和63年3月総務庁統計局刊）。11大都市については、「人口推計月報昭和63年2月」（総務庁統計局刊）による。

注：*印は国勢調査人口。昭和41年までは総人口。昭和42年以降は日本人人口。昭和48年以降は沖縄県を含む。

資料：各年「国勢調査報告」
各年「10月1日現在推計人口」（総務庁統計局刊）

日本人の平均余命

昭和62年簡易生命表

| 目次 | ページ |
|-----------------|-----|
| 昭和62年簡易生命表 | 1 |
| 概況 | |
| 1 主な年齢の平均余命 | 1 |
| 2 平均寿命の年次推移 | 2 |
| 3 生命表での特定年齢の生存数 | 4 |
| 4 平均寿命の国際比較 | 5 |
| 5 死因分析 | 7 |
| 昭和62年簡易生命表(男) | 9 |
| 昭和62年簡易生命表(女) | 10 |
| 生命表諸関数の定義 | 11 |
| 参考資料 生存数曲線の推移 | 12 |

☆ 昭和62年簡易生命表

昭和62年簡易生命表は、9ページ及び10ページに示すとおりであり、作成にあたっては、昭和62年人口動態統計概数（厚生省大臣官房統計情報部）及び昭和62年10月1日現在日本人推計人口（総務庁統計局）を基礎資料として用いた。

この生命表は、昭和62年の死亡状況が今後一定不変と仮定したとき、各年齢の者が平均してあと何年生きられるか、定常状態の人口構造はどのような様相を示すかを、死亡率、生存数、平均余命等の生命関数によって表現したものである。

生命表の諸関数値は、現実の人口集団の年齢構造の如何には影響されず、その集団の死亡状況のみを表しているので、死亡状況の厳密な分析には不可欠である。また、0歳の平均余命である「平均寿命」は、全年齢の死亡状況を集約したものであり、保健福祉水準の総合的指標として広く活用されている。

☆ 概 況

1 主な年齢の平均余命

昭和62年簡易生命表によると、男の平均寿命は75.61年で前年に比べ0.38年の伸びを示し、女の平均寿命は、初めて81歳を超え、81.39年で前年に比べ0.46年の伸びを示した。

男女の平均寿命の差は5.78年で、前年より0.08年伸びた。

各年齢の平均余命も前年に比べ伸びを示し、その伸びはおおむね高年齢になるほど小さくなっている。（表1）

表1 主な年齢の平均余命とその伸び (単位：年)

| 年 齢 | 男 | | | 女 | | |
|-----|-------|-------|------|-------|-------|------|
| | 62年 | 61年 | 延 び | 62年 | 61年 | 延 び |
| 0歳 | 75.61 | 75.23 | 0.38 | 81.39 | 80.93 | 0.46 |
| 5歳 | 71.17 | 70.81 | 0.36 | 76.89 | 76.45 | 0.44 |
| 10歳 | 66.25 | 65.89 | 0.36 | 71.94 | 71.50 | 0.44 |
| 15歳 | 61.31 | 60.96 | 0.35 | 66.98 | 66.54 | 0.44 |
| 20歳 | 56.50 | 56.15 | 0.35 | 62.05 | 61.62 | 0.43 |
| 25歳 | 51.71 | 51.37 | 0.34 | 57.15 | 56.72 | 0.43 |
| 30歳 | 46.90 | 46.56 | 0.34 | 52.26 | 51.84 | 0.42 |
| 35歳 | 42.10 | 41.76 | 0.34 | 47.38 | 46.96 | 0.42 |
| 40歳 | 37.35 | 37.02 | 0.33 | 42.54 | 42.13 | 0.41 |
| 45歳 | 32.71 | 32.40 | 0.31 | 37.77 | 37.37 | 0.40 |
| 50歳 | 28.21 | 27.93 | 0.28 | 33.07 | 32.68 | 0.39 |
| 55歳 | 23.95 | 23.72 | 0.23 | 28.49 | 28.10 | 0.39 |
| 60歳 | 19.94 | 19.70 | 0.24 | 24.00 | 23.62 | 0.38 |
| 65歳 | 16.12 | 15.86 | 0.26 | 19.67 | 19.29 | 0.38 |
| 70歳 | 12.56 | 12.33 | 0.23 | 15.55 | 15.19 | 0.36 |
| 75歳 | 9.43 | 9.24 | 0.19 | 11.77 | 11.45 | 0.32 |
| 80歳 | 6.88 | 6.72 | 0.16 | 8.50 | 8.25 | 0.25 |
| 85歳 | 4.95 | 4.80 | 0.15 | 5.89 | 5.70 | 0.19 |
| 90歳 | 3.51 | 3.38 | 0.13 | 3.92 | 3.78 | 0.14 |

2 平均寿命の年次推移

戦前に作成された最後の生命表である第6回生命表（昭和10年～11年）によると日本人の平均寿命は、男46.92年、女49.63年であったが、昭和22年の臨時国勢調査を基に作成された第8回生命表では男50.06年、女53.96年と男女とも50年を超えている。

その後、昭和25年から27年までの間は、男女とも平均寿命は毎年1年以上という大幅な伸びをみせ、この間の昭和25年に女の平均寿命が60年を超え、男も昭和26年に60年を超えた。

以来、平均寿命の伸びは多少緩やかにはなったものの昭和31年、32年を除いては着実に改善を重ね、昭和34年には男が65年を超え、昭和35年に女が70年を超えた。更に、昭和46年には男70年、女75年を超えた。

その後も、平均寿命の伸びは続いたが、昭和55年の男女及び58年の男は平均寿命が前年を下回った。

昭和62年は、前年に比べ男女とも伸びを示し、女は初めて81年を超えた。（表2及び図1）

0歳と65歳の平均余命の年次推移を図示すると図1のとおりである。

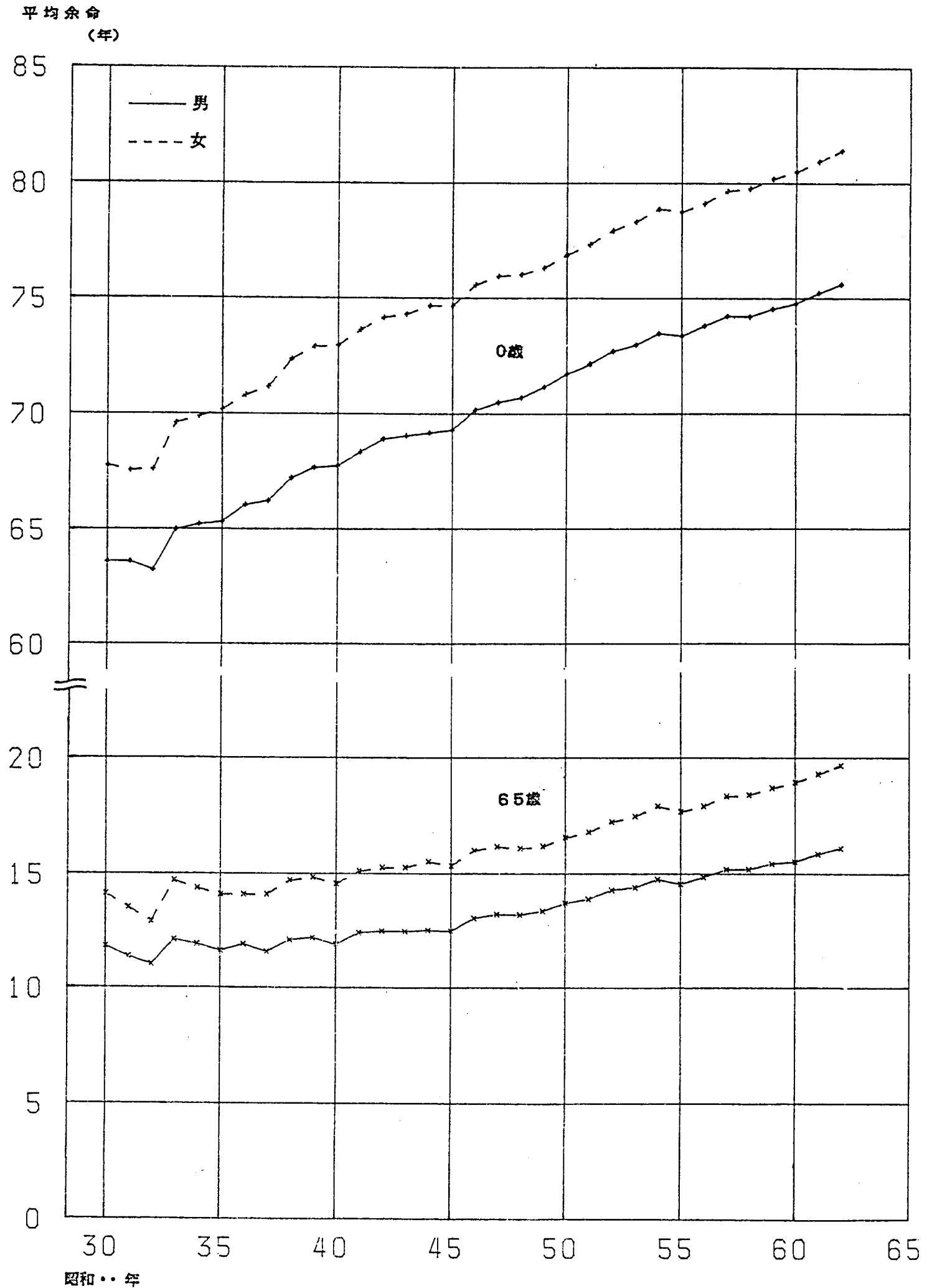
表2 平均余命の年次推移

(単位：年)

| 年次 | 男 | | | | 女 | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 0歳 | 20歳 | 40歳 | 65歳 | 0歳 | 20歳 | 40歳 | 65歳 |
| 昭和22年* | 50.06 | 40.89 | 26.88 | 10.16 | 53.96 | 44.87 | 30.39 | 12.22 |
| 23 | 55.6 | 43.6 | 29.1 | 12.0 | 59.4 | 47.3 | 32.5 | 14.2 |
| 24 | 56.2 | 44.3 | 29.2 | 11.7 | 59.8 | 47.9 | 32.6 | 14.0 |
| 25 | 58.0 | 45.3 | 29.4 | 11.5 | 61.5 | 48.7 | 32.7 | 13.9 |
| 25-27* | 59.57 | 46.43 | 29.65 | 11.35 | 62.97 | 49.58 | 32.77 | 13.36 |
| 26 | 60.8 | 47.9 | 31.4 | ... | 64.9 | 51.9 | 35.4 | ... |
| 27 | 61.9 | 48.0 | 30.9 | 12.5 | 65.5 | 51.4 | 34.2 | 14.8 |
| 28 | 61.9 | 48.0 | 30.6 | 11.9 | 65.7 | 51.4 | 33.9 | 14.2 |
| 29 | 63.41 | 48.87 | 31.45 | 12.88 | 67.69 | 52.86 | 35.22 | 15.00 |
| 30* | 63.60 | 48.47 | 30.85 | 11.82 | 67.75 | 52.25 | 34.34 | 14.13 |
| 31 | 63.59 | 48.21 | 30.45 | 11.36 | 67.54 | 51.92 | 33.85 | 13.54 |
| 32 | 63.24 | 47.87 | 30.04 | 11.01 | 67.60 | 51.48 | 33.39 | 12.93 |
| 33 | 64.98 | 49.19 | 31.29 | 12.12 | 69.61 | 53.48 | 35.23 | 14.71 |
| 34 | 65.21 | 49.31 | 31.30 | 11.91 | 69.88 | 53.45 | 35.08 | 14.37 |
| 35* | 65.32 | 49.08 | 31.02 | 11.62 | 70.19 | 53.39 | 34.90 | 14.10 |
| 36 | 66.03 | 49.58 | 31.44 | 11.88 | 70.79 | 53.72 | 35.10 | 14.10 |
| 37 | 66.23 | 49.44 | 31.19 | 11.55 | 71.16 | 53.85 | 35.15 | 14.09 |
| 38 | 67.21 | 50.10 | 31.79 | 12.10 | 72.34 | 54.70 | 35.89 | 14.70 |
| 39 | 67.67 | 50.33 | 31.96 | 12.19 | 72.87 | 54.99 | 36.11 | 14.83 |
| 40* | 67.74 | 50.18 | 31.73 | 11.88 | 72.92 | 54.85 | 35.91 | 14.56 |
| 41 | 68.35 | 50.78 | 32.33 | 12.42 | 73.61 | 55.53 | 36.55 | 15.11 |
| 42 | 68.91 | 51.06 | 32.56 | 12.50 | 74.15 | 55.82 | 36.79 | 15.26 |
| 43 | 69.05 | 51.17 | 32.61 | 12.48 | 74.30 | 55.93 | 36.86 | 15.26 |
| 44 | 69.18 | 51.24 | 32.71 | 12.53 | 74.67 | 56.24 | 37.17 | 15.51 |
| 45* | 69.31 | 51.26 | 32.68 | 12.50 | 74.66 | 56.11 | 37.01 | 15.34 |
| 46 | 70.17 | 52.05 | 33.42 | 13.08 | 75.58 | 56.99 | 37.85 | 16.00 |
| 47 | 70.50 | 52.33 | 33.67 | 13.25 | 75.94 | 57.28 | 38.11 | 16.17 |
| 48 | 70.70 | 52.46 | 33.74 | 13.22 | 76.02 | 57.33 | 38.12 | 16.10 |
| 49 | 71.16 | 52.79 | 33.99 | 13.38 | 76.31 | 57.54 | 38.30 | 16.18 |
| 50* | 71.73 | 53.27 | 34.41 | 13.72 | 76.89 | 58.04 | 38.76 | 16.56 |
| 51 | 72.15 | 53.60 | 34.68 | 13.91 | 77.35 | 58.43 | 39.11 | 16.80 |
| 52 | 72.69 | 54.07 | 35.12 | 14.29 | 77.95 | 58.99 | 39.63 | 17.24 |
| 53 | 72.97 | 54.32 | 35.32 | 14.40 | 78.33 | 59.32 | 39.95 | 17.48 |
| 54 | 73.46 | 54.72 | 35.70 | 14.75 | 78.89 | 59.83 | 40.42 | 17.92 |
| 55* | 73.35 | 54.56 | 35.52 | 14.56 | 78.76 | 59.66 | 40.23 | 17.68 |
| 56 | 73.79 | 54.95 | 35.88 | 14.85 | 79.13 | 60.00 | 40.55 | 17.93 |
| 57 | 74.22 | 55.33 | 36.24 | 15.18 | 79.66 | 60.48 | 41.02 | 18.35 |
| 58 | 74.20 | 55.25 | 36.20 | 15.19 | 79.78 | 60.56 | 41.10 | 18.40 |
| 59 | 74.54 | 55.56 | 36.47 | 15.43 | 80.18 | 60.93 | 41.46 | 18.71 |
| 60* | 74.78 | 55.74 | 36.63 | 15.52 | 80.48 | 61.20 | 41.72 | 18.94 |
| 61 | 75.23 | 56.15 | 37.02 | 15.86 | 80.93 | 61.62 | 42.13 | 19.29 |
| 62 | 75.61 | 56.50 | 37.35 | 16.12 | 81.39 | 62.05 | 42.54 | 19.67 |

注：① *印は完全生命表、その他は簡易生命表による。
 ② 昭和46年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均余命の年次推移



3 生命表での特定年齢の生存数

昭和62年簡易生命表によると、65歳の生存数は男82,037人、女90,802人となっている。これは10万人の出生のうち65歳まで生存する者の割合が男で82.0%、女で90.8%であることを示している。同様に、80歳までは男で45.8%、女で66.2%が生存する。(表3)

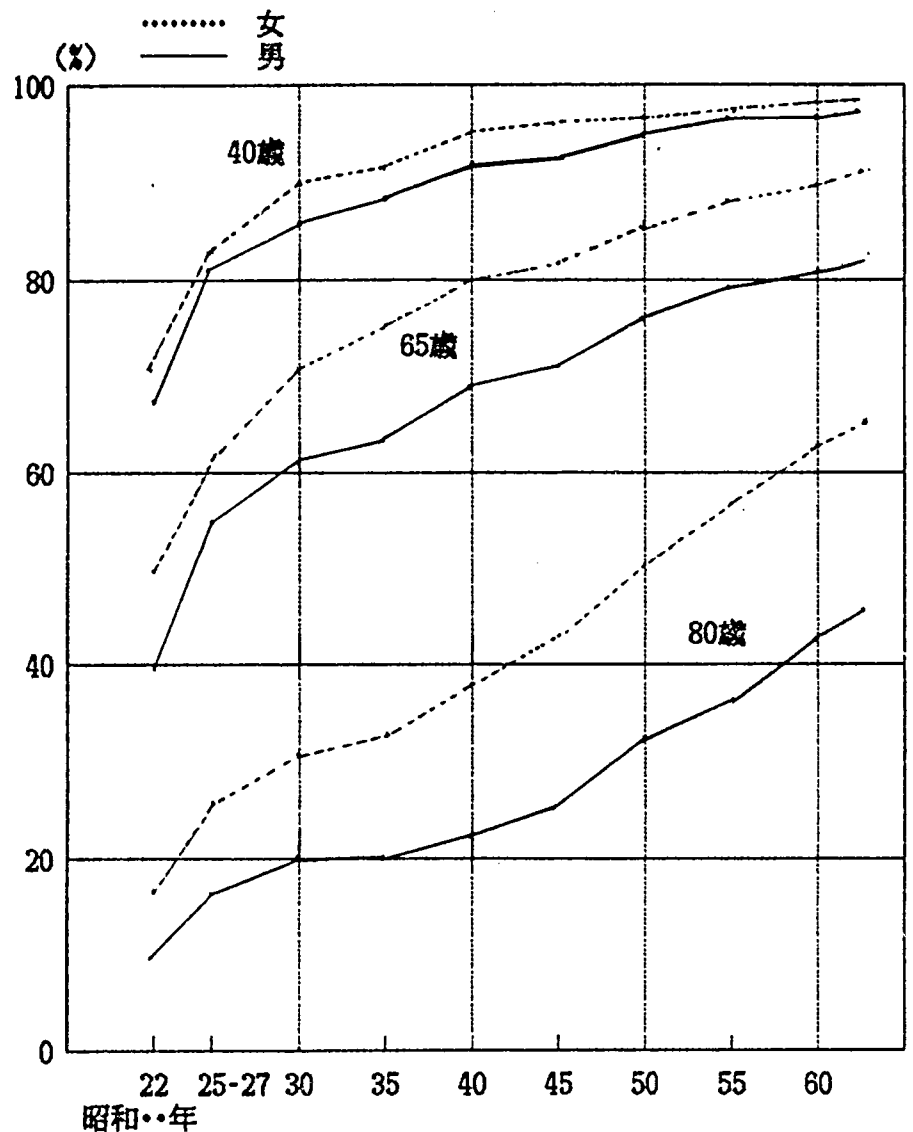
これを時系列で見ると、40歳まで生存する者の割合は、すでに高原状態であるのに対して、65歳まで生存する者の割合は、昭和30年の男61.8%、女70.6%から62年までの32年間に男女とも20ポイント増加しており、さらに、80歳まで生存する者の割合は過去32年間に2倍以上となっている。(表3、図2)

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合

(単位：%)

| 年次 | 男 | | | 女 | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| | 40歳 | 65歳 | 80歳 | 40歳 | 65歳 | 80歳 |
| 昭和22年 | 68.0 | 39.8 | 9.5 | 70.9 | 49.1 | 17.3 |
| 25-27 | 81.8 | 55.1 | 16.6 | 83.2 | 62.8 | 26.1 |
| 30 | 87.0 | 61.8 | 20.0 | 89.0 | 70.6 | 31.9 |
| 35 | 89.7 | 64.8 | 20.1 | 92.2 | 75.2 | 33.8 |
| 40 | 92.6 | 69.1 | 22.6 | 95.0 | 80.0 | 38.4 |
| 45 | 93.7 | 72.1 | 26.1 | 96.1 | 82.6 | 43.0 |
| 50 | 95.1 | 76.8 | 33.2 | 96.9 | 86.1 | 50.7 |
| 55 | 96.1 | 79.4 | 37.8 | 97.6 | 88.5 | 57.0 |
| 60 | 96.7 | 81.1 | 42.8 | 98.0 | 90.1 | 63.0 |
| 61 | 96.8 | 81.6 | 44.6 | 98.1 | 90.5 | 64.7 |
| 62 | 96.9 | 82.0 | 45.8 | 98.2 | 90.8 | 66.2 |

図2 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合



注：1 昭和60年までは完全生命表による。

2 本表は、生命表作成時点における死亡状況を一定不変とした場合の状態を表しており、現実の生存者の割合とは異なっている。昭和62年における現実の生存者の割合は、40歳で男83.4%、女86.9%、65歳で男40.4%、女59.2%であり、80歳で男19.5%、女31.5%である。

4 平均寿命の国際比較

平均寿命の諸外国との比較は、国により作成基礎期間等が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料を用いて比較すると表4のとおりである。(図3)

男で73年を超えている国は、日本、アイスランド、スウェーデン、オランダ、スイス及びイスラエルであり、女で79年を超えている国は、日本、アイスランド、オランダ、スイス、スウェーデン、フランス及びノルウェーである。

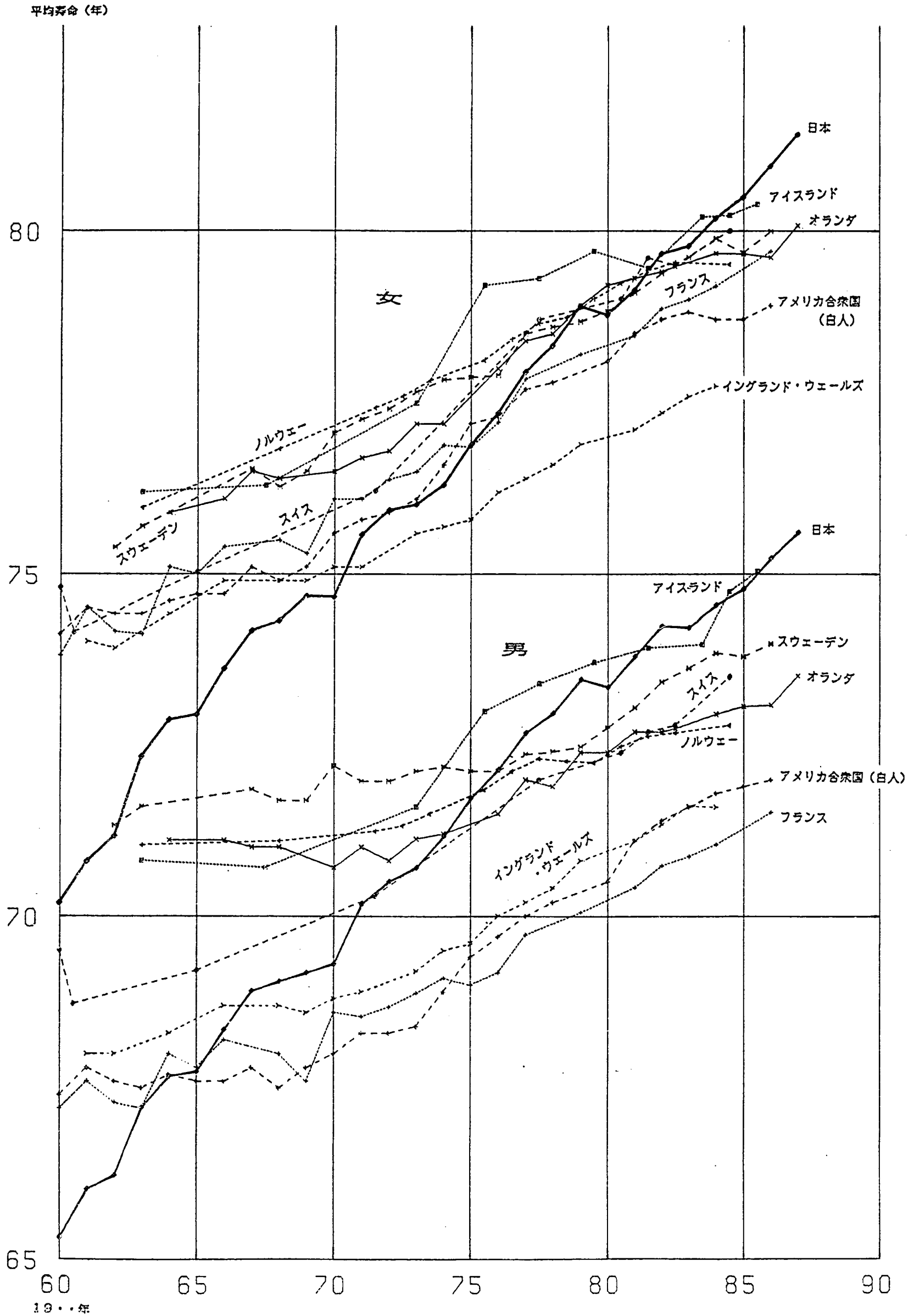
表4 平均寿命の国際比較

(単位：年)

| 地域 | 国名 | 作成基礎期間 | 男 | 女 |
|----------|--------------|---------|-------|-------|
| | 日本 | 1987 | 75.61 | 81.39 |
| アフリカ | エジプト | 1980-85 | 56.80 | 59.50 |
| | ナイジェリア | 1980-85 | 46.90 | 50.20 |
| アメリカ | アルゼンチン | 1975-80 | 65.43 | 72.12 |
| | ブラジル | 1980-85 | 60.90 | 66.00 |
| | カナダ | 1980-82 | 71.88 | 78.98 |
| | メキシコ | 1979 | 62.10 | 66.00 |
| | プエルトリコ | 1981-83 | 70.53 | 77.39 |
| | アメリカ合衆国(白人) | 1986 | 72.0 | 78.9 |
| | | | | |
| アジア | 中国 | 1980-85 | 66.70 | 68.90 |
| | インド | 1980-85 | 55.60 | 55.20 |
| | インドネシア | 1980-85 | 52.20 | 54.90 |
| | イスラエル | 1984-85 | 73.5 | 77.0 |
| | 韓国 | 1978-79 | 62.70 | 69.07 |
| ヨーロッパ | オーストリア | 1985 | 70.40 | 77.36 |
| | チェコスロバキヤ | 1984 | 67.11 | 74.31 |
| | デンマーク | 1984-85 | 71.60 | 77.50 |
| | フィンランド | 1985 | 70.07 | 78.49 |
| | フランス | 1986 | 71.52 | 79.70 |
| | ドイツ民主共和国 | 1985 | 69.52 | 75.42 |
| | ドイツ連邦共和国 | 1984-86 | 71.54 | 78.10 |
| | アイスランド | 1985-86 | 75.04 | 80.38 |
| | イタリア | 1981 | 71.05 | 77.78 |
| | オランダ | 1987 | 73.51 | 80.07 |
| | ノルウェー | 1984-85 | 72.80 | 79.51 |
| | スウェーデン | 1986 | 73.97 | 79.99 |
| | スイス | 1984-85 | 73.50 | 80.00 |
| | イングランド・ウェールズ | 1983-85 | 71.80 | 77.74 |
| | オセアニア | オーストラリア | 1985 | 72.32 |
| ニュージーランド | | 1985 | 70.97 | 76.83 |
| ソビエト | ソビエト連邦 | 1984-85 | 62.87 | 72.73 |

資料：Demographic Yearbook 1986 U.N.等

図3 平均寿命の国際比較



5 死因分析

(1) 死因別死亡率

人はいずれかの時期に、何らかの傷病（死因）で死亡するが、生命表上のある年齢の者が将来特定の死因で死亡すると
思われる確率を計算したものが死因別死亡率である。

昭和62年の死亡状況からみれば、0歳の男は悪性新生物による死亡率が最も高く（25.49%）、次いで心疾患
（19.56%）、脳血管疾患（15.98%）となっている。また、0歳の女では心疾患（23.13%）、脳血管疾
患（20.20%）、悪性新生物（16.94%）の順となっている。（表5）

65歳の死因別死亡率は、0歳と比較すると男女とも順位には変わりがないが、悪性新生物の死亡率は男で2.0
ポイント、女で2.36ポイント低くなり、逆に、心疾患（1.30ポイント、1.20ポイント）、脳血管疾患（1.38ポイント、
0.93ポイント）、肺炎・気管支炎（1.65ポイント、0.65ポイント）の死亡率は高くなっている。（表5）

表5 死因別死亡率の推移（0歳・65歳）

（単位：%）

| 死 因 | 年 齢 | 男 | | | | | 女 | | | | |
|-------------------------|-----|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| | | 30年 | 40年 | 50年 | 60年 | 62年 | 30年 | 40年 | 50年 | 60年 | 62年 |
| 全 結 核 5,6 | 0歳 | 5.6 | 3.5 | 1.84 | 0.80 | 0.68 | 3.7 | 1.7 | 0.76 | 0.28 | 0.25 |
| | 65歳 | ... | 2.6 | 1.70 | 0.79 | 0.68 | ... | 1.0 | 0.62 | 0.25 | 0.23 |
| 悪性新生物 28-37 | 0歳 | 11.9 | 15.0 | 18.56 | 24.02 | 25.49 | 10.6 | 12.4 | 13.86 | 16.38 | 16.94 |
| | 65歳 | ... | 13.0 | 16.54 | 22.05 | 23.49 | ... | 9.2 | 10.96 | 13.91 | 14.58 |
| 高血圧性疾患 48,49 | 0歳 | 1.7 | 2.8 | 2.92 | 1.63 | 1.35 | 1.9 | 3.5 | 4.23 | 2.88 | 2.56 |
| | 65歳 | ... | 3.4 | 3.49 | 1.92 | 1.58 | ... | 4.0 | 4.74 | 3.14 | 2.78 |
| 心 疾 患 46,51,52,54-56 | 0歳 | 8.7 | 11.4 | 14.94 | 19.31 | 19.56 | 8.9 | 12.3 | 16.86 | 22.10 | 23.13 |
| | 65歳 | ... | 12.7 | 16.25 | 20.67 | 20.86 | ... | 12.9 | 17.96 | 23.28 | 24.33 |
| 脳血管疾患 58-60 | 0歳 | 21.3 | 27.4 | 26.55 | 17.61 | 15.98 | 21.7 | 27.0 | 28.28 | 21.57 | 20.20 |
| | 65歳 | ... | 30.5 | 29.43 | 19.17 | 17.36 | ... | 29.0 | 30.19 | 22.63 | 21.13 |
| 肺炎・気管支炎 62,63,66 | 0歳 | 5.4 | 5.3 | 6.35 | 9.03 | 9.84 | 5.0 | 5.4 | 6.00 | 7.82 | 8.41 |
| | 65歳 | ... | 6.2 | 7.39 | 10.58 | 11.49 | ... | 5.6 | 6.41 | 8.43 | 9.06 |
| 慢性肝疾患・肝硬変 73 | 0歳 | ... | ... | 2.27 | 2.12 | 1.99 | ... | ... | 1.06 | 1.08 | 1.08 |
| | 65歳 | ... | ... | 1.47 | 1.33 | 1.27 | ... | ... | 0.88 | 0.92 | 0.92 |
| 腎炎・腎不全症候群・腎不全 76,77 | 0歳 | ... | ... | ... | 1.80 | 1.90 | ... | ... | ... | 1.92 | 2.15 |
| | 65歳 | ... | ... | ... | 1.95 | 2.07 | ... | ... | ... | 1.96 | 2.21 |
| 不慮の事故・有害作用 E104-114 | 0歳 | ... | 5.1 | 4.03 | 3.47 | 3.29 | ... | 2.1 | 1.94 | 1.85 | 1.83 |
| | 65歳 | ... | 1.9 | 1.92 | 1.98 | 1.96 | ... | 1.4 | 1.50 | 1.51 | 1.53 |
| 自動車事故（再） E104 | 0歳 | ... | ... | 1.65 | 1.36 | 1.31 | ... | ... | 0.61 | 0.54 | 0.56 |
| | 65歳 | ... | ... | 0.61 | 0.57 | 0.56 | ... | ... | 0.36 | 0.32 | 0.35 |
| 自 殺 E115 | 0歳 | ... | 1.5 | 1.90 | 2.24 | 2.22 | ... | 1.2 | 1.54 | 1.37 | 1.44 |
| | 65歳 | ... | ... | 0.88 | 0.91 | 0.94 | ... | ... | 0.96 | 0.83 | 0.88 |

注：死因欄の数字は、人口動態統計死因簡易分類番号である。

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の延び

ある死因を除去すれば、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。この結果死亡時期の繰延べが起こり、余命が延びることとなる。この延びは、その死因のために失われた余命としてみることができ、これによって各死因の平均余命への影響の大きさを測ることができる。

昭和62年についてみると、0歳の男では悪性新生物(3.55年)が最も大きな影響を与える死因であり、次いで心疾患(2.05年)、脳血管疾患(1.55年)となっている。また、0歳の女でも悪性新生物(2.53年)が最も大きく、次いで心疾患(2.17年)、脳血管疾患(1.87年)の順となっている。(表6)

平均寿命に影響を与える死因で男女差の大きなものは、悪性新生物(男女差1.02年)と不慮の事故・有害作用(男女差0.50年)である。

65歳でみると、男では0歳と同様に悪性新生物(2.31年)、心疾患(1.68年)、脳血管疾患(1.36年)の順になっており、女では心疾患(2.01年)が最も大きく、次いで脳血管疾患(1.71年)、悪性新生物(1.48年)の順となっている。(表6)

また、男女差の大きなものは、悪性新生物(男女差0.83年)、脳血管疾患(男女差0.35年)、心疾患(0.33年)が大きくなっている。

表6 特定死因を除去した場合の平均余命の延びの推移(0歳・65歳) (単位:年)

| 死 因 | 年 齢 | 男 | | | | 女 | | | |
|----------------------------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 40年 | 50年 | 60年 | 62年 | 40年 | 50年 | 60年 | 62年 |
| 全 結 核 5,6 | 0歳 | 0.52 | 0.22 | 0.09 | 0.07 | 0.33 | 0.11 | 0.04 | 0.03 |
| | 65歳 | 0.20 | 0.13 | 0.06 | 0.06 | 0.09 | 0.05 | 0.02 | 0.02 |
| 悪 性 新 生 物 28-37 | 0歳 | 2.02 | 2.59 | 3.29 | 3.55 | 1.98 | 2.23 | 2.44 | 2.53 |
| | 65歳 | 1.07 | 1.53 | 2.10 | 2.31 | 0.84 | 1.10 | 1.39 | 1.48 |
| 高 血 圧 性 疾 患 48,49 | 0歳 | 0.23 | 0.23 | 0.11 | 0.09 | 0.29 | 0.34 | 0.18 | 0.16 |
| | 65歳 | 0.22 | 0.23 | 0.11 | 0.09 | 0.27 | 0.35 | 0.19 | 0.17 |
| 心 疾 患 46,51,52,54-56 | 0歳 | 1.15 | 1.59 | 2.00 | 2.05 | 1.24 | 1.72 | 2.04 | 2.17 |
| | 65歳 | 0.87 | 1.28 | 1.63 | 1.68 | 0.93 | 1.54 | 1.88 | 2.01 |
| 脳 血 管 疾 患 58-60 | 0歳 | 3.03 | 3.00 | 1.73 | 1.55 | 2.92 | 3.17 | 1.99 | 1.87 |
| | 65歳 | 2.53 | 2.67 | 1.50 | 1.36 | 2.52 | 2.96 | 1.83 | 1.71 |
| 肺 炎 ・ 気 管 支 炎 62,63,65 | 0歳 | 0.70 | 0.62 | 0.70 | 0.77 | 0.71 | 0.61 | 0.59 | 0.62 |
| | 65歳 | 0.37 | 0.51 | 0.72 | 0.80 | 0.35 | 0.47 | 0.56 | 0.61 |
| 慢 性 肝 疾 患 ・ 肝 硬 変 73 | 0歳 | ... | 0.37 | 0.35 | 0.33 | ... | 0.15 | 0.15 | 0.15 |
| | 65歳 | ... | 0.12 | 0.12 | 0.11 | ... | 0.08 | 0.09 | 0.09 |
| 腎 炎 ・ 腎 臓 症 候 群 ・ 腎 臓 症 76,77 | 0歳 | ... | ... | 0.17 | 0.17 | ... | ... | 0.18 | 0.19 |
| | 65歳 | ... | ... | 0.14 | 0.15 | ... | ... | 0.15 | 0.16 |
| 不 慮 の 事 故 ・ 有 害 作 用 E104-114 | 0歳 | 1.47 | 1.11 | 0.87 | 0.81 | 0.49 | 0.40 | 0.33 | 0.31 |
| | 65歳 | 0.14 | 0.15 | 0.16 | 0.16 | 0.10 | 0.12 | 0.11 | 0.12 |
| 自 動 車 事 故 (再) E104 | 0歳 | ... | 0.50 | 0.42 | 0.41 | ... | 0.16 | 0.14 | 0.14 |
| | 65歳 | ... | 0.05 | 0.05 | 0.05 | ... | 0.03 | 0.03 | 0.04 |
| 自 殺 E115 | 0歳 | ... | 0.47 | 0.56 | 0.55 | ... | 0.35 | 0.30 | 0.32 |
| | 65歳 | ... | 0.07 | 0.08 | 0.08 | ... | 0.09 | 0.08 | 0.09 |

注: 死因欄の数字は、人口動態統計死因簡単分類番号である。

昭和62年簡易生命表(男)

| 年齢 x | 死亡率 q_x | 生存数 l_x | 死亡数 nd_x | 定 常 人 口 | | 平均余命 e_x | 年齢 x | 死亡率 q_x | 生存数 l_x | 死亡数 nd_x | 定 常 人 口 | | 平均余命 e_x |
|-----------|--------------|--------------|---------------|---------|---------|---------------|-----------|--------------|--------------|---------------|---------|-------|---------------|
| | | | | nL_x | T_x | | | | | | nL_x | T_x | |
| 0(M) | 0.00249 | 1000000 | 249 | 1915 | 7560591 | 75.61 | 45 | 0.00271 | 95915 | 260 | 95785 | 13771 | 71.1 |
| 1 | 0.00033 | 99751 | 33 | 1913 | 7558673 | 75.78 | 46 | 0.00297 | 95655 | 284 | 95513 | 13413 | 70.8 |
| 2 | 0.00025 | 99718 | 25 | 1912 | 7556763 | 75.78 | 47 | 0.00325 | 95371 | 310 | 95216 | 13045 | 70.9 |
| 3 | 0.00044 | 99682 | 44 | 1912 | 7554850 | 75.77 | 48 | 0.00358 | 95061 | 377 | 94893 | 12755 | 70.9 |
| 4 | 0.00070 | 99638 | 75 | 1912 | 7552938 | 75.71 | 49 | 0.00403 | 94721 | 421 | 94533 | 12489 | 70.9 |
| 5 | 0.00076 | 99609 | 69 | 1912 | 7551027 | 75.65 | 50 | 0.00446 | 94344 | 472 | 94134 | 12214 | 70.9 |
| 6 | 0.00070 | 99539 | 65 | 1912 | 7549114 | 75.65 | 51 | 0.00503 | 93924 | 532 | 93688 | 11940 | 70.9 |
| 7 | 0.00076 | 99464 | 75 | 1912 | 7547202 | 75.61 | 52 | 0.00569 | 93452 | 597 | 93186 | 11665 | 70.9 |
| 8 | 0.00082 | 99383 | 81 | 1912 | 7545290 | 75.57 | 53 | 0.00642 | 92923 | 659 | 92621 | 11389 | 70.9 |
| 9 | 0.00082 | 99324 | 81 | 1912 | 7543378 | 75.57 | 54 | 0.00714 | 92323 | 715 | 92162 | 11114 | 70.9 |
| 10 | 0.00082 | 99281 | 81 | 1912 | 7541466 | 75.53 | 55 | 0.00780 | 91664 | 764 | 91307 | 10837 | 70.9 |
| 11 | 0.00082 | 99248 | 81 | 1912 | 7539554 | 75.49 | 56 | 0.00847 | 90949 | 809 | 90568 | 10562 | 70.9 |
| 12 | 0.00082 | 99218 | 81 | 1912 | 7537642 | 75.45 | 57 | 0.00919 | 90186 | 857 | 89781 | 10287 | 70.9 |
| 13 | 0.00082 | 99191 | 81 | 1912 | 7535730 | 75.41 | 58 | 0.01002 | 89377 | 910 | 88948 | 10012 | 70.9 |
| 14 | 0.00082 | 99168 | 81 | 1912 | 7533818 | 75.37 | 59 | 0.01085 | 88519 | 967 | 88064 | 9737 | 70.9 |
| 15 | 0.00082 | 99150 | 81 | 1912 | 7531906 | 75.33 | 60 | 0.01168 | 87609 | 1032 | 87126 | 9462 | 70.9 |
| 16 | 0.00082 | 99134 | 81 | 1912 | 7530000 | 75.29 | 61 | 0.01251 | 86642 | 1107 | 86126 | 9187 | 70.9 |
| 17 | 0.00082 | 99119 | 81 | 1912 | 7528094 | 75.25 | 62 | 0.01334 | 85670 | 1182 | 85126 | 8912 | 70.9 |
| 18 | 0.00082 | 99103 | 81 | 1912 | 7526188 | 75.21 | 63 | 0.01417 | 84642 | 1257 | 84126 | 8637 | 70.9 |
| 19 | 0.00082 | 99088 | 81 | 1912 | 7524282 | 75.17 | 64 | 0.01500 | 83552 | 1332 | 83064 | 8362 | 70.9 |
| 20 | 0.00082 | 99072 | 81 | 1912 | 7522376 | 75.13 | 65 | 0.01583 | 82409 | 1407 | 81926 | 8087 | 70.9 |
| 21 | 0.00082 | 99056 | 81 | 1912 | 7520470 | 75.09 | 66 | 0.01666 | 81211 | 1482 | 80788 | 7812 | 70.9 |
| 22 | 0.00082 | 99040 | 81 | 1912 | 7518564 | 75.05 | 67 | 0.01749 | 80064 | 1557 | 79642 | 7537 | 70.9 |
| 23 | 0.00082 | 99024 | 81 | 1912 | 7516658 | 75.01 | 68 | 0.01832 | 78916 | 1632 | 78496 | 7262 | 70.9 |
| 24 | 0.00082 | 99008 | 81 | 1912 | 7514752 | 74.97 | 69 | 0.01915 | 77769 | 1707 | 77350 | 6987 | 70.9 |
| 25 | 0.00082 | 98992 | 81 | 1912 | 7512846 | 74.93 | 70 | 0.02000 | 76622 | 1782 | 76204 | 6712 | 70.9 |
| 26 | 0.00082 | 98976 | 81 | 1912 | 7510940 | 74.89 | 71 | 0.02083 | 75475 | 1857 | 75058 | 6437 | 70.9 |
| 27 | 0.00082 | 98960 | 81 | 1912 | 7509034 | 74.85 | 72 | 0.02166 | 74328 | 1932 | 73912 | 6162 | 70.9 |
| 28 | 0.00082 | 98944 | 81 | 1912 | 7507128 | 74.81 | 73 | 0.02249 | 73181 | 2007 | 72766 | 5887 | 70.9 |
| 29 | 0.00082 | 98928 | 81 | 1912 | 7505222 | 74.77 | 74 | 0.02332 | 72034 | 2082 | 71620 | 5612 | 70.9 |
| 30 | 0.00082 | 98912 | 81 | 1912 | 7503316 | 74.73 | 75 | 0.02415 | 70887 | 2157 | 70474 | 5337 | 70.9 |
| 31 | 0.00082 | 98896 | 81 | 1912 | 7501410 | 74.69 | 76 | 0.02498 | 69740 | 2232 | 69328 | 5062 | 70.9 |
| 32 | 0.00082 | 98880 | 81 | 1912 | 7499504 | 74.65 | 77 | 0.02581 | 68593 | 2307 | 68182 | 4787 | 70.9 |
| 33 | 0.00082 | 98864 | 81 | 1912 | 7497598 | 74.61 | 78 | 0.02664 | 67446 | 2382 | 67036 | 4512 | 70.9 |
| 34 | 0.00082 | 98848 | 81 | 1912 | 7495692 | 74.57 | 79 | 0.02747 | 66299 | 2457 | 65890 | 4237 | 70.9 |
| 35 | 0.00082 | 98832 | 81 | 1912 | 7493786 | 74.53 | 80 | 0.02830 | 65152 | 2532 | 64744 | 3962 | 70.9 |
| 36 | 0.00082 | 98816 | 81 | 1912 | 7491880 | 74.49 | 81 | 0.02913 | 64005 | 2607 | 63598 | 3687 | 70.9 |
| 37 | 0.00082 | 98800 | 81 | 1912 | 7489974 | 74.45 | 82 | 0.02996 | 62858 | 2682 | 62452 | 3412 | 70.9 |
| 38 | 0.00082 | 98784 | 81 | 1912 | 7488068 | 74.41 | 83 | 0.03079 | 61711 | 2757 | 61306 | 3137 | 70.9 |
| 39 | 0.00082 | 98768 | 81 | 1912 | 7486162 | 74.37 | 84 | 0.03162 | 60564 | 2832 | 60160 | 2862 | 70.9 |
| 40 | 0.00082 | 98752 | 81 | 1912 | 7484256 | 74.33 | 85 | 0.03245 | 59417 | 2907 | 59014 | 2587 | 70.9 |
| 41 | 0.00082 | 98736 | 81 | 1912 | 7482350 | 74.29 | 86 | 0.03328 | 58270 | 2982 | 57868 | 2312 | 70.9 |
| 42 | 0.00082 | 98720 | 81 | 1912 | 7480444 | 74.25 | 87 | 0.03411 | 57123 | 3057 | 56722 | 2037 | 70.9 |
| 43 | 0.00082 | 98704 | 81 | 1912 | 7478538 | 74.21 | 88 | 0.03494 | 55976 | 3132 | 55576 | 1762 | 70.9 |
| 44 | 0.00082 | 98688 | 81 | 1912 | 7476632 | 74.17 | 89 | 0.03577 | 54829 | 3207 | 54430 | 1487 | 70.9 |

昭和62年簡易生命表(女)

| 年齢 x | 死亡率 nq_x | 生存数 l_x | 死亡数 nd_x | 定 常 人 口 | | 平均余命 e_x | 年齢 x | 死亡率 nq_x | 生存数 l_x | 死亡数 nd_x | 定 常 人 口 | | 平均余命 e_x |
|-----------|---------------|--------------|---------------|---------|----------|---------------|-----------|---------------|--------------|---------------|---------|---------|---------------|
| | | | | nL_x | T_x | | | | | | nL_x | T_x | |
| 0 (W) | 0.00205 | 1000000 | 205 | 19166 | 81392905 | 81.39 | 45 | 0.00145 | 976442 | 142 | 975771 | 3687685 | 77 |
| 1 | 0.00028 | 997995 | 28 | 19144 | 81372906 | 81.35 | 46 | 0.00158 | 975000 | 154 | 974223 | 3590114 | 78 |
| 2 | 0.00018 | 997768 | 18 | 19133 | 81353776 | 81.54 | 47 | 0.00174 | 973446 | 169 | 972611 | 3492691 | 88 |
| 3 | 0.00013 | 997499 | 13 | 19130 | 81333463 | 81.54 | 48 | 0.00189 | 971773 | 189 | 970885 | 3395429 | 94 |
| 4 | 0.00043 | 997036 | 43 | 83070 | 81222580 | 81.48 | 49 | 0.00205 | 969993 | 199 | 968893 | 3298834 | 01 |
| 5 (M) | 0.00055 | 996699 | 55 | 24979 | 8088933 | 81.41 | 50 | 0.00223 | 967994 | 215 | 966861 | 3201451 | 07 |
| 6 | 0.00066 | 996144 | 66 | 49791 | 8039205 | 81.21 | 51 | 0.00243 | 965778 | 235 | 964615 | 3104765 | 15 |
| 7 | 0.00045 | 995482 | 44 | 99515 | 7944057 | 80.81 | 52 | 0.00266 | 963344 | 257 | 962215 | 3008304 | 22 |
| 8 | 0.00029 | 994838 | 28 | 99460 | 7844059 | 79.85 | 53 | 0.00291 | 960887 | 302 | 959476 | 2816142 | 39 |
| 9 | 0.00019 | 994410 | 19 | 99440 | 7774111 | 77.87 | 54 | 0.00341 | 955807 | 326 | 956456 | 2628161 | 39 |
| 10 (Y) | 0.00452 | 1000000 | 452 | 99633 | 8039205 | 81.36 | 55 | 0.00426 | 95505 | 326 | 953442 | 2720487 | 49 |
| 11 | 0.00066 | 995482 | 66 | 99515 | 7944057 | 80.76 | 56 | 0.00499 | 951779 | 357 | 950343 | 2625144 | 58 |
| 12 | 0.00045 | 994838 | 44 | 99460 | 7844059 | 79.81 | 57 | 0.00549 | 948330 | 374 | 946443 | 2533011 | 68 |
| 13 | 0.00014 | 994410 | 14 | 99332 | 7744367 | 74.91 | 58 | 0.00667 | 944837 | 401 | 942556 | 2433497 | 78 |
| 14 | 0.00016 | 993390 | 16 | 99366 | 7644177 | 75.90 | 59 | 0.00730 | 94056 | 432 | 93839 | 2346124 | 89 |
| 15 | 0.00015 | 993358 | 15 | 99351 | 7544230 | 75.90 | 60 | 0.00800 | 936223 | 468 | 93389 | 2247401 | 00 |
| 16 | 0.00014 | 993340 | 14 | 99336 | 7444302 | 74.91 | 61 | 0.00884 | 93155 | 511 | 92899 | 2154012 | 12 |
| 17 | 0.00012 | 993307 | 12 | 99324 | 7344367 | 73.93 | 62 | 0.00967 | 92644 | 560 | 92364 | 2061112 | 25 |
| 18 | 0.00011 | 992286 | 11 | 99280 | 7244433 | 72.93 | 63 | 0.01065 | 92083 | 614 | 91776 | 1968749 | 38 |
| 19 | 0.00011 | 992274 | 11 | 99267 | 7145013 | 71.95 | 64 | 0.01130 | 91466 | 668 | 91136 | 1876972 | 52 |
| 20 | 0.00010 | 993307 | 10 | 99302 | 7045701 | 70.95 | 65 | 0.01250 | 90802 | 726 | 90439 | 1785837 | 67 |
| 21 | 0.00011 | 992297 | 11 | 99291 | 6946399 | 69.96 | 66 | 0.01330 | 90076 | 794 | 89678 | 1690572 | 82 |
| 22 | 0.00012 | 992286 | 12 | 99280 | 6847108 | 68.96 | 67 | 0.01426 | 89280 | 884 | 88837 | 1605390 | 99 |
| 23 | 0.00014 | 992274 | 14 | 99267 | 6747828 | 67.97 | 68 | 0.01530 | 88395 | 984 | 88035 | 1516883 | 16 |
| 24 | 0.00019 | 992260 | 19 | 99252 | 6648560 | 66.98 | 69 | 0.01640 | 87411 | 1092 | 86865 | 1428980 | 35 |
| 25 | 0.00022 | 992245 | 22 | 99235 | 6549308 | 65.99 | 70 | 0.01750 | 86319 | 1209 | 85714 | 1342115 | 55 |
| 26 | 0.00026 | 992225 | 26 | 99214 | 6450074 | 65.00 | 71 | 0.01870 | 85110 | 1333 | 84443 | 1256440 | 76 |
| 27 | 0.00029 | 992204 | 29 | 99191 | 6350859 | 64.03 | 72 | 0.02000 | 83777 | 1473 | 83040 | 1177195 | 99 |
| 28 | 0.00033 | 991778 | 33 | 99164 | 6251668 | 63.03 | 73 | 0.02140 | 82304 | 1638 | 81485 | 1108891 | 23 |
| 29 | 0.00035 | 991449 | 35 | 99133 | 6152505 | 62.07 | 74 | 0.02280 | 80665 | 1827 | 79752 | 1047432 | 49 |
| 30 | 0.00033 | 991177 | 33 | 99101 | 6053371 | 61.09 | 75 | 0.02430 | 78838 | 2034 | 77821 | 927680 | 77 |
| 31 | 0.00033 | 990851 | 33 | 99035 | 5954202 | 60.11 | 76 | 0.02580 | 76804 | 2274 | 75669 | 849859 | 11 |
| 32 | 0.00035 | 990118 | 35 | 99000 | 5855068 | 59.13 | 77 | 0.02740 | 74534 | 2520 | 73272 | 774419 | 23 |
| 33 | 0.00037 | 989473 | 37 | 98929 | 5755820 | 58.15 | 78 | 0.02910 | 72224 | 2787 | 70617 | 700918 | 39 |
| 34 | 0.00038 | 988910 | 38 | 98892 | 5656572 | 57.17 | 79 | 0.03080 | 69922 | 3050 | 67699 | 630300 | 55 |
| 35 | 0.00040 | 988373 | 39 | 98853 | 5557324 | 56.19 | 80 | 0.03260 | 66174 | 3346 | 64501 | 562602 | 73 |
| 36 | 0.00042 | 987750 | 41 | 98811 | 5458076 | 55.22 | 81 | 0.03450 | 62222 | 3650 | 61025 | 498101 | 93 |
| 37 | 0.00044 | 987055 | 43 | 98771 | 5358828 | 54.24 | 82 | 0.03650 | 58222 | 3985 | 57297 | 437978 | 11 |
| 38 | 0.00045 | 986333 | 44 | 98727 | 5259580 | 53.26 | 83 | 0.03860 | 54302 | 4254 | 53375 | 379780 | 36 |
| 39 | 0.00048 | 985588 | 47 | 98683 | 5160332 | 52.28 | 84 | 0.04080 | 50371 | 4549 | 49175 | 326644 | 63 |
| 40 | 0.00051 | 984608 | 51 | 98633 | 5061084 | 51.30 | 85 | 0.04310 | 46449 | 4854 | 44852 | 272268 | 89 |
| 41 | 0.00055 | 983368 | 55 | 98580 | 4961836 | 50.33 | 86 | 0.04560 | 42528 | 5109 | 40415 | 222016 | 116 |
| 42 | 0.00064 | 981994 | 59 | 98524 | 4862588 | 49.35 | 87 | 0.04820 | 38607 | 5379 | 35926 | 172207 | 152 |
| 43 | 0.00071 | 980551 | 64 | 98462 | 4763340 | 48.38 | 88 | 0.05100 | 34686 | 5670 | 31452 | 124462 | 206 |
| 44 | 0.00087 | 978283 | 78 | 98396 | 4664092 | 47.41 | 89 | 0.05400 | 30765 | 6020 | 27068 | 80074 | 272 |
| 45 | 0.00095 | 975998 | 93 | 98324 | 4564844 | 46.44 | 90 | 0.05720 | 26844 | 6420 | 22852 | 40416 | 353 |
| 46 | 0.00103 | 973713 | 101 | 98241 | 4465596 | 45.47 | 91 | 0.06060 | 22923 | 6828 | 18882 | 23203 | 459 |
| 47 | 0.00113 | 971443 | 111 | 98152 | 4366348 | 44.50 | 92 | 0.06420 | 19006 | 7271 | 15229 | 15607 | 582 |
| 48 | 0.00123 | 969173 | 121 | 98054 | 4267100 | 43.53 | 93 | 0.06800 | 15089 | 7730 | 11955 | 10592 | 75 |
| 49 | 0.00134 | 966903 | 131 | 97948 | 4167852 | 42.58 | 94 | 0.07200 | 11172 | 8230 | 9104 | 7470 | 92 |
| 50 | 0.00145 | 964633 | 141 | 97837 | 4068604 | 41.62 | 95- | 0.07620 | 7255 | 8789 | 7789 | 5532 | 115 |

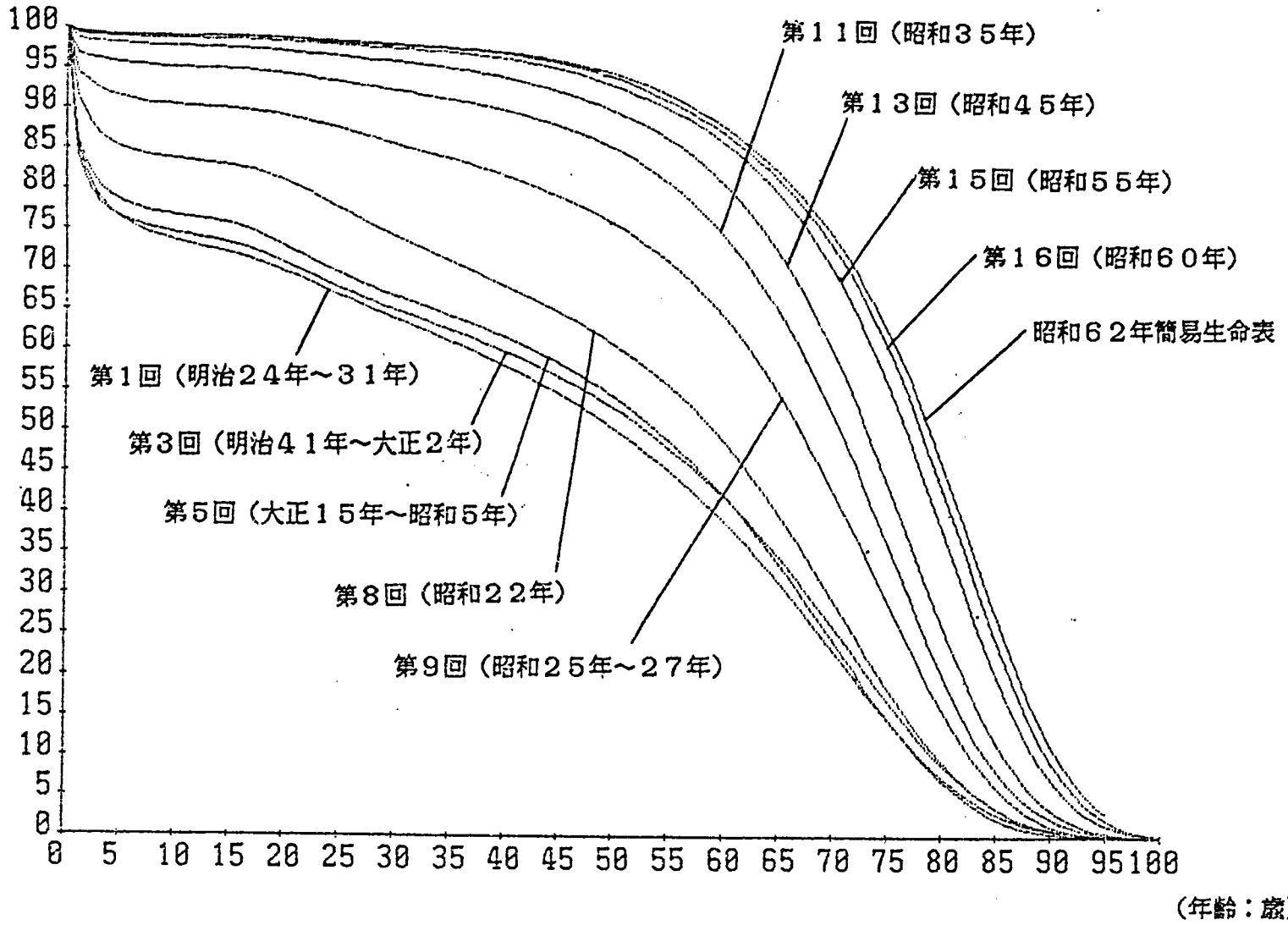
生命表諸関数の定義

- 死亡率 ${}_nq_x$: ちょうど x 歳に達した者が $x+n$ 歳に達しないで死亡する確率を、年齢階級 $[x, x+n)$ における死亡率という。特に ${}_1q_x$ を x 歳の死亡率といい、これを q_x で表す。
- 生存数 l_x : 100,000 人の出生者が、上記の死亡率に従って死亡減少していくと考えた場合、 x 歳に達するまで生き残ると期待される者の数を x 歳における生存数という。
- 死亡数 ${}_nd_x$: x 歳における生存数 l_x 人のうち、 $x+n$ 歳に達しないで死亡すると期待される者の数を年齢階級 $[x, x+n)$ における死亡数という。特に ${}_1d_x$ を x 歳における死亡数といい、これを d_x で表す。
- 定常人口 ${}_nL_x$ 及び T_x : x 歳における生存数 l_x 人について、これらの各々が x 歳から $x+n$ 歳に達するまでの間に生存する年数の和、又は、常に 100,000 人の出生があつて、これらの者が上記の死亡率に従って死亡すると仮定すると究極において一定の人口集団が得られるが、その集団の x 歳以上 $x+n$ 歳未満の人口を、年齢階級 $[x, x+n)$ における定常人口という。特に ${}_1L_x$ を x 歳における定常人口といい、これを L_x で表す。更に、 x 歳における生存数 l_x 人について、これらの各々が x 歳以後死亡に至るまでの間に生存する年数の和、又は上記の人口集団の x 歳以上の人口を、 x 歳以上の定常人口総数といい、これを T_x で表す。 ${}_nL_x$ 、 T_x は ${}_nL_x = \int_x^{x+n} l_t dt$ 、 $T_x = \int_x^{\infty} l_t dt$ により与えられる。
- 平均余命 e_x : x 歳における生存数 l_x 人について、これらの者が x 歳以後に生存する年数の平均を x 歳における平均余命という。 x 歳の平均余命は $e_x = T_x / l_x$ により与えられる。また、0 歳の平均余命 e_0 を平均寿命という。

男

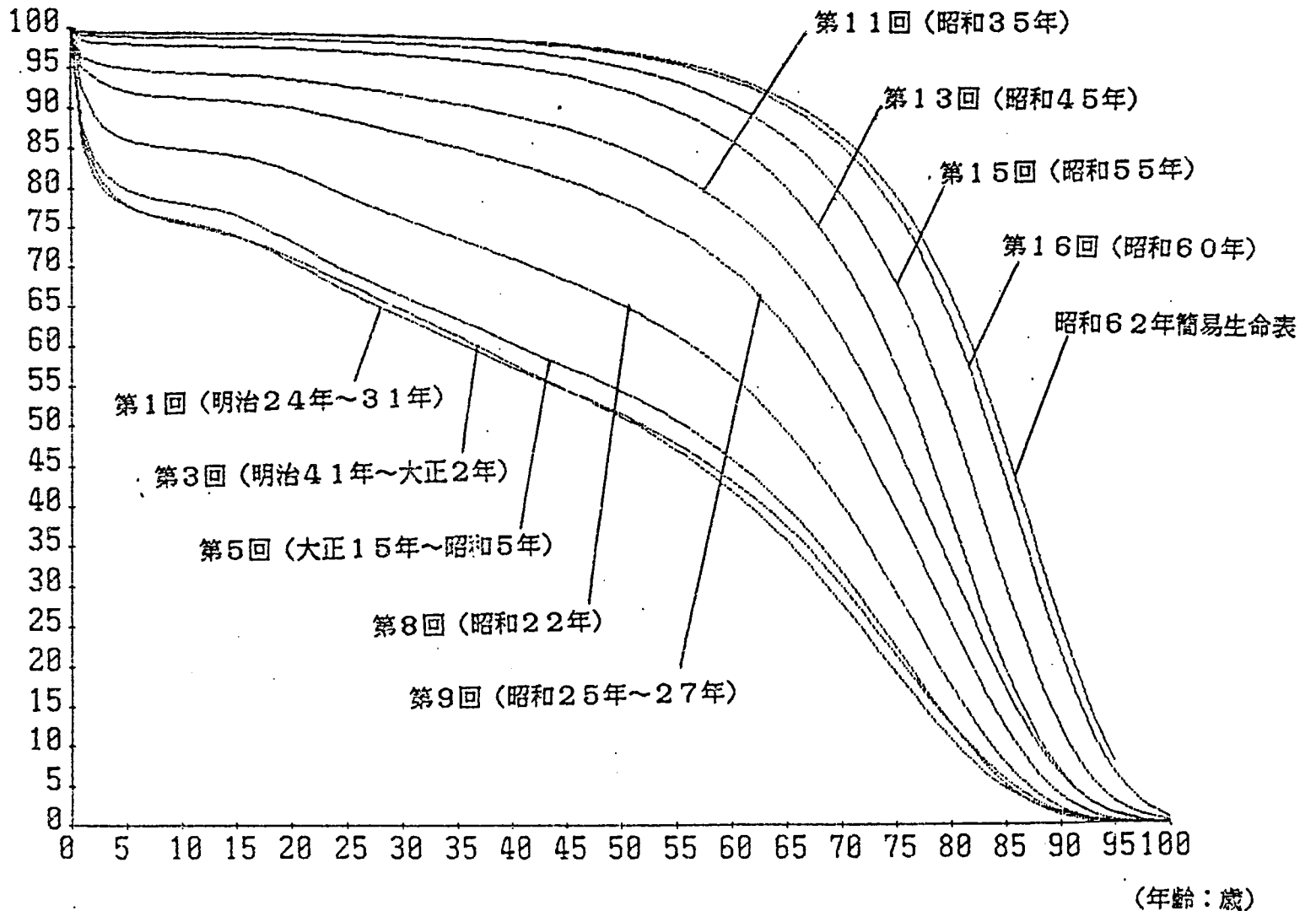
(参考資料) 生存数曲線の推移

(生存数：千人)



女

(生存数：千人)



注：簡易生命表の死亡率は、95歳までである。